

経済産業省
平成 20 年度「キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業」

平成 20 年度

キャリア教育ニーズ調査
「学校長向け調査・自由記述集」

平成 21 年 3 月 10 日
株式会社 ベネッセコーポレーション
事業創成推進室
教育ニーズ調査 PJ

キャリア教育調査 自由記述...(小学校)

【 Q2 貴校の教育活動の中で、特に力を入れていること 】...(小学校)

(札幌市)地域、学校間連携(幼小、小中、小高交流)

(札幌市)縦割り班活動で交流活動を行い、協調性・連帯感を培っている。

(札幌市)地域に根ざして「地域と共に」地域、学校、また周辺で働く人々に関心を持ち、自分が多くの人達に支えられていることに気付くことから思いやりの心を育てていく活動。

(札幌市)(豊かな心を育てるために)人と人のふれ合いの場を、校内では異学年交流、校外とでは地域の老人クラブ、商店街の方、保護者によるボランティアティーチャー、幼稚園の子との交流という形で総合や生活の時間に行なっている。

(札幌市)特別支援、一般支援 家庭が崩壊している児童が多いので。

(札幌市)・国際理解教育(英語活動)・幼稚園、中学校、高等学校との連携した教育活動。

(札幌市)異学年交流 - たて割りグループ活動。

(札幌市)朝8:15~8:30 マーチング活動。月・金30分間の放課後活動。1~6年全校宿泊学習。

(札幌市)分かる授業。心の教育。開かれた学校。

(札幌市)当り前のことを当たり前実践することです。

(札幌市)人とのふれあい。

(札幌市)マルチエイジクラス。

(札幌市)・農業研究センターとの連携。

(札幌市)・外で遊ぶこと。

(札幌市)・家庭での基本的な生活習慣、心の教育、挨拶、協調性、協力、思いやりの心、学ぼうとする意欲・関心、礼儀・作法、言葉遣い、落ち着いた生活、好き嫌いをしない、正義感、きまりを守る。

(札幌市)人と人のかかわりあい。

(札幌市)豊かな心を持ち、共に学び続ける子の育成。・心のこもったあいさつ。・自分の考えや思いをもつ 伝え合う表現力をもつ。・読書活動(朝読書を含む)

(札幌市)あったかな教育活動。「子どもに、地域に、保護者に、教職員が。

(札幌市)・学習~基礎基本力の育成。・心の教育~体験活動や集会活動、人権学習等を通して育成

(札幌市)基礎学力の育成、異年齢活動。

(札幌市)・基礎、基本の定着(学習・生活)・安全教育(防犯)

(札幌市) 進んであいさつする子 小動物や植物とのふれあいの充実 学校教育全体で育む読書生活 わかる・できる・楽しい授業 保護者・地域の方との連携。

(札幌市)「土曜・美香保小学校」 月1回土曜日に、学習タイム・体験タイム・スポーツタイムを行う。スタッフとしては、教職員の他にボランティア保護者、大学生、少年団、PTAサークル。学習の下支えのみならず、人間関係を豊かにすることをめざしている。

(札幌市)・環境教育の一環として、学校近くの藻岩山の国有林を12haほど借り受け「カミネッコ」による植樹活動を行っている。森林ボランティアが全面的に協力してくれている。「キッズニア幌南」という小学校段階でのキャリア教育を行っている。地域の店、病院、幼稚園、会社などで職業体験している。

(札幌市)地域の特色を生かした総合的な学習の時間、生活科、学校行事の実施。

(札幌市)全校音楽 毎週8:30~8:45(週1回)、全校読書 毎週水曜日8:30~8:45。

(仙台市)・生きる力を育む学習指導の推進(少人数指導を低・中・高学年で行う)・一人一人の教育的ニーズに柔軟に応える教育の推進(児童理解を深めるための教育相談と個別支援体制の充実)・安全、安心で潤いのある教育環境の整備(全校たてわり活動、教材園での栽培活動、アルミ缶回収など環境教育推進)・開かれた学校のもとでの地域社会との連携(地域内公園での動植物の継続的観察と公園サポーターズクラブとの交流)。

(仙台市)素直で思いやりのある子供を育てる。「心づくり」学習力を見に付け、自ら進んで学習する子どもを育てる。「学習力づくり」自分の健康、安全に関心を持ち、実践する子どもを育てる「健康づくり」。

(仙台市)食育。

(仙台市)地域との連携・協力。

(仙台市)・異年齢集団のたてわり活動(遊び、学校のおまつり、学区民運動会)・地域子ども教室(水曜日14:00~16:00) 子どもと共に保護者がボランティアとして関わる事で保護者間の中で孤立しない相談できる場を作る。

(仙台市)・あいさつ、早ね早おき朝ごはん、くつをそろえる等の基本的な生活習慣の習得・「自分づくり教育」として、目標をもって生きる態度の育成。それを行うために自己評価を大切に、自分に対する自信を高めるような指導を工夫している。

(仙台市)開かれた学校づくり。地域との連携。

(仙台市)体験的活動 田うえ、稲かり。デイサービス訪問など。

(仙台市)教科の基礎基本。学級づくりの在り方。行事の成功に向けて。

(仙台市)農業体験活動。米や野菜を育てて、販売までおこなう。

(仙台市)児童会活動、縦わり活動。

(仙台市)確かな学力の定着

(仙台市)・学習面 基礎、基本の定着(学年において身につけることをしっかり身につけさせる)・生活面 基本的な生活習慣(あいさつ、返事等)をしっかり身につけさせる。

(仙台市)授業(教科)

(仙台市)基礎学力の充実。

(仙台市)中学校区で連携したキャリア教育の推進。

(仙台市)特別活動の充実。

(仙台市)たてわり活動。環境への取り組み。

(仙台市)(1)確かな学力の定着と豊かな心の育成(2)基本的な生活習慣の定着と危険回避能力の育成(3)地域の資源や教育力との連携に立つ開かれた学校づくりの創造。

(仙台市)自己肯定感のもてる教育活動。

(仙台市)・自然体験(秋と冬の野外活動)・思いやりの心の育成。

(仙台市)学習意欲の向上、豊かなかわり(異年齢集団活動) 楽しく分かる授業の実践(少人数指導、一部教科担任制、校内研究・研修の充実等)。

(仙台市)食育。

(仙台市)「ひと」「もの」「こと」とのかかわりを大切に学習。・オアシス運動を推進する・きれいな学校を目指し、昼休みに全校一斉清掃や花苗1000本活動をしている。

(仙台市) 確かな学力の向上 生徒指導と心の教育の充実 健康教育の推進と安全教育の充実 教育環境の整備、充実。

(仙台市)体験的な活動(外部の施設等を利用したり、外部から講師等を招いて行う)を積極的に取り入れること。

(仙台市)地域の伝統文化である田植踊(国指定の重要無形民俗文化財)の伝承活動に全校児童で取り組んでいる。地域の保存会の方々に年間を通じて、ほぼ月に2回来校してもらい指導を受けている。・近隣校との交流学习を継続的に行っている。

(仙台市)・体験を多く取り入れた学習。・互いにかかわりあい、助け合いながら活動する。・地域と連携を密に取り、子どもたちの成長を育む。

(仙台市)思いやる心の育成と確かな学び。

(仙台市)「基礎・基本の定着」「読書活動の充実」「縦割り活動」「長年にわたる活動」「地域との交流」。

(仙台市)生活・総合(1～6年での稲作活動)。

(仙台市)・教科担任制・特別支援教育。

(仙台市)生活科、総合的な学習を中心とした、地域素材を生かした学習

(仙台市)・小規模校なので縦のつながりを大切にしながら、リーダーシップや協調性を育てる。

(仙台市)・基礎・基本の定着 朝の活動(読書タイム、チャレンジタイム)による国語、算数の力をつける。・のびっ子タイム(補習タイム)を金曜放課後に実施し、漢字、計算力をつける。・たてわり活動の充実 異年齢活動を通して様々な力を身につけさせる(週1回朝の活動「あおぞらタイム」たてわりによるおまつり活動や収穫祭、また遠足や交通安全教室の実施)・校内の自然観察園の活用 自然の変化の様子、環境保全等の学習。

(仙台市)異学年間の交流により人間関係を深めるたてわり活動。健康・体力づくりの活動。地域行事への参加。

(仙台市)郷土の自然や暮らしに関連した体験的な活動に取り組んでおります。活動例として、緑の活動で種から育てる花壇づくり(マリーゴールド、ブルーサルビア等)や学習農園(米作り、サツマイモ、枝豆等作物作り)自分づくり教育(生活科、総合的な学習)で実施している。

(仙台市)自然及び社会生活における体験活動を重点に教育過程・活動を組んでいる。特に高学年は地域や社会人との交流を総合的な学習を中心に行っている。

(仙台市)体力の向上 生徒指導 学力の向上 特別活動。

(仙台市)心の教育。他を思いやる心、いじめのない学校。

(仙台市)特別支援教育。基礎学力向上。

(仙台市)・読書活動。・めあてをもった学習活動。・業間遊び等の運動(体力、コミュニケーション作り)。

(仙台市)・課外活動として、合唱団・吹奏楽団の実施。・国語科「書く活動」を重点的に指導。

(東京都北区)・道徳教育。・小中連携教育。

(東京都北区)・思いやりの心の育成。・あいさつ。

(東京都北区)・少人数指導。・異学年交流。・食育。

(東京都北区)情操面の教育(委員会活動やたてわり班での活動、吹奏楽部の活動)等

(東京都北区)基礎学力、基礎体力の向上策。

(東京都世田谷区)地域と連携した教育活動(地域、幼小連携、インターナショナルスクールとの交流等)

(東京都世田谷区)地域とともに子どもを育てる活動。・職場体験(6年生)。・あいさつ運動。・地域ボランティアの教育活動の参加、昔あそび、戦争そかい体験、花づくり、読み聞かせ。基礎・基本の定着。

(東京都世田谷区)「対話」のできる児童の育成。

(東京都世田谷区)・1年～6年異学年交流により児童が相互に尊重しあう心情や態度を育てるたてわり班活動。・朝8:15に担任が笑顔で児童を迎えること(子どもによりそうこと)。

(東京都世田谷区)社会性の育成。・コミュニケーション能力の向上。

(東京都世田谷区)体育的行事、学芸的行事とその取り組み。

(東京都世田谷区)特別活動、異学年でのたてわり班活動。

(東京都世田谷区)・岩手出前授業。・岩手食材探検ツアー。・福祉的体験。

(東京都世田谷区)・英語活動。・読書活動。・ICT情報教育。

(東京都杉並区)自尊感情を高める「命の教育」。赤ちゃんとのふれ合い授業。パースコーディネーターによる出産。ホスピ

スの医師による死についての講話。

(東京都杉並区)・野鳥観察。・食べられる物の栽培。・読書教育。

(東京都杉並区)教師の授業力向上(O J T)・指導力向上。

(東京都杉並区)・地域とつくる学校。・豊かな心。

(東京都杉並区)地域諸学校 e t c との連携。農芸高校(花づくり、馬との活動、とうふづくり)杉並工業高校(物づくり、理科の授業)早稲田クラブラグビー教室。

(東京都杉並区)現在は英語活動。

(東京都杉並区)・コミュニケーション力の育成。国語の学習(校内研究) コミュニケーションを生かした指導(単元によって「対話」「会話」「相互指名」などを生かした指導を行っている。)・自己表現力の育成。総合の学習や演劇学習を取り入れている。

(東京都杉並区)算数教育 - 教科書程度の問題を90%近くの児童がクリアするよう授業の充実と補習を行っている。

(東京都杉並区)学年をこえた、たて割活動。

(東京都杉並区)言葉を大切にす。話し合い活動・学び合い。食育。健康教育。

(静岡市)自ら学ぶ学力。

(静岡市)共生の精神。

(静岡市)小規模校のよさを生かし、個に応じた指導。

(静岡市)地域の人材を活用した授業。

(静岡市)たてわりグループでの活動。道徳教育。

(静岡市)・活力のある子の育成。・知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成。・見る力・聞く力の育成。・地域との連携。

(静岡市)命を大切にす教育。

(静岡市)・基礎基本の学力の定着と体力作り。・山間地の学校なので地域の特色を生かした農園を利用した生産活動。・地域の人材を生かした総合学習。

(静岡市)あいさつを含め、相手に自分の気持ちを言葉で伝えられる子。自分で判断して行動できる子。

(静岡市)こどもが主体的に考え、取り組んでいくこと。

(静岡市)・体育科を通しての健やかな心身、コミュニケーション力の育成。・学校応援団を通しての地域・P T A との連携(ゲストティーチャー、花壇ボランティア等の充実)。

(静岡市)地域人材もしくは職業のプロをお迎えしての授業。

(静岡市)・縦割り活動(異学年の集団による活動)・地域の特色を生かした活動(紙すき、そば打ち)。

(静岡市)・教科学習の充実と総合的な学習の充実を両輪に「確かな学力」を保障する。・自己表現力の育成。

(静岡市)子ども一人に「居場所」と「安心・安全」を保障する。

(静岡市)学習の基礎・基本の定着。

(静岡市)・基礎基本的内容の定着のために毎朝15分間、国語ドリル、算数ドリル、読書を実施している。・体力向上のために毎週水曜日全校での朝運動を実施している。・高学年のリーダーシップ養うために児童会を中心に、V S 活動、あいさつ運動、仲よし遊びなどを実施している。

(静岡市)学習 - 基礎基本の徹底。生活 - あいさつ運動。

(静岡市)「聴くこと - 表すこと」の行為を充実させるとことを学習や特別の場などを中心にして具体的に指導・支援している。

(静岡市)「命の教育」について・身近な自然や豊かな体験活動により、人と自然とのかかわりをもたせ、感動する心を養う。・伝え合う力を育成し、人と人とのかかわりの中で共に高め合う子や集団づくりを行っている。

(静岡市)(知)話す、聞くなど関わることから気づく楽しさを実感し主体的に問題を解決する力をつける。(徳)行事や縦

割グループ活動から協同性、実践力をつける。・あいさつ、清掃などあたりまえのことをきちんとできる心構えを育てる。

(体)運動の楽しさを実感しめあてのをもつて体力作りに取り組む力をつける。

(静岡市)自然豊かで、かつ温かな地域人材にも恵まれており、体験や交流活動を行っている。

(静岡市)・自信を持たせるための自慢づくり。・個人の自慢づくりとともに学級、学校の自慢づくりに励む・学校のわくをこえた集団を編成し仲間づくりをする・子ども自身の試行の流れを大切に授業。

(静岡市)特別支援教育に対する学校体制づくり。・研修会・保護者との積極的な面談・個に対する支援。

(大津市)交流活動 - 学年間の交流、地域との交流、幼稚園との交流。

(大津市)・基礎・基本の定着。・体験活動。・異年齢交流活動。

(大津市)生活行動学習(道徳、学級活動を中心に)「集団の中で生活するためのルールを身につけさせること」に力を入れて実施している。

(大津市)保育園、幼稚園からのなめらかな小学校教育への接続。5、5交流(5才児と5年)。地域の福祉施設との交流。

(大津市)道徳教育。・道徳の時間の工夫。人間性・社会性を育む道徳教育。

(大津市)茶道をはじめとした体験活動等に力を入れている。

(大津市)・朝の読書活動や地域のボランティアグループの読みきかせの実施等による図書館教育の推進を図っている。・音読学習を通して自らの思いを生き生きと表現できる子どもを育てようとしている。(本校独自の音読スキルの作成)(音読学習交流発表会の実施)(音読を学習活動に取り入れた授業研究の実施)

(大津市)・基礎的基本的な学力の定着への取り組み。・あいさつ、清掃活動。

(大津市)農業体験活動。1学年約20㎡の畑に年2回野菜等を作り収穫し調理もする。3、5年生はもち米を作り、11月下旬とれたもち米でもちつき大会(全校児童で)を実施。英語学習、3～6年、地域の方を講師にまねき、週1時間の英会話。

(大津市)・英語学習(市指定)。・読書活動。・指導力向上(県指定)。・地域を生かした体験学習。

(大津市)体験的活動 - ものづくりの活動として信楽焼の達人を招き、焼き物作りをしている。6年生のキャンプに向け、低学年から実践。自主的に活動が進められるよう、カリキュラムを立てている。児童会活動 - ・自分たちで企画。立案して学級毎に小まつりの催し物を行う。(映画作り、劇の上演、ゲームなど)

(大津市)・読書指導。・生活科・理科の学習。・音楽(ハーモニー)。

(大津市)話す、聞く活動を授業にとり入れ、コミュニケーション力を伸ばす。

(堺市)あいさつ等自尊感情の育成。学力向上に向けた教科指導。学習環境づくり。

(堺市)・縦割のグループ活動(ミニ運動会、お楽しみ会など)・体力づくり(かけ足訓練、体育朝会、ミニ運動会など)

(堺市)おもいやりの心。

(堺市)環境学習。

(堺市)コミュニケーション能力の向上(表現力、伝える力の向上)国語科を中心として、授業改善にとりくむ。教科外の特別活動や総合学習でも発表を多く取り入れている。

(堺市)環境教育。

(堺市)田んぼ学習など農業体験。

(堺市)・地域とのつながり。・そうじ。

(堺市)今年度の重点目標として次の3点を挙げている。・確かな学力の育成(学力の向上)・夢をはぐくむ「総合的な学習」の充実・若年教職員研修の充実。

(堺市)学力向上。

(堺市)自分の考えを持ち、伝えようとする力。

(堺市)学力向上のため。・学習規律の徹底。・個に応じた指導。・放課後の指導。・読書指導。

(堺市)・算数ノート指導。・学びの集団作り。・あいさつ。・読書。

(堺市)教育課程のなかで・基礎・基本の習得と活用力の育成。・特別支援教育・個に応じた指導。・「心の教育」の充実。

(堺市)自学・自習力の育成。伝え合う力の育成。

(堺市)学力向上。道徳教育。

(堺市)学力向上。

(堺市)特別支援教育の充実。「かかわり」を重視した個に応じた指導。

(堺市)生徒指導の徹底。あいさつをする。黄帽・名札の着用。チャイムを守る。

(堺市)朝の読書活動。朝の基礎・基本学習(国・算)。福祉ボランティア教育。ICT推進。

(堺市)環境教育。

(堺市)学力向上、学生ボランティア導入。

(堺市)小中連携の推進、教員の交流(中 小：英語活動、算数、小 中：理科、数学(選択履修)等)。

(堺市)小規模校の特長をいかした、縦割りの集団による活動。

(堺市)学力向上への取組み。

(堺市)・学力向上にむけて、計算力等をつける計算100問を毎日2年以上全学年で実施。・表現力を育成するため、研修会や授業公開をしている。・毎朝、読書の時間をつくり、全クラス取り組んでいる。

(堺市)たて割り活動を核にした仲間づくり(児童交流活動)を実施。毎週木曜日の交流タイムを中心に児童会企画の各行事に参加。生活発表、七夕集会、読書はがき紹介、特技コンテスト、クリスマス集会、ミニ運動会、トレジャーハンティング(オリエンテーション)お別れ集会等。

(堺市)異年齢集団による活動。

(堺市)心の教育 地域との交流。

(堺市)配慮を要する児童に対応できる体制づくり。

(堺市)平成16年に「さつき野小中一環キャリア教育特区」の認定を受けている。その関係上キャリア教育と英語教育に力点を置いている。キャリア教育の中では門限関係能力の育成と思考力の育成に力を注いでいる。

(堺市)学力向上(全教員研究授業)。食教育。

(堺市)家庭との協働による基本的な生活習慣の確立。

(堺市)外国語(英語)活動。

(堺市)・全学年に渡り校内・校外での体験的な活動を多く取り入れています。・躰を重んじ、あいさつや靴をそろえるなどの児童の自主的な活動を奨励しています。

(堺市)・基礎学力をしっかりと身につけさせること(くり返し学習、100ます計算、個にあった指導など)・心の教育、人権教育(特別支援学級児童など配慮を要する児童を中心にした学級づくり、福祉体験学習など)

(堺市)基礎学力の定着(朝学習、1時間目開始前の計算ミニドリルや朝読書)。あいさつの徹底。「読むこと」を中心に国語科での基礎基本の確かな習得。

(堺市)・基礎的・基本的学習内容の確実な習得。・基本的な生活習慣の確立。・心の教育の推進。

(京都市)地域との連携、コミュニティスクールとして。

(京都市)・学力向上につながる取組全般(普通授業の充実、特設時間の活用、個別指導対応、家庭教育の活性化etc)・豊かな「心」と健やかな「体」の育成。・地域ぐるみの教育(学校)づくり(学校運営協議会、学校評価の活用)。

(京都市)「個の見取り」を核とした、キャリア教育、小中一貫教育。

(京都市)たてわり集団の育成(1～6年生のグループでの活動、6年生リーダー性を身につけさせる)。学びあいの学習。

(京都市)「確かな学力の保障」児童の読解力-理解しながら読み、筋道を立てて考え、適切に表現する力-を向上させ、自力解決力の育成を図る。・考え、伝え合い、活用する力をつける授業の創造。・家庭学習の充実。

(京都市)・学校運営協議会(7つの企画推進委員会)による地域との連携。・「食育」の推進(3年生以上の総合は「食にかんする指導」)

(京都市)学力向上「普通授業の充実、課外学習、家庭学習の定着」。

(京都市)部活動(約6割の児童が参加) 課外学習、放課後(ほぼ全員) 月1度の土曜学習(約2割) 学校運営協議会による保護者、地域との連携。

(京都市)9年制(小中一貫)のカリキュラム作成。作成したカリキュラムの見直し。

(京都市)身に付けた知識・技能を活用し、筋道を立てて考え、課題を解決する力、いわゆる「活用する力」の育成。

(京都市)地域との一緒になって活動すること、野外活動、ふれあいまつりなど。

(京都市)・校内LANを活用した算数科教育。・地域に根ざした農業体験活動。

(京都市)・コミュニケーション能力の育成(伝え合う力)。

(京都市)文化的な体験(茶道・読書) 環境面(トイレ掃除)。

(京都市)放課後まなび教室。体験(的)学習。着衣水泳。外部講師による、出前授業。

(京都市)・科学教育。・人権教育。

(京都市)豊かな体験活動(自然体験活動)を通して、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を展開している。

(京都市)生活規範意識・好ましい生活習慣の定着・学力向上・健康教育。

(京都市)(1)理数教育、特に算数科教育において、演繹的な考え方の育成(全学年ほぼ達成)と蓋然的推論の育成をめざし、方法としての数学的な考え方の育成を目指す。(2)算数科教育における、集団思考が成立するように、「書く」「話す」「論理的にまとめる」能力の育成を目指す。} 3年計画の一年目です。(3)ICT機器の充実を図り、教科教員(算数科、音楽)総合的な学習の時間内時間に積極的に導入活用して学力向上を目指す。H21は図画工作も関連を図る。(4)英語活動(外国語活動)の充実...先進的に取り組んでいます。

(京都市)・体験活動的内容を取り入れている。・地元産業の陶芸をとり入れている。

(京都市)・教科では算数を中心に研究を行い、基礎・基本の定着とコミュニケーション能力の育成を図っている。・食の大切さや楽しさを知り、心身の成長や健康の保持推進のための「食育」の推進。・地域との連携による体験的な学習活動の推進。

(京都市)朝の10分間読書。午後の10分間計算演習。

(京都市)放課後の外部人材を活用した講座開設。84%の児童が受講している。

(京都市)体育科教育。

(京都市)学力向上の取組です。

(京都市)自分の言葉で自分のおもいや考えを伝えることができるように指導している。

(京都市)・部活動の活性化と土曜学習の充実。

(京都市)・地域と共に創出する教育活動。・コミュニケーション能力の開発・伸長。

(京都市)算数科を中心として、考える力の育成。

(東出雲市)学校図書館活用教育に力を入れて、子ども達の調べ学習&読書活動に取り組んでいる。担任-司書教諭-学校司書の連携で、子ども達の情報リテウシーの向上読書生活の向上に成果があがっている。

(東出雲市)ふるさと学習(郷土の歴史、文化、伝統を大切に、地域に愛着をもつ学習)。英語活動研究拠点校(5、6年生を中心に国際理解を主体とした交流活動を構成する)。自分の思いをいきいきと表現する子どもの育成。

(東出雲市)コミュニケーション能力の育成。

(松山市)・教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の関連を図り、体験的な活動を重視し、地域教材を積極的に取り入れることにより、個性を生かし自己教育力の育成を目指す。・放送教材の活用等、児童の感性や学ぶ意欲を高める学習指導の在り方を工夫し、「おもしろい、やってみよう」と主体的に取り組む学習活動の推進。(・放送教育研究大会会場校)・

総合的な学習。(ホタルを育てる他)

(松山市)少人数の利点を生かした個別指導。

(松山市)基礎学力の育成。

(松山市)・立岩に脈々と流れる校風と伝統を継承し、生き生きと活動する「立岩っ子」を育てる。・郷土のよさを知り、郷土を大切に作る心をもつ「立岩っ子」を育てる。・家庭、地域社会との連携、協力体制のもと、主体的な学校内外の活動を通して、心豊かでたくましい「立岩っ子」を育てる。

(松山市)コミュニケーション能力や表現力を育成するための国語科の授業の工夫、改善。

(松山市)地域に根ざした特色ある学校づくり。

(松山市)交流活動。

(松山市)食育に関する実践的、体験的な活動。

(松山市)児童が主体的に活動すること(行事の運営、準備、話し合いなど)

(松山市)・思いやりの心や生命を尊重する心の育成。・支持的風土づくり。・食育。・正しく考えることのできる子の育成。

(松山市)自分の考えを論理的に述べる表現力を育成すること。

(松山市)・少人数指導の充実。・縦のつながりを生かした人間関係づくり。・地域の自然を生かした体験活動の充実。・小中の連携。

(松山市)・コミュニケーション能力を高める指導。・あいさつ、しせい、そうじの継承。・基礎・基本の定着。・気付き、考え、実行するJRC精神の涵養。

(松山市)・機能する生徒指導の推進。・分かる授業の工夫。・学社融合の推進。

(松山市)表現力の育成、人とかがわり合う力(コミュニケーション能力)の育成、ふるさとを愛する心。

(松山市)・人権教育・特別支援教育を核とした確かな人権意識の育成。・異年齢集団活動を通したぬくもりのある集団づくりの推進。・体験活動を通したふるさと浮穴を愛する心の育成。

(松山市)地域に根ざした教育活動。

(熊本市)学力充実。

(熊本市)特別活動(学級活動)の充実。

(熊本市)栽培活動を通した食育の推進。勤労体験活動を通した生命尊重や地域理解。

(熊本市)緑化を中心としたエコ活動(環境教育)に力を入れています。各学期1回地域ボランティア(老人会を中心とした方々20名~30名)と樹木の世話をしたり、除草をしたり、花を育てて一人一鉢にとりくんでいる。土づくりにも給食の残菜を活用したり、リサイクル活動なども積極的にとりくんでいる。また、地域のよさに注目した自然体験、社会体験を豊かにとりいれた総合のカリキュラムを作り、多くのGT(専門家)との関わりの中で実感を大切に活動を行っている。特活では、委員会活動、児童会活動で独自のとりくみを工夫させ、自信をもって、マイクなしでも全児童の前で発表できる子どもを育てている。特に歌唱力はバツグンで児童も自信をもって歌っている。

(熊本市)いのちの教育。月一日「いのちの日」を設定し、全児童に講話を実施している。さらに、それをうけて各担任が発達段階に応じた話をしている。

(熊本市)確かな学力の育成。豊かな心の育成。

(熊本市)特別な支援が必要な児童に対する支援体制。

(熊本市)文章の表現力をつける。3つのあ運動(あ)いさつ、(あ)いず、(あ)としまつ。

(熊本市)環境。

(熊本市)特別支援教育、学校全体がどの子にも優しい学習を心がけている。

(天草市)地域と協力して行う行事。

(天草市)表現力の向上。

(天草市)島をあげての運動会や祖父母学級など、地域との関わりを深める行事等。

(天草市)・あいさつを始めとする基本的な生活習慣の育成。・読書・音読・視写等を中心に読解力、思考力、自己表現力の育成。・豊富な自然体験、社会体験活動を基盤とした生きる力の育成。

(天草市)国語科における読解力、思考力の向上。

(天草市)食育。

(天草市)基本的な生活習慣、例えば、掃除を無言でがんばる、ろう下・かいだんを歩くなどが徹底できていなかったため、特に2学期から力を入れて指導してきた。結果として、少しずつ良くなっている。

(天草市)地域の人との交流を通しての体験活動。

(天草市)地域の伝統行事を地域の方、保護者の協力を得ながら活動を進めているものが2つある。炭焼き活動や福連木子守唄の伝承である。

(天草市)・学力の向上・豊かな心の育成。

(浦添市) 基礎・基本を定着させるための指導。そのために教員は、授業研究を通しての資質の向上を図ること。児童は、学習習慣を身につけること。(学校・家庭で)保護者は、環境づくりをしっかりとる。(早寝・早起き・朝ごはん・家庭学習)

(浦添市)心の教育。・道徳の時間を充実している。・人権教育、環境教育。

(浦添市)・「あいさつ」運動を通しての、あいさつ指導・「朝の読書・読み聞かせ」を通しての読書指導。

(浦添市)自らの考えを相手に伝える表現力の育成。国語科のみならず、学校教育全般にわたり、校内研修として、全教諭で全児童に対し実施。

(札幌市)あいさつ運動、読書活動。

(札幌市)エネルギー環境教育、「5年生 - K i d ' s I S O」のとりくみ(H17年～)全校での省エネ活動。言語力・・・漢検の実施。

(札幌市)・体験活動の充実と問題解決の能力を育成するカリキュラム・心の育成(特に思いやりや他者意識をもてる心の教育)

(仙台市)・体験活動(3年野外活動、4・5年野外活動、6年学びの旅、スキー、スケート教室、荒町探検など)・表現活動(縦割りでの学芸フェスティバル、夏休み発表会、学校文集、荒町音楽プロムナード、荒町ミニギャラリーなど)

(仙台市)・習熟度別学習(算数、高学年)・教科担任制・少人数学習(1～2年、算数)

(仙台市)食に関する指導。

(仙台市)・地域にある養護学校、高齢者の福祉施設との交流学習・在仙のスポーツプロによる講演会・情報教育・英語活動。

(仙台市)小中連携。

(東京都世田谷区)特に国語科において読解力を重視し、指導法の研究に取り組んでいる。又各種行事においては、保護者や地域の方々が、楽しめる行事の実施を心がけている。

(東京都杉並区)・伝統・文化理解教育・体力・学力向上。

(堺市)学び合い。

(京都市)伝統芸能の育成。

(京都市)・朝読書・朝マラソン。

(京都市)・学校が組織体として教育活動を行う。特に生徒指導、学力向上・キャリア能力を育成する環境教育。

(松山市)・特別支援教育の充実として専門家によりスクールカウンセリングを保護者・児童の希望者に行っている。

(松山市)縦割り活動・1～6年で10人程度のなかよし班を作り、交流活動を行っている。

(天草市)体験活動として、9月のはじめ1週間、公民かから学校へ通学し、公民かんで寝とまりを自分たちだけで行な

う。通学合宿を行なっている。

(天草市)・地域人材活用による体験活動の充実(米作り、作物作り等、炭やき)・地域とともに環境教育の推進(EM愛好会との連携など)。

(天草市)・各学科における基礎基本の徹底と活用力(伝え合う能力)の育成・人権教育(特に学級集団づくり、学力保障)。

(天草市)・規範意識の育成。

【 Q6 キャリア教育を推進していくうえで重要だと思われることの選択とその理由 】...(小学校)

(札幌市)具体的取り組みに入るための共通理解(教職員間、地域の人々も含めて)が、まず必要な段階である。

(札幌市)環境が可能かどうか重要と思われるので。

(札幌市)実体験重視ということで、現場の協力を得るためにも計画性が重要と考えています。前任校では進んだ取り組みがあり、実感しています。

(札幌市)ガイドブックがあることによってより高い意識化を図ることができわかりやすくなると思うから。

(札幌市)現場の教師にとって授業を行なうためには、教材を準備することからが必須です。体系化して授業を進めるためには、それだけの教材準備が必要となり、負担感は大いなものがあります。そのため、各種ガイド等が必要と考えます。

(札幌市)総合的な学習で積極的に取り組んでいけるような条件及び環境整備が不可欠であると考えます。

(札幌市)・教育課程全体における、ねらい等位置付けが必要。・授業時数の確保、単元の中での位置付けを明確にする。・地域との連携が欠かせない。

(札幌市)・新学習指導要領、実施に向けて、授業時数確保が第一と考えている。このような中でキャリア教育についての時数確保は難しいと思われる。

(札幌市)どのような授業とそのねらい、活動のゴールになるのか考える必要があるから。

(札幌市)単発におわらない計画性と、実践できる場の確保。

(札幌市)最近には特に支援を必要とする子どもへの対応等を中心に取り組まなければならない問題が山積みの状態である。何をすることも教員数不足である。

(札幌市)キャリア教育に限らず、子どもは学校地域保護者の協力のもとに育てていくものであるから。

(札幌市)スタートにあたって不可欠なことであるから。

(札幌市)全体的な見通しをもつことが大切だと思う。

(札幌市)本校(小学校)ではキャリア教育の推進を現時点では考えていませんが、推進するのであれば、やはり地域の方の支援(活用)教育委員会の予算面での支援、先進校の実践例が必要と考えます。

(札幌市)外部の方を招く際の保障(ケガ e t c)や継続していく際には教育委員会等の支援が不可欠。また、授業時数についても不安が残る。

(札幌市)職員全体への基本的理解と活用の具体的推進方法及び校務分掌の整理、地域活動への説明と人的協力がまず確立される必要あり。

(札幌市)(b)総合的な学習の時間で実施しているが新指とのからみ。(d)一定のご理解ご協力を地元の商店街より得ているが。(g)この種のガイド本不足のため。

(札幌市)中学校に比べ、小学校はキャリア教育のノウハウが少ないと思われる。

(札幌市)・小、中、高それぞれの段階で、似たような活動が繰り返されているようで、体系化を図ることが必要ではないか。・保護者の中にはキャリア教育への理解、必要性が乏しい人も少なくないため、その啓発と支援体制が不可欠。

(札幌市)確かに大切なことではあるが他にも取り組まねばならぬことがたくさんある中で、手をつけるのであればまずは、a、b、cがないとその時だけのものに終わってしまう。

(札幌市)本校では全くキャリア教育についてふれられていないため。

(仙台市)本校では6年生を中心にキャリア教育を含む市独自の「自分づくり教育」を行っている。まだ始まったばかりだが今後は他の学年へも波及させ学年ごとのつながりについても検討していきたいと考えている。

(仙台市)各教材、道徳、特別活動、行事などの関連を明確にして、キャリア教育を推進していかなければならないと考える。

(仙台市)保護者、地域社会、外部団体との連携は必要である。

(仙台市)キャリア教育を推進しながら、自己の確立をすることが重要と考えるから。

(仙台市)必要性は感じながらも、教科に直結しないために教員の意識が著しく低いように思うので、教育過程に照らしての全体設計は必要である。

(仙台市)特に小学校段階では、職業選択ということより“働くことの意義”や“働く人の願いや思い”に気付かせることが大切であると考えている。低学年では学級や誰かのために働くことを当番や係の活動を通して体験させていきたい。低、中、高の段階ごとのとらえと、職員の指導の系統性を確保するためにも、組織作りや内容の体系化は不可欠と考えるため。

(仙台市)山村部にある学校のため、キャリア教育のため工場や店、その他体験学習をするための場合に移動することがたいへんである。市教委がスクールバスを出すと交通費を補助してくれるなどの支援をしてくれないと、なかなか難しい部分が多い。

(仙台市)小学校の教員でキャリア教育の重要性を認識している人がまだ少ないから。

(仙台市)まずはキャリア教育とは何か、などの基礎的なことをやるのが必要だと思う。

(仙台市)小学校へのキャリア教育の在り方を共通理解すべき。

(仙台市)(教科の)授業時数確保が最重要となっていており、各教科以外の次の諸項目の時間を確保する方が優先されるため地域や外部の力をたよりたい!!(環境教育、食育、安全教育、薬物乱用、消費者教育、情報教育、自分作り教育、生涯体育、国際理解教育)

(仙台市)学校として、キャリア教育について共通理解をはかっていきたい。

(仙台市)カリキュラムの中にしっかり位置づけることと、人的協力がないと継続した取組にはならないから。

(仙台市)新教育過程に伴い、キャリア教育だけの授業展開は時数の現状からいって難しい。また、取り組むに当たって専門的な知識、協力が必要となってくるので、地域、行政機関のバックアップがなければ目的を達成し難しいのではないかと考える。

(仙台市)体系的な取り組みが大切であると考えます。

(仙台市)1 小学校における職業意識の醸造を継続的、体系的に行う必要があるから。2 学力向上を至上命令とされ、他校との比較評価もされる中、目的、効果の明確化がなされなくては職員一致での取り組みは不可能だと思われるので、まず計画をしっかり立てることが重要と考える。

(仙台市)中学校区における連携、教育の体系化は必須。学校内のみでの取組では推進できないので支援も必要。

(仙台市)子どもたちにしっかり向き合い、その時間の確保が一番必要。指導するための準備の時間もとれていない現状の中で、次々といろいろな教育というものを導入されている。やるべきと思っていても人も金もモノも何も変わらないまま、推進することは不可能。

(仙台市)小学校におけるキャリア教育の重要性を認識する教員を今以上に育てる必要がある。

(仙台市)現在、一部の学年(6年)で取り組んでいるが、学年の発達段階に応じて指導していくことが必要であると考えている。そのための全体構想や計画、テキスト等が重要である。

(仙台市)キャリア教育について理解を校内で共有していく必要があるため。

(仙台市)当校ではキャリア教育の位置付けがまだ不明瞭であり、体系化されいないため。

(仙台市)キャリア教育を1年から6年までの体系的な教育活動として教育過程に位置づけることが必要である。

(仙台市)担当の教員や一般の教員の研修や準備のための時間の確保が必要である。推進していくためには準備や研修等の時間が必要なのに、現在の現場にはそのための時間がほとんどない!。

(仙台市)小学校の段階で何をどのように学ばせていくのか、まだ見通しを持っていないため。新学習指導要領への移行に伴い、教科の時数確保も困難であることから、これまで小学校で指導してきた、キャリア教育に関連する内容について、継続するもの、新たに加えるものを吟味していく必要がある。

(仙台市)仙台市の場合、教育委員会の支援体制や地域の協力支援はできているが、現場の先生方の意識が低く、取り組み

に消極的な方が多い。

(仙台市)時数確保が大きな課題。

(仙台市)・教職員の意識(課題認識)ノウハウが不足している。・中心となって計画を立てる人がいても多忙のためなかなか思うように活動できない。

(仙台市)学校現場でキャリア教育を推進するにあたっては全体計画を基にした教職員間での共通理解と地域・保護者からの理解・協力が必要不可欠と考えるため。

(仙台市)地域との連携は欠かせないので、お願いや理解していただく上で年間の計画、学年ごとの計画が重要だと考えています。

(仙台市)本来、学校で行われるべきカリキュラムが(道徳等を含む)100%適正に実施されていれば、それで立派なカリキュラムになるはずである。実施されていない部分の多いことが問題。

(仙台市)「自分づくり教育」では校内だけでなく、校外との協力関係が大切なポイントであり、一年間を通じた中での計画が校外のスケジュールにも合致したものとして作らなければ有効な実効性を伴わない。全校体制で校外の協力者と連絡調整を図りながら取り組んでいくことが必要である。

(仙台市)(1)にあるように仙台市教委では「自分づくり教育」として、かかわる力(人間形成能力)みとおす力(意思決定能力)いかす力(情報活用能力)の育成を図っているから。

(仙台市)教師側がもっとキャリア教育について具体的な内容も含め理解を深めた上で、例えば小1~中3までの9年間を通した全体的な計画を明確にしていく必要がある。体系化されたシステムづくりが、推進していく上で不可欠と考える。

(仙台市)キャリア教育(自分づくり教育)の学校としての共通理解を図ることが必要である。また、分掌上担当が明確に位置づけられることにより、小中学校間の情報交換もスムーズに進むと考えられる。

(仙台市)ステップを意識した計画的な教育活動につなげていきたい。

(仙台市)キャリア教育を推進するための校内でのリーダーが必要である。

(仙台市)無理のない時期で、無理のない時間数で実施している。

(仙台市)・職員での研修を通して本校におけるキャリア教育の捉え方を確認し、見通しをもった全体計画を構築する。・PTA・地域・行政との連携を図る。

(仙台市)全体的な計画の作成で、人材確保が現在の急務となっている。

(東京都北区)組織的なキャリア教育を行う上で当面一番必要不可欠なことだと考えるからだ。

(東京都世田谷区)地域や関係機関と連携するための人的支援が必要(コーディネーターの役割)

(東京都世田谷区)まだ発展途上な状態であり、若い者がキャリア教育主任をしているのでよくわからない

(東京都世田谷区)・児童の発達段階に応じた全体計画が必要だと思うから。・地域での職場体験が非常に有効だから。・副教師やガイドブックがあるとより授業に取り組みやすいから。

(東京都世田谷区)新たな取り組み(ゆとりなし)にはいつも時数の問題あり。

(東京都世田谷区)様々な資料、現場以外の人材の活用などから推進していけたらありがたい。

(東京都世田谷区)本校のキャリア教育は、総合的な学習の時間での職業調べが中心であるため、その時に多面的な人材が必要となり例年確保することがむずかしいのが現状である。

(東京都杉並区)学力向上のための授業時数の確保が最優先課題である。キャリア教育が全学年で必要であると考えている教員も少数である。特に1・2年の担任にとって必要感がない。

(東京都杉並区)体験活動や授業の企画のためには(1)地域の人材発掘や協力体制づくり(2)授業を企画、運営して協力してくれるコーディネーター(3)教師の力量向上、以上が必須である。

(東京都杉並区)教員一人一人の意識改革が必要。

(東京都杉並区)・現在行っているが総合的な学習の時間が少なくなるため。・数年続いてきた学習も今後もつなげていくため。

(東京都杉並区) (b) 学校の授業時数の確保がむずかしくなっており、キャリア教育だけ十分な時間をさけない (d) 人的な協力がないと十分な効果が得られない (k) 人的資源が効果的な指導のために必要である。

(東京都杉並区) 総合の学習に時間などを活用すれば実施できることは実証済み。ただ担任 (学年) の関心にかかっている面があり、学校としての計画をきちんと立て、引き継いでいく必要がある。そのためにも上記の事柄が大切を考える。(ちなみに本校では、今年初めて実施。2回に分けて13名のゲストティーチャーを招いてお話を聞いた。保護者や地域のロータリークラブなどに協力してもらった。)

(東京都杉並区) 現在、特に時間の確保が難しい為。

(東京都杉並区) 教員の共通理解が必要。

(静岡市) キャリア教育の全体像や具体的な事例があるとイメージしやすいから。

(静岡市) 学校全体の研修計画の中に位置付ける。話し合いの場の確保が必要。

(静岡市) キャリア教育ととりたてて行うのではなく他教科、学校教育全体の中で行いたい。

(静岡市) 本校での指導計画、作成実施が重要であるから。

(静岡市) 推進のために校内体制を確立し、地域との連携・協力を得た上で全体計画を作成するため。

(静岡市) 本年度末までにキャリア教育の年間指導計画を作成する予定である。

(静岡市) キャリア教育ともとらえられる活動・行事は現在の活動にも多い。それを体系的に整理し、生きる力として育てるための流れを作る必要がある。現在、学校の現場は全く、余裕がなく、新しい事をするには、何かを削らなくてはならない。

(静岡市) キャリア教育は、特定の学年が特別に実施するというものではなく、学校経営の中にしっかりと位置付け、継続的・発展的・系統的でなければ定着しない。そのためには「生きるということ」「支え合うということ」「あこがれ・夢をもつこと」「人とかわり、学ぶこと」等が1年生から計画的に指導されなければ確かな職業観、社会形成能力は付いていかないと考える。

(静岡市) キャリア教育は始まったばかりであり、地域との協力がなどを模索しながら行っていきたいと考えているので。

(静岡市) 総合的な学習の時間を使って取り組んでいるが、他の活動との関わりで、時間数や人材の確保が難しい状況がある。

(静岡市) 学校教育はすべてがキャリア教育につながっているので、意識を高めるために全体設計や関連性の整理をしていく必要性を感じます。また教師が共通の意識で同じ方向を目指して推進していくために、ガイドが必要だと思います。

(静岡市) 全校全体で取り組まないと成果が上りにくいと思われる。単発でなく系統立てられたカリキュラムの中でのキャリア教育であることがより効果的と思われる。学校はキャリア教育だけやっているわけではないので多忙な教師の力となる地元からの支援は重要であると思われる。

(静岡市) ・キャリア教育の年間指導等計画が現在不十分で計画中。・学校の外とのつながりをどう深めるかにキャリア教育が本物になれるかどうかの鍵があると思う。

(静岡市) キャリア教育に対する定義や意味を職員がまず、共通理解する。通常の教育活動の中でキャリア教育として意識できるものを選びそのねらいを理解することが大切だと思う。

(静岡市) (a) キャリア教育で育てた力 (人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力) をどの活動で意識してつけていけばいいのか整理計画をしなければ有効に機能しない。(d) 地域の文化、歴史、産業の理解を深め自分に生かしていくためには地域の人材の協力が不可欠。(j) 学校だけでは外部社会人講師など幅広く情報を集めることが難しい。

(静岡市) キャリア教育が共通理解されていない (温度差が大きい) 一人ひとりが研修する場が少ないので、まず学習会が必要である。

(静岡市) 来年度より英語活動が導入されるなど、学校内でしなくてはならないことが増えている。しかし、その中でもし

っかり位置づけておかないときちんとした教育活動をする事ができないから。そして、学校内の職員のみでできる活動でもないの、アンテナは高く張るべきだと考えたいから。

(静岡市)何のためのキャリア教育か児童にもはっきりさせるとともに、先を見通した取り組みができるため。

(静岡市)年間指導計画の作成によって計画的、効率的な教育が可能となるから。

(静岡市)現在、学校現場に求められている内容が多すぎる。小さい頃からの教育が必要であることはよくわかるが「人も金も出さないがやれ」というようなものでは推進されない。今、現場でできることは、現在やっている教育活動をキャリア教育という視点で整理し直し、教職員がそれを理解した上で教育実践することである。新しい活動をさらに増やせというのは無理である。

(大津市)新しいことに取り組んでいくためには、多くの時間が必要。授業時間ということだけでなく、その準備のための時間も必要。さらに人、物も必要。

(大津市)全体の骨格の整理と教育するためのモノの用意が必要と考える。

(大津市)校務運営が非常に多く、ひとりで多くの仕事をかかえている教員が少なくない。校内における人員配置が増えなければ、実施していくことはむずかしい。

(大津市)中学校に卒業生を送る立場になる6年生の担任と低学年、中学年の担任とのキャリア教育に対する温度差があるのが実態。学校全体の教職員で「夢にむかう子ども(像)」といったものを描き推進していく手掛かりを示すことが必要。

(大津市)キャリア教育の重要性を考えてはいるが、現在は六年生(卒業生)に対する進路指導がその大部分をしめ、体系的に各学年の学習を積み上げる形とはなっていない。将来に夢を持ち、よりよき市民として生きていこうとする気持ちを持って卒業していく人材を育成するために体系化が必要であり、その教材やコーディネーターの育成も課題である。

(大津市)職員全体のキャリア教育への意識のレベルアップと質の高い実践を行うため。

(大津市)新語を使用した新しい取り組みを推進する場合、現在の「進路指導」とどうちがうのかその目的は何か等を十分に考えてほしい。 いたずらに「カタカナ」語を使用しないこと！正しい日本語を使用して表現してみては？。

(大津市)本校では主に5年での農業体験、6年での本校卒業生を講師に招き、その職業についての話を聞く「ようこそ大先輩」という取り組みをしている。小学校の場合、身近で親しみやすい題材であることが大切であり、そういった意味で学校行事や総合的な学習の時間を関連させて取りくむことが望ましいと考えている。

(大津市)年々学校の分掌事務は多様化してきており、専任教員がいることで、進めやすくなるのではないかと。また、より理解を深めるためにも教師向けガイドブックは必要である。

(大津市)まずは時数の確保がないと取り組むのが困難。

(大津市)まず、児童を「知る」ことからはじまると思います。

(堺市)学力との関連性。

(堺市)学校、家庭、地域の協働が不可欠だから。

(堺市)キャリア教育を学校として体系的しかも実践的に実施していくため。

(堺市)小中連携のもと系統的なプランが必要。

(堺市)何しろ過密な教育内容の中で効果的な指導を実施するための時数の確保、副教材、支援が必要である。

(堺市)人的ネットワークと情熱が肝心だと実感しているからです。

(堺市)キャリア教育等を推進していく上で予算的措置がある。これまでの活動をキャリア教育の視点で見直せばいろいろな活動をしていることに気づく。授業時間の確保、体系化、教員研修がカギとなる。

(堺市)意義・必要性から次の段階へすすむためには、具体的な全体計画が必要であるため。

(堺市)小学校にとってキャリア教育が必要であるか、中・高とちがってノウハウが少ない。

(堺市)やっぺいこうという気持ち(意欲)を職員全体がもっていくために三つの点が不可欠と認識しているから。

(堺市)計画性をもって進めていく必要がある。

(堺市)学校におけるキャリア教育の在り方をはっきりさせることから始めたい。地域の学校という観点より、かかわりの近い者との連携が必要と考える。

(堺市)現在の学校行事だけでも多すぎるので、そこへキャリア教育を組み込む場合、学年ごとのつながりや関連性の整理を行い、全体設計を見直す必要がある。

(堺市)単発になりやすい(活動が)。

(堺市)授業の時数の確保。

(堺市)新教育過程を実践していくために、各教科等の時間数内容ともに再検討する必要があるため。

(堺市)職員、地域、児童すべての意識改革から始めていく必要がある。

(堺市)キャリア教育を始めて今年で4年目になります。初年度、6年担当だった者が、次年度から、キャリア担当と校務分掌で位置付けられ、毎年6年をいっしょにキャリア教育に携わっています。そういう立場の人がいて、引っぱっていかないと、限られた時間数で質の高いキャリア教育を進めるのは難しいと考える。又、今年度より、シート等を改良し、5年生も社会と総合の時間に取り組んでいます。学校の内での一般化にむけ進めています。

(堺市)外部へ依頼すると、授業時数確保がむずかしくなる。内容も児童の実態との関係からぴったりこない場合が多い。よって学校独自に人材確保に努めている。

(堺市)総合的な学習の時間で取組むにしてもゲストティーチャーとの交渉や対応など忙しいので支援が必要。

(堺市)キャリア教育の必要性についての教職員の意識を高めることが第一だと思う。

(堺市)b、本校では小1～中3で一貫した9年間のキャリア教育カリキュラムに基づいて授業を行っている。しかし新学習指導要領で時数が増加したことにより、各学年が十分活動できる時数確保が困難になると思われる。f、本校では2学期に小5・6年と中1合同のキャリア教育を実施している。しかし、2学期は行事も多く、実施時期や行事の精選を一考する時期に来ている。i、本校では特別委員会にキャリア教育プロジェクトを位置付け、主担と各学年キャリア担当で構成している。しかし教員は多忙であり全体を見渡す、まとめる教員が必要である。

(堺市)取り組みが深まれば深まる程多くの時間がかかり他の教科の時数が足りなくなってしまう。

(堺市)(a)(h)残念ながら職員の中にはキャリア教育の必要性等の意識が低い者もいるので全体設計、スタンスの整理等をして、全体的な意識の高揚が必要であると考え。また、指導面でも副教材、ガイドブック等があればより取り組みやすくなると思う。(b)時間数については、H23年度から総合的な学習の時数が減少するのでどの時間にどのように活用するかが課題である。

(堺市)・教育活動を取り入れるためにも教職員への研修は必要だと思います。・カリキュラムを組む上で、授業時数の確保は必要。・教員のみならず、外部の方の出前授業など人的協力が必要だから。

(堺市)まだキャリア教育が十分に進んでいないので計画や支援が必要。

(堺市)学校現場は今、教育といった教科以外の指導まで手がまわらない。人的ゆとりがあればキャリア教育まで行き届く指導ができると思う。

(堺市)人的資源が一番重要と考える。費用対効果の時代。付加価値が問われる時代。教育課程に位置づける以上成果、効果が問われる。貴重な時間を使うので、子どもや保護者のニーズに応えられる内容を指導できる人的資源があることが必要。

(堺市)学校現場での十分なキャリア教育の研修が出来ないため、教師むけのガイドブックがあるとすすめやすい。学校としてキャリア教育の見通しを十分に持つ必要がある。地域の中で育つ子ども達であるので、地域・保護者を含めた授業展開が必要であると考え。

(京都市)上記項目はどれも大切とも思うがキャリア教育と位置付け活発に進めていくにはまずは校内の推進者が必要であると考え。推進者を核に教員のやる気、組織化が進めば、きっと着実な取組ができるものと考え。

(京都市)本校のキャリア教育の基盤は「個の見取り」であり、1人1人の子ども理解なく、いくらプログラムを整備して

も著名人を呼んできても意味がないと考えている。個の見取りによる教師と子どもの信頼関係の上にすべての教育活動が位置づけと考えている。

(京都市)基礎・基本の定着が困難で授業時数の確保がむずかしい。

(京都市)現在、取組がスタートしたばかりで、その内容や指導の方法、期待する具体的な成果等まだ確立されていない部分、見通しの立たない部分が多くある。

(京都市)まだまだ取組みはじめた所で校内での位置付け等を中心に考えていきたい。外にむかってはまだです。

(京都市)人と時間をどうやりくりしていくかが今の学校教育の一番の課題である。

(京都市)・現在の食育を中心とした、重点的な取組において、キャリア教育での培うべき力を明確にし、指導者がそのねらいを明確にして取り組むこと。・学校運営協議会がしっかりと機能しているため、その地域人材を有効に活用していく。

(京都市)教育は人なり。人の確保、能力が何をやるにおいても一番重要だと考える。それにつながるものとして上記3点が重要である。

(京都市)学力向上を言われる中、基礎基本の充実、英語教育と教師は忙しいし、時数もギリギリである。

(京都市)小学校6年間、中学校3年間の9年間を通して「キャリア教育」を柱としたカリキュラムをもっている。そのカリキュラムを推進していくために、それに見合う実践力を持った指導者の確保。また、無理のない授業時間数が確保できることが重要。

(京都市)まず十分に目的が分かっていない。そして、その必要性が理解できると、取組を進めやすい。

(京都市)教科学習を中心に限られた時数の中で多くのことを実践するには無理が生じる。よって、マニュアル化も含め、効率的実践を進めたいから。

(京都市)・学校現場だけで、社会のしくみや経済についてのキャリア教育を実践していくことは、人員不足である。

(京都市)現在、市教委主催で6年は、「スチューデントシティ」で職業体験をしている。しかし、地域の保育所・商店などを視野に入れた職業体験を、今後考えているから。

(京都市)キャリア教育についての認識が、まだまだ教職員全体に浸透していないように感じる。地域の支援、教材の整備を得ながら、全体像を共通理解していきたい。

(京都市)人的、金銭的支援が必要である。

(京都市)・年間の教育課程編成期に入っている。・キャリア教育の観点で見直す必要がある。

(京都市)本市では、新まなびの街生き方探究館があり、現在第5学年の総合的な学習の時間に位置付け、探究館で行う。具体的には、一日体験学習を実施、また、その為の事前学習が約10時間、事後学習が1～2時間あり、20時間程度の取組を各小学校で行っている。この学習を軸として、学校の各学年に応じた学習を対立していく必要がある。キャリア教育の目標の具現化に向けて中学年以降の発達に応じた学習を漸次展開する視点から上記の記号を選択した。

(京都市)・キャリア教育がしっかり位置づいていない。「スチューデントシティ」参加時のPTA参画がさらにほしい。・指導する側の教員の意識向上を図りたい。

(京都市)・限られた時数の中で、キャリア教育を推進する時間をどう位置付けるかが、とても大切であると思う。

(京都市)キャリア教育の企画推進をするところが機能していないので、学校全体の取組が弱い。

(京都市)「総合」等に明確に位置付け、低学年からの積み上げが必要と思う。

(京都市)意図的、継続的にキャリア教育を進めるために欠かせない。

(京都市)まずキャリア教育についての理解、全体像(枠組み)が職員に必要である。

(京都市)学校で作成したキャリア教育のカリキュラムを実施する時に、地域の協力が欠くことができないと考える。また、地域と校内の人的資源をつなぐコーディネーターの存在が必要だと思うので、人的パワーの確保が必要だと思った。

(京都市)現在5年生が体験学習を実施しているが、学校全体としての継続的な取組に高めていかなければならないと考えるため。

(京都市)現在取り組んでいるキャリア教育は、5年という限定された学年で取り組んでいる。しかし、それでは単年度の取組となってしまいますので、人的な財産を残しておかなければならない。

(東出雲市)小学校段階ではキャリア教育はおぼろげながら入っているもののきちんとしたものを得ている状況ではないので、今後、ものづくりの町としてのキャリア教育等推進のためには上記のものがまず重要と思われる。

(東出雲市)各校ばらばらで各々キャリア教育に取り組むのは好ましくない。キャリア教育の全体設計の中に子どもたちが目をかがやかせる活動を組み入れていくことが是非必要だ。

(松山市)小学校では余り意識していないのが実情であるため。

(松山市)全体計画やビジョンの確立と人材確保が重要課題と考えるから。

(松山市)まだ自分たちで主体的に推進していくノウハウをもっていない。

(松山市)小学校段階では、How toのもの、即利用できるものがほしいと思ったから。

(松山市)キャリア教育の時間数をどの領域でカウントするのかという点で不十分であるため。

(松山市)推進の地盤をまずは作りたい。

(松山市)子どもたちが目的意識をもって学習したり生活したりするためには、将来の見直しを持てるようにすることが必要と考えている。それに必要なことが上の をつけた部分かなと考えた。

(松山市)6年間を通した計画的な指導計画が必要と考えたため。

(松山市)小学校でのキャリア教育については、周りの環境や人的環境が大きな意味をもっと考えられるので、その部分を充実させる必要がある。

(松山市)具体的なイメージや方向性が見えないと、指導(学習)しにくい。

(松山市)現在6年生の総合的な学習の時間を使って職場等への体験訪問を実施している。ここに至るまでの系統的な指導のあり方について研究中である。

(熊本市)学校全体としてのキャリア教育推進体制の整備ができていない。

(熊本市)まず職員集団が一つとなってとりくまなければならないし短期のとりくみで成果のあがるものではないから学校としての見通しを明確にした全体計画がなければできない。すでに本校では地域の自然や社会的なものの中によさをみつけ、3~6年で体系化されたカリキュラムがある中で、どのようにキャリア教育とからめ、修正をしていくかを考えないと時間は全くつくれぬ。とにかく、キャリア教育の重要性をもっと教員が自覚し、意欲をもって全教科全領域において同じ方向を向いてとりくまねば成果はあがらないと考える。

(熊本市)キャリア教育に関する資料不足。

(熊本市)具体的な実践方法が分からない。

(熊本市)資料があれば、指導しやすい。

(熊本市)キャリア教育のイメージを、教師がまだ充分につかめていない。授業のイメージを持つために、指導のポイント、指導用のガイドやテキストがあれば取り組みやすくなると思われる。ただしわかりやすいもの。

(天草市)新教育課程に移行するのに、他の教育活動も、指導計画の見直しが必要であるため。

(天草市)現状では余り出来ていないので。

(天草市)現在は、キャリア教育の意義・方向性・具体的取組等について、校内、及び連携機関と一緒にあって、共通理解を行い、組織や計画の基盤づくりを進めていく時期だから。

(天草市)学校生活の中での位置付けや、発達段階に応じた内容の洗い出しから行いたい。

(天草市)学校の多忙化がますます増える一方なので、今ある学校行事と関連性をもたせたり、地域住民の協力が、不可欠と思うから。

(天草市)即授業に生かせることが大事。

(天草市)全体計画や学習プログラムは作成しているがもう少し整理していかなければ、意識化を図るのが難しい。各教科、

領域との関連や人権教育性教育などとの複合的な計画作成をしていくと整理できていくと考えるので、その作成に努めたい。

(浦添市) 夢をもつこと、将来が見えない社会状況であるが、自分自身が幸せに暮らしながら、社会に貢献することを目標に掲げたい。そのためには、全体設計や児童生徒向けのガイドブックを充実させることが必要であり、地域の方々にも啓蒙活動を積極的に行なう等は当然である。

(浦添市) 2年間、職場見学・体験の受け入れ先を確保するのに、とても苦労しているため、キャリア教育の趣旨を理解し、協力いただける職場の確保が最重要課題。(しかし、様々な研修で、“特別なことはしない”とよく言われるので、職場体験を必ずしも行わなくてもいいのか・・・?)

(地域無回答)身近な地域の人とのかかわりの中で、人の生き方に触れ考え、学んでいく機会を大切にしたい。

(札幌市)まずは校内システムの整備、教員の意識改革が大切と思うから。目の前の知識・技能の習得に心うばわれ、必要、重要である。長期的な子どもの育ちについて考えが及ばないのが現状である。

(札幌市)社会的な受け皿が必要。

(札幌市)(b)総合的な学習の時間のコマ数が減る キャリア教育の時間数の見直し(a)地元の商店街の協力が不可欠である。近くにある商店での活動が一番子供にとって、地域の中で自分の位置づけや大人の苦労がよく理解できる(h)例年、資料づくりに苦労している。(何年かの積みあげは、あるが・・・)

(仙台市)担当者が研修で培ってきたことを全体に広めることからスタートしたばかりで、今後、整理し、方向性をもっていきたい。

(仙台市)教科領域指導の中に、キャリア教育をどのように組み込むかを明らかにした上で、教師と児童が実践しやすい環境を整える必要があると感じるから。

(仙台市)本校ではキャリア教育プログラムの導入をH17から行っているが5、6年の実施で、学校全体に広がるどころまでいっていない。校区での連携も少しずつ行っているがなんともいっても、学年や、校内で自由に動ける時間のある人を確保することが難しいため。

(仙台市)キャリア教育という言葉が先行し、「トライアルウィーク」「キャリアスタートウィーク」のように現場へ出での職場体験ばかりがその根本であるかのような受け止められ方が強いように思われる。本来のキャリア教育とは学習活動の中でどのような目的と意義があり、人格形成のために学童期を含めてどのような作用をもたらし、もってそれが地域に対していかなる効果をもたらすものであるのかを具体的に広く知らせる必要があると思われる。また、職業体験にしても地域差があり現場を求めにくい所もある。すべての学校が何が何でも職業体験では地域の方も協力は無理があるのではないかと。

(仙台市)キャリア教育の基本を学べそうなので・・・。

(仙台市)・まだまだ学校のカリキュラムの中の位置づけが明確ではなく、学年の裁量に任せられている状況である。本校の中でのキャリア教育の位置付けを図っていかねばならない。

(仙台市)幼小中の連携。

(東京都世田谷区)・とにかく教育課程の各教科、領域の中で独立した領域として位置づけた上で、全体計画を作成しなければ、キャリア教育が推進できない。と考える。

(東京都杉並区)特に(c)については、単発になりがちで、活動をつなげていくことで、各学年のねらいが明確になると考えます。

(堺市)キャリア教育に取り組むと期間、他の教科の授業時間数をカットしないといけなくなり、大変しんどくなる。

(堺市)地域教育力の活用と連携。

(京都市)a、b、dについてはすでに取り組んでいる。i、j、kについても取り組み始めている。本校は教科の中でのキャリア発達を中心に進めておりg、hは必要ないと考えている。

(京都市)教育計画に位置付け、学校全体を通じて実施する必要がある。

(松山市)小学校の場合、今までの実績・実践がないため、行政のバックアップが必要である。

(松山市)まず、学校現場がよく理解することが必要である。そのためにも資料の充実をいそいなければならないと思う。

(松山市)hについては指導の参考、資料となる。

(天草市)職員で共通理解しながら全体計画や学習プログラムを見直していきたい。

(天草市)小学校でも必要性を感じるが、時数確保がむずかしい。地域人材を活用して話を聞きたいが時数確保がむずかしい。

(天草市)都市部、農山村、漁村において、また、職員や保護者のキャリア教育の認知度の違いによっても、指導に必要な資料が変わるはすで、その指導事例ができるだけたくさんほしい。キャリア教育を推進する際、どうしても中心的指導は総合的な学習や特別活動の時間となる。これらの教科領域で指導すべきと考えられる内容（環境、人権教育、道徳、勤労生産、健康教育、金銭教育等）が多くあり、どれだけの時間が配当できるかが課題。加えて本校のような小規模校においては、分掌が重なり、圧倒的に人材不足。

(天草市)・子どもの心に響くキャリア教育にするためには、その道の達人等人材の選定と確保が必要だと思う。

【 Q12 民間コーディネーターを使って、自校でキャリア教育を推進できない理由 】...(小学校)

- (札幌市)時間的に難しい。
- (札幌市)これ以上教育過程に対する負担を増やすことは、得策ではないと考える。
- (札幌市)先生方の意識がない。授業時数が足りないので無理。
- (札幌市)小学校のカリキュラムには入りにくいと思います。
- (札幌市)専門的な知識を子どもたちに伝えることは、とても意義があることだと思う。
- (札幌市)高学年に限って可能だと考える。
- (札幌市)共通理解を図るのは難しい。
- (札幌市)11のcと同様。
- (仙台市)現状を改善するのが、課題なのでその先のことまで考えが至りません。
- (仙台市)(d)により。
- (仙台市)他の重要な教育活動への比重が大きい。
- (仙台市)小学校教育の中の位置づけが不明。活用法の認識が不十分。
- (仙台市)交通の便がとても悪い地域であり、環境的な制約が大きい。
- (仙台市)まだ、学校側の環境が整っておらず、十分な活用の仕方が分からないのが実状である。
- (仙台市)体制が整える見通しがついていないため。
- (仙台市)報酬や謝礼等の問題がある。現在本校で行っている教育活動の範囲内で行っていききたい。
- (仙台市)カリキュラムに位置づけ、計画して実行していくのは難しい。
- (仙台市)各学年の個別活動かつ教科横断的な構成で、キャリア教育単独のものではないため。
- (東京都北区)現在の教育課程で充実しているため。
- (東京都世田谷区)キャリア教育コーディネーターのなり手がいないから。
- (東京都杉並区)現在でも教育コーディネーターがかかっているため。
- (東京都杉並区)来年度から英語が入るなど新たな準備をする中で、キャリア教育にまで手が回らないのでは。
- (静岡市)学校に時間的な余裕がないため。
- (静岡市)キャリア教育を現在行っていないため。
- (静岡市)教育課程に余裕がない。各教科の標準時数確保と(自校における)課題克服で手一杯。
- (静岡市)学校行事、学年行事が多すぎ、時間的ゆとりがない。
- (静岡市)教育内容を具体的に話し合っていく時間が十分にとれるかわからない。
- (大津市)余裕がない。時間も人も物も足りないのが現場の状況。
- (大津市)学校側に時間や必要な人員の余裕がなく、現実には学校の負担が増える。
- (大津市)民間の考え方が先進性に富み、学校とは違うと感じたことがあった。新しい風を入れてほしいと願う。
- (堺市)他の教育カリキュラムとの調整がむずかしい。
- (堺市)現在は市教委が中心となってNPO法人を紹介していただいて実施しているが、謝礼も市教委から出ている。これを学校独自で行うということになれば、金銭的にも、人的にも難しい。
- (堺市)キャリア教育全体計画立案がまだできていないことと、いわゆる 教育というものが多く、学校教育で扱う分野が多すぎる。
- (堺市)現在、同様なものをしているので。
- (堺市)キャリア教育の意義が十分浸透していない。
- (堺市)コーディネーターの役割を理解していないので。

(京都市)個々のコーディネーターの能力にもよる。

(京都市)「11」の(c)

(京都市)具体的には、今、コーディネーターは本市の教育委員会の「京都まなびの街生き方探究館」の指導主事が行っているように思う。そういう意味からも、今後コーディネーターの活用がキャリア教育の推進を果たすことは、間違いないと考える。

(京都市)キャリア教育を推進する部門の体制づくりがまだまだ不十分である。

(松山市)小規模校であり、学校行事その他年間スケジュールがいっぱいであり難しいから。

(松山市)現状では行事の教科の学習で精一杯であり、授業時間の確保は難しい。

(松山市)キャリア教育を推進していこうという意識が高まっていない。

(熊本市)日々の教育活動プラス人権・食育・総合・交流などさまざまなことがあり余裕がない。保護者との対応、不登校、特別支援など、教師は悲鳴をあげている。

(熊本市)学校の実情と、意見と折り合って下さるならば、とても効果が得られると思う。全く無視の場合は困るかもしれません。

(熊本市)11のcの理由による。

(天草市)他の校務分掌が多く、推進する余裕が少ない。

(浦添市)教科の時数等も増え、移行期間中であり、余裕がなく、形式的にしたくない。安定した状態で取り組むべきものだと考えます。

(札幌市)区役所と連携し、キャリア教育を推進しているので、必要感はあまりない。

(仙台市)教科で外部講師を依頼していることと同じ考え方。

(仙台市)民間の実践の一部を知る機会があったが、職場訪問や事前の打合せなど、現在学校の置かれている地域の実状や人的な余裕といった点で無理があると思われる。

(静岡市)教育課程の中に位置づけて推進することが難しいと思われる。

(松山市)本校校区は、過疎地域であり、児童も少ない。本年度をもって閉校となるため、キャリア教育の推進は難しい。

(熊本市)児童が低学年(1~3年)であること、児童数が20名に満たないことから、どのようなことをするのか、想像できない。

(天草市)まずは、校内研修等での講師として来校いただき、職員に具体事例等を紹介いただき、本校でのキャリア教育の取り組みを共に練り上げていくために活用したい。

【 Q15 今後キャリア教育は、どのように行っていくべきだとお考えですか 】...(小学校)

(札幌市)将来展望として自己成長の夢や希望を与えられるようなキャリア教育を具体化していくべきです。空想や机上論だけでは無理でしょうし、何よりも社会の経済状態の安定が必要条件でしょう。非正規雇用者が多い世の中は異常です。

(札幌市)無理なく楽しみながらできるという形が良いと思う。

(札幌市)小学校段階でも必要である。平成15年度に札幌市立琴似中央小学校で、実践されたキャリア教育が小学校での手本になると思います。

(札幌市)キャリア教育は中学校以降に重点をおくことになるがそれ以前からつながる小学校での学びが必要である。小学校では特に体験的に学ぶこと、その際に人的、施設の保障が望まれます。

(札幌市)中学校では将来の職業など考えさせ、体験させるのはとても良いが。

(札幌市)キャリア教育に関するカリキュラム開発のための支援体制が整っていない。また、キャリア教育実勢による子どもの成長を評価する方法が確立していない。

(札幌市)現在の学校状況を踏え、教師、保護者への意識を高めることが必要。

(札幌市)教職員の共通理解のもと教育課程に組みこみ地元の商店街と連携を強めて、社会への気づき職業感、将来の夢などを醸成したり描いたりできるようにしたい。

(札幌市)・総合に「自分」というカテゴリーを入れ、4年間をかけて、様々な面から自分をみつめられるようにする。

(札幌市)欧州諸国のように「職人」がもっと尊敬され、大切にされるような職業観を国全体で作り出していく必要があるのではないかと。何となく大学を出てサラリーマンになるのが将来に向けての希望ではさびしい感じがする。

(札幌市)・時間が限られている。

(仙台市)中学校と小学校の連携、中学校区での複数小中学校の連携。

(仙台市)・地域社会と連携して実践すること。・体験的な学習活動を重視すること

(仙台市)子供たちに将来の夢を持たせる教育をしていくべきだと考える。

(仙台市)キャリア教育コーディネーターに来ていただき授業をしてもらったが、その良さをできるだけ多くの教員が認識することも必要である。

(仙台市)キャリア教育が「早くめざす職業を決め、それに向けて努力する」ということにならないように、目的や理念をおさえて指導にあたりたい。働くことの意義や自分の責任をはたすこと、協調性や創造性など子どもたちにとってプラスになることを、現在の教育過程の中で(教材指導を通して)行っていきたい。(特に総合、特活、道徳等)

(仙台市)コーディネーターなどをうまく活用し、小学校教育にも生かされればいいと思う。

(仙台市)小学生は身の回りの仕事をしっかりできる子供を育成することが大切であると考え。

(仙台市)国民全体の意識が総合的な「学力向上」から、全人格的教育の必要性への(認識に)シフトしてからでないと、定着させるのはムリであろう。

(仙台市)他教科のようなしっかりした系統性がまだないので、意義やねらいを明確にし、発達段階に合った系統をもたせるとともに、現場ではコーディネートしてく時間が不足しているので、人的協力がほしい。

(仙台市)小学校での位置づけ、中学校での位置づけ、それぞれのねらいを明確にして、系統性をもって指導に当たっていかねば子ども、大人、地域社会の理解は得られないと思う。

(仙台市)キャリア教育を仙台市の方針のように、子どもの「生きる力」を育てる一環としてとらえなければならない。そうでないと単なる体験活動に終る。

(仙台市)各学校段階、各学年段階の目標、活動内容別、支援例などの提供を多くして、教員の意識啓蒙を促進し取り組みやすくしてほしい。(トップダウンで、あれもしろ、これもしろが多過ぎ、対応しきれない現状を考慮して教育行政を計画してほしい)

(仙台市)キャリア教育は児童が社会人となるまでを見通すスパンの長い教育である。この教育を推進していくためにはまず義務教育（中学校区）がひとつになる必要がある。どの小学校も同じ目標に向けて指導に当たり、中学校がこれを受けてさらに生徒を伸ばしていく。各校が設定する全体計画もこうした共通目標をふまえている必要がある。小学校が行うキャリア教育の大部分は学力、社会力を形成する日々の指導、授業改善にあると考える。担任による温度差のない組織的な教育活動の推進が必要である。目新しいイベント的な活動にふりまわせることなく子どもたちの将来を見すえた日々の指導、授業の充実こそキャリア教育の本質があるのではないか。

(仙台市)今、行っている事を生かして、新に加えるべきものを加えていく姿勢で取り組む。

(仙台市)カリキュラムの位置づけ。子どもの一時的な体験でおわるのではなく自分自身を見つめ直すきっかけになるようにしたい。

(仙台市)学んだことは生かされる社会体制づくり。何歳になっても就労できるしくみづくり。

(仙台市)・キャリア教育（仙台市では自分づくり教育）の全体計画の下に小学校段階、あるいは学年段階でどんな力を身に付けさせたいか、重点をしぼって取り組んでいく必要がある。・望ましい勤労感など心の耕しも忘れず行う。（道徳教育との連携も含めて）

(仙台市)学校だけで行っていくのは難しい。キャリア教育コーディネーター、キャリアアドバイザーの方々、地域の方々など、地域や様々な機関との連携を深め、協力していく必要があると考える。

(仙台市)文科省との連携をもっと密にとっていただきたい。「キャリア教育は経産省の仕事」で教育現場は文科省の領域だからこれはよけいな仕事であるという考えが今だにある。でなければ、この仕事そのものを文科省のあつかいにしてほしい。

(仙台市)教科指導の時数確保の上で、どのような内容を指導していくのか詳細な計画を立てる必要がある。経済産業省と文部科学省が連携した上で進めていく。

(仙台市)・学校側のニーズに合った（取り組み易い）提案ができること。・ある程度パターン化して、教師側が理解し、授業へ取り入れられると思わせる教材を作ること。

(仙台市)教科・領域等の既存の指導内容をどのように生かし目標に向けて体系化していくかが課題である。

(仙台市)教員が授業内で教科指導と同じように行っていくとよいと思います。コーディネーターや外部講師をゲストとしてお招きして、生徒にとってよい刺激になればとよいと思います。

(仙台市)教師の考えはやっぱ甘いと思う。民間が主導権をとって、どんどん推進すべきではないか？。

(仙台市)・働くことの意義を感得し、自分が学びたいという思いを強くすることを目指す。学ぶ意欲との関連付けが大切と考える。

(仙台市)これまでの教育活動と、新教育過程への移行の中で「自分づくり教育」のねらいの意味を含ませながら、必要な力を育てていく。

(仙台市)学校全体が独自に考えていく部分と周辺の学校と連携していく部分、そして市町村及び国の施策として現場の状況を把握した具体的な道すじの提示等が総合的に進められていくべきと考える。

(仙台市)小学校段階としては、人とかかわり、地域とかかわりから始めていくことが大切と考える。その上で高学年から将来の夢や希望がもてるような取組みをしていきたいと考える。

(仙台市)生活科、社会科、総合的な学習等の内容を確認・検討しながら各児童自身が「地域や人々の暮らし、職業調べ」の学習活動、調査見学活動、体験活動を通して「自分は何をしたいのか、何ができるのか、何を目標にしていくのか」と段階的に学習していくプログラムを組みたいものと考えている。

(仙台市)小学校の段階としては社会生活の体験を多くし、その中で人間関係の形成や情報活用能力を育成していく方向がよいかと考えています。また、学習活動の中で自己決定の能力を養っていくことも大切と思います。

(仙台市)学習と仕事を結ぶ大切な部分で希望や夢を持って学習に取り組むことができるようなプログラムを作成していけ

たらと思います。

(仙台市)小中連携を大切に、地域みんながかかわっていけるような体制が必要と考える。

(仙台市)教科指導の時数確保がままならない現状と、学力向上の責務を考え、まずは無理のない計画と無理のない時期・時数で取り組むべきだと考える。

(仙台市)仙台では「自分づくり教育」という形で、キャリア教育を推進しているが小学校では、キャリアというより自分と社会との関わりの実感を高めるような方向で子供たちの体験をふやしていけるようにしていった方が中学校、高校での活動に生かしていけるのではないかと考えている。

(東京都北区)キャリア=職業とだけでなく、社会の中で役割を果たしていくことで広くとらえていきたい。

(東京都北区)学校の教育活動との(教科、生活指導等)関連を十分に考慮しながらそれに支障のない範囲で積極的に取り組む必要がある。特に将来の自分たちの夢、なりたい仕事、大人になった時のライフスタイル等に希望がもて、それを実現するために今、どんな勉強をしなければならないのかを考えることが有益である。

(東京都世田谷区)キャリア教育は今度最も重要になる。キャリアを積む機会とコーディネーターを増やす(各校)ことが大切。

(東京都世田谷区)何のために働くという目的観を大人がもつことを意識させることが何よりと思っている。そのためには、現場以外の意識の高まりが子どもへとよりよい影響が与えられると考えている。そのような社会の流れによって現場ではより充実した教育活動ができやすくなると思う(なかなか限られた時数の中ではキャリア教育は難しい)

(東京都杉並区)教科・領域における時数確保と同様にキャリア教育に要する時数の確保なくしては実践できない考える。

(東京都杉並区)まず生徒指導や教科・領域の指導との関連や位置づけを明確にして、児童の社会的自立や勤労観を育成する教育過程を作成すべきである。

(東京都杉並区)時数がたりない中、これ以上増やして学校が主となり教育していくのはむずかしいと感じる。

(東京都杉並区)子どもたちに自分の夢を持てる、明るく、感動のある活動を続けていきたい。

(東京都杉並区)学校の必要に応じて、必要な人材が学校に提供させること。本校では「12歳のハローワーク」として6年生に卒業生、CS委員、地域人材を活用し、自分の職業についてのポスターセッションを実施している。

(東京都杉並区)小学校の場合は「キャリア教育」とか「進路指導」というようなことではなく「この人の生き方に学ぶ」というようなテーマで道徳や学級活動、総合的な学習の時間などで学ばせればよいと思う。「職業」というより、多くの社会人の「生き方」を学ばせたい。ゲストティーチャーの話を聞き、それぞれの方の仕事に対する姿勢を知り、感動している子が多い。仕事への情熱や「誇り」を感じとってくれたようである。

(東京都杉並区)キャリア教育はこれから必要であり、本校では毎年6年生がPTA主催で社会人から話を聞く場を設定している。ただ6年間を通してとなると、生活科や社会科の中で行う程度しか考えられない。

(静岡市)キャリア教育はすごく大切であると思う。しかし、学校内では様々な教育がある。まずは、小学校は基礎基本が最も大切ではないだろうか、まだ学校内における行事等大切となるものは数多くある。

(静岡市)全ての教育活動の中で行なわれること(とり出して行うのではなく)

(静岡市)職員の意識を高め、必要感を持たせることが、まず、第一の課題だと思う。そして積極的に地域や外部団体の協力を求めることも必要だと思う。

(静岡市)日常生活の中で、自分の役割を果たし、喜びを感じられるようにする。勉強以外の部分での強みをつくる。

(静岡市)子どもたちに働く楽しさや喜び、必要性を実感させると共に社会の厳しさ、そこで生きていく難しさを発達段階に応じて、学んでほしいと思う。しかし、現実の学校現場はそれに対応する余裕がない。キャリア教育がどうしても必要であるなら、それをコーディネート・実施する人間が担任以外で(しかも他の仕事を持っていない)いなければ不可能であるように思う。キャリア教育のコーディネートには時間も手間もかかる。本気でやるなら、行政側にもそれなりの支援が必要である。

(静岡市)各経において、地域・民間と連携しながら「出会い」を大切に、関わりをもつことが基本。総合的な学習、社会科学、国語科、理科等でのゲストティーチャーからの生き様を見とることが学習となる。

(静岡市)学ぶことの大切さを知るキャリア教育にしていきたい。生涯学習推進のためのキャリア教育。働くということはたいへんなこと。その前にしっかり勉強しておかなければならない。単に働いて楽しいなどの体験に終わらせてはならない。

(静岡市)学校では他の活動があるので、それらの活動を考え、さらに学校の目指す子供像とも関わらせて的確な内容を計画していきたい。

(静岡市)特別な授業と考えず、ふだんの各教科総合学習の中に、必要な内容を取り入れていくべきものだと思います。

(静岡市)特別なことではなく、社会人として自立して行くためには大切な学びだという共通理解がなされていくような実践。

(静岡市)子供のコミュニケーション能力の育成と将来、自分が社会のために何ができるかという夢を広げるために、新鮮な気持ちで取り組んでいきたいと考えます。

(静岡市)学ぶ意欲の低下の中、具体的な目標を持つためにも実際に体験させることが一番の早道であると思われる。

(静岡市)支えられた経験が支えようとする態度を育むと考えます。就労の態度はそれまでにどれだけ温かく支えられ育てられたかが大きくかかわっているように思います。「温かく支えられていることがわかる子」を育てたいものだと思います。

(静岡市)教育活動全体を通して、それぞれのねらいの中でキャリア教育の意図を意識しながら行っていく。

(静岡市)現場にむりのない範囲で行ってきたい。

(静岡市)授業での学習と実社会とが結びつくようゲストティーチャー等を活用しながら実践していく。

(静岡市)中学校において総合の時間を全くキャリアにすることは必ずしも良いとは思えないので十分な検討が必要と考える。中学でのキャリア教育に小学校の教育がひっぱられてしまうからである。

(静岡市)キャリア教育は必要だと思う。ただ、学校現場では様々な分野の機関から要望をつきつけられ、手一杯の状況である。このキャリア教育についても国としてどう進めていくのか統一されていないのではないのか。例えば経済産業省と文部科学省とでも刷り合わせは十分にできているのでしょうか。まず、最初に現場の状況を把握し、ねらいを明確にした上で実現できることを探っていくことかと思う。

(大津市)意義はよく分かる。まずは条件整備(人、物、時間)をしていただきたい。

(大津市)必要と思いますが、現場には予算も時間も不足しています。英会話など教育内容も時数も増えます。全く、余裕がないのが現状であり、悩みです。本日、休日でも職員室で仕事をする複数の教師がいます。

(大津市)基礎基本となる学力をつけること 子どもに明日にむかっの指針となるようなものをもたせるためにさまざまな手立てを学校で仕組んでいくこと。例、その道のプロからの話を聞く。体験。家族からの聞きとり。教員からの語り。何より実際毎日接する担任の仕事ぶり人間性などが子どもたちに与える印象ははてしなく強い。教員の修養も大切である。

(大津市)子どもたちひとりひとりが将来に夢をもち、楽しく学び、働くことは生きることだという思いが持てるようなキャリア教育。人との関係は(人間関係力)を育てるキャリア教育。

(大津市)子どもが夢や希望をもち、生きる目標、学ぶ上での目標をもつことから、今後ますます重要になってくると考えられ、学校、地域、企業等や行政の緊密な連携が求められると思います。

(大津市)1年生、2年生(お店たんけん)の生活科の学習、3年生4年生(地域学習)、5年生6年生(職業への興味づけ)の社会科での学習。3、4、5、6年の総合的な学習の各教科・領域等で行っているキャリア教育を横断的及び体系的につないでよりよき市民の育成をめざす教育を推進していきたい。来たるべき超高齢化社会を日本がしなやかに発展していくためにはこどもたちへのキャリア教育の一層の推進を行うと共に「共生の心」を育てていきたいと考えている。

(大津市)前述したが「カタカナ」後を整理すること。「キャリア教育」が目的としている内容については十分にその重要性も理解できるが、予算をつけたからやれる的な発想でその推進を学校に求めるのではなく、直接経済産業省が各家庭、子ども

の保護者に働きかける努力をすること。全てを学校に求める姿勢は貴社の考える教育支援の姿なのか「キャリア教育をサポート」と名をかけた教育活動への障害のようにも感じる。

(大津市)必要と思われる様々な教育の考え方が種々、現場に入ってきている。どれも必要であろうが限られた人的資源、タイム&スペースのこともあり、現場では重点化することが求められる。時、奇しくも新教育過程への移行期にあたり、いかに現場に余裕と活力を持つことができるかに関わってくる。時数増も含め、それぞれの校園における課題追求に力を入れたい。広く浅くから重点化懇篤化に努めたい。

(大津市)総合的な学習の時間を関連させて、キャリア教育として取り組むことで実際の体験を通して職業について考えることができる。また、ふだんの生活の中に「自分の良さへの気づき」「人に役立っている自分」ということに気づかせること、このつみ重ねがキャリア教育の土台となると考える。

(大津市)専任教員＋コーディネーターの連携が大事。保護者への啓発は不可欠である。

(堺市)小学校では地域に色々な会社や商店があり、そこでおじさんおばさんが仕事をしていることを知ること。そして、それが自分にかかわることに気づくこと。などが大切と考えます。

(堺市)初等教育段階から取り組める不偏のカリキュラムを文科省から提示することが必要。

(堺市)特に上記(h)教育過程の位置づけの明確化と指導時数の確保や各教科の関連、及び(i)キャリア教育推進のための予算の確保が重要課題であると考えます。特に後者が大きな問題である。現在は市教委の予算で年間10回(10人)(各学年2~3回(人))の職業講話が実施できているが、それがなくなると学校独自では何もできなくなる。

(堺市)単なる職業教育にとどまることなく、人間としての生き方を考える方向にすすむべきだと思います。

(堺市)小中高と連携と積み上げを、行っていくことが重要(キャリア教育でのデータ(評価等)を、上の学年に引き継いでいくなど)。

(堺市)必要なものであり、推進していかなければならない。

(堺市)私自身が学習しなければならない。

(堺市)継続的にコーディネーターを学校に派遣できるだけの予算を確保してほしい。

(堺市)大人、保護者がすべきものが公教育機関にもとめられ「しなければいけない」というものが増えすぎている。社会教育機関を充実することも考えなければいけない。

(堺市)教育過程上に明確に位置づけ、全教職員の共通理解を図りつつ行っていくべきである。

(堺市)新指導要領になり総合の時間が減り、教科学習の内容も増え、目がそちらに向きがちですが、もっと問題意識を持ち、人間としての生きる力をもった子どもに育てるためには、社会の出来事やもっと広い世界に視点をむけてあげるのが大切と考えます。キャリア教育に取り組み、論理的思考のできる子どもの育成には、又、様々な知識や情報を自らが見つけてくるこの教育にたいへん魅力を感じています。これが基盤となって教科学習にも変化が出てくると思います、又、効果測定の結果も出ています。そのために、数校がおこなっているのではなく、もっと多くの学校で取り組めるよう、コーディネーターを学校に入れるよう国の動きが必要です。

(堺市)先ず、教職員にキャリア教育の必要性を自覚させることが一番であると考えます。

(堺市)・本校では低(小1~4)中(小5・6、中1)高(中2・3)学年による4・3・2制をとっている。実践から小中の系統立てたカリキュラムによるキャリア教育が大切だと考えている。・キャリアプログラムの内容として児童・生徒の単なる興味・関心に基づくものではなく、思考力・表現力等が内包されたプログラムが重要と考えている。・地域・保護者のキャリア教育に対する理解度は低い。よって行政として広く一派に広報することが重要である。・新学習指導要領の説明会で、キャリア教育はあまり表に出ていないように思われる。「生きる力」の育成から学びに対する意欲の向上や目標に向って努力する態度の形成に効果が認められているをもっと打ち出す必要がある。

(堺市)総合的な学習の時間の取り組みとして、充実させる。

(堺市)・どの子も学校での活動を終えると企業人になるわけですから、その企業人としてどのように社会貢献できるかと

ても大切だと思います。・社会で働く人たちを間近で見せ、話を聞くことは教育に必要だと思います。

(堺市)大学入試制度を変えていく。いい大学を出て高収入を得ることが幸福だと思う認識を変えていくべきだと思う。日本社会の金権主義を是正し、心豊かな格差のない社会実現をめざすことが大切である。社会構造を変えることである。

(堺市)現在、小中9ヵ年の義務教育制度の中で、児童生徒の健やかな成長(確かな学力、健やかな体、豊かな心)のための生きる力の育成が図られているが、学習指導要領に定められた事項の各学年段階の確かな定着が優先的になされなければならない、いわば余裕ある授業時数がないといえよう。従って放課後、休日等で学校施設開放事業として(公教育の規制緩和?)十分なヒト、モノ、カネを条件にキャリア教育を推進する起業化が学校・家庭・地域の協働によってなれるようになれば実のあるものになるだろう。自己責任論の打破。

(堺市)小・中・高と一貫したキャリア教育の実現が大切である。

(京都市)ドイツでは学制が10才で進路選択することになっているようだが、私は早い時期に将来展望をせざる得ない状況があってもよいと思っているくらいである。目的をもつことによって学習の意欲もわくだけでなく生きる意味もわかってくると思う。方法論は不明確だが教育過程上の位置づけがぜひとも必要だと思う。

(京都市)キャリア教育というとい職業教育、体験的なことが位置づけられてしまうことが多い。学習におけるキャリア教育(特に小学校)では、日常の生き方に目を向ける人間づくり的な大きなものであるということをも共通理解しそれがあたり前になった上で推進していきたい。

(京都市)キャリア教育の目指すもの、具体的な成果についてまだ、自身が理解できていない面がある。キャリア教育は児童・生徒の将来の就業にとって本当に望ましい成果があるのか疑問がある。

(京都市)あくまでも基礎学力の定着を図るのが義務教育のねらいである。その中でキャリア教育の位置付けを明確にできるかがカギだと思う。

(京都市)回答しながら、このアンケートは本当にベネッセ社様のものか不思議だった。いつもより、答えにくかった。

(京都市)学校教員が中心となって実践するには限界がある。よって、コーディネータや各施設との連携はもとより、行政の予算的、人的バックアップを十分に保障されることを切に願っている。

(京都市)キャリア教育の内容は、そもそも親が子どもに見せている姿から、子どもが自然と学んでいき、知識を深め社会に出ていくことの意欲につながっていくものだと思っている。だから、親が子どもの前でいきいきと働いたり、社会と関わっている姿を見せられる社会にすることが、1番のキャリア教育であると考えます。

(京都市)現実のところ、現場は毎日忙しく過ごしている。教科指導の充実、補習、放課後まなび教室、休日の行事等次々におしよせる。そんな中で新しいことと思われるものになかなか力を入れにくい。京都市の場合は、5年で学生トシティで職業体験を行っているので効果的である。本校は「生きる力」の誠という柱の中でキャリア教育を位置付けている。

(京都市)地域理解に終わらずに、生きた力として身につくものを目指すべき。地域(地元)に根ざした活動を大事にしていきたい。

(京都市)政官財教が連携すること。今の子どもたちが、将来いや10~15年後には、日本の国の政、経、対外を担っていく。その為にも今、キャリア教育を推進しつつ、確かな学力をしっかりと身に付けていかなければ、国の発展はあり得ない。ニートやフリーターが現存する中で、国力が増すとは思えない。全ての基本は、教育の充実からだと思う。

(京都市)・発達段階に応じた内容を工夫していくべきだ。・地域学習の流れにのった形でとり入れられればと思う。

(京都市)京都市で行っている学生トシティの取組を中心にしながら地域との連携を図りキャリア教育を進めていきたい。

(京都市)・「働く」という要求が生まれる様に。

(京都市)望ましい勤労観、勤労意欲を育てるためのカリキュラムの開発、実践、事例の発表、学校教育にかかわる人材確保のための公的、資金助成。

(京都市)社会や経済の不確定要素が増大する中、学校で「職業観」を育てることは重要だと思う。高校、中学などでは子どもの進路に関わる直接的課題があるが、小学校からの系統的取組が必要だと思う。そういった意味で小学校でのキャリア育成のカリキュラムを充実していくことが大切だと考えている。

(京都市)・カリキュラムが確かなものになり、確かに根づくように実施していく。

(東出雲市)子ども達のできるだけ身近なところから、生活の中から事例や活動を求めて地道に積みあげをしていきながら、生き方指導のようなものを効果的に入れて、子ども達の人生への学びを深めさせていきたい。

(東出雲市)自分の夢を語る懇談会、自分の未来図を描く体験活動、自分の小学生時代(講演) 弁論大会、等々体験を伴う企画を発達段階に即して展開したい。

(松山市)小・中・高が一貫した、しかも連携した計画やカリキュラムの充実が必要である。

(松山市)小学校段階でどのように推進していけばよいのか、という研修会を実施していただきたい。

(松山市)キャリア教育の必要性は理解できるが、今の日本は高卒大卒者の就職が氷河期に入りつつある。このような中で、若者に将来の夢の実現やキャリア教育の成果は望めない。少子化にもかかわらず、就職もできない今の日本の構造を変革していくことが先決ではないか。

(松山市)ニート・フリーターの問題や社会人となって就労した人が最初に勤めた会社を退職するなどの問題に対して、国が主導してより具体的な対策を構築しないと、将来の日本が心配である。

(松山市)キャリア教育の重要性は認識しているので、教職員の意識を高めて、計画的に指導できるようにしたい。

(松山市)具体的なことも大切だが、子どもたちが将来に夢や希望をもてるような活動が必要であると考えます。

(松山市)発達段階に応じ、あこがれや親しみから始まり、理解、実践をし、自分を知っていくようなプロセスをふませたい。体験が、次へどうつながっていくかをきちんと見ていく必要があり、その方法も学ぶ必要があると感じている。

(松山市)正しい職業観や自らの将来や夢などを考えるために、小学生の発達段階に応じたキャリア教育の重要性は認めているが、実践化に至っていない。

(松山市)・小学校高学年から中学、高校と、縦の系統性を明確にしながら計画的に実施するとういと思っています。

(松山市)・年間指導計画への位置づけ。・外部講師による職業体験活動の実施。

(松山市)その必要性を検討し、教育課程上に位置づけた上でよりよい方向性を具体的にさぐる。

(松山市)指導時数の確保のため、これ以上ゆとりのある時数がない。総合的な学習の時間も減らされたので、新たに取り入れるのは今の現場では、むずかしい。

(松山市)社会、道徳、総合的な学習の時間、特別活動などの教育活動の中で個々にねらいを定めて、重点的な指導を発達段階に応じて体系付けるとともに、教科横断的なつながりを各学年内に関連づけた指導が必要。

(熊本市)幼・小・中・高のそれぞれの段階でのキャリア教育の取組の方向を明確に示す必要がある。

(熊本市)単なる進路指導ではなく、義務教育9年、あるいは高校までの12年が終わるまでに、子どもたちが自分の特性を理解しよさを生かして夢を実現していくために努力できるように育てたい。なりたいたけでなくそのための努力をおしませ、失敗しても自分で解決して再び挑戦できる力をつけたい。もちろん、基礎学力も必要であり、集団の中で人とやりとりできるコミュニケーション能力も表現力も、相手を思いやる人権感覚も必要だ。これらを小1の頃から少しずつ目標のレベルをあげて育てていくようなカリキュラムを教師自身が作ろうという情熱をもちたい。そのための力もまだ不足している。教師の資質の向上もまた大きな課題と言える。具体的には質の高い体験活動を中心にカリキュラムを構成し実態にあわせて修正して実施するのがよいのではないだろうか。

(熊本市)この教育は必要と考えるが、学校の現実を知ってもらったら、その教育以前に、やらなくてはならない課題があまりに多すぎる。教育の基盤ができてから、必要な教育と考える。

(熊本市)小学校でのキャリア教育は、無理だと思う。小学校では、基礎基本を徹底し、学力、躰を確実に行う時期であると考えます。教育、教育がどんどん増え、どれも中途半端な状態が現状である。キャリア教育は、中学校からで充

分であると考える。

(熊本市)学校での学習が自分の夢の実現につながるものだと、子どもたちに実感させることができるような内容にしていきたい。また、子どもたち1人1人が自分には、世の中をよりよく変えていく力がある、と認識することができ、主体的に行動しようとする意欲を持たせる授業活動を設定できればと考えている。

(熊本市)優先順位から言えば、もっとすべきことが多く、手がまわらないので、学級現場の支援になることに着目すべきではないか。

(天草市)体験的な活動をする時間の確保。

(天草市)キャリア教育に対する教職員の意識深化。

(天草市)・キャリア教育のための新たな事業の設置やそのための時間数創設は、現状からは難しいので、現在行われている教育活動を、キャリア教育の手法、切り口として、見直し、再編していくことが、より実効的であると思う。

(天草市)まずは、子どもの発達段階に応じた内容を学校・家庭で、できることから小学校は行いたい(あいさつ、そうじ等基本的な生活態度)

(天草市)学校は、キャリア教育をはじめとする何とか教育があまりにも多過ぎると思う。そのため、担当者もどういう計画で推し進めていけばいいか、よく分からないのが現状である。そして、キャリア教育を実のあるものにするためにも、もう少し学校現場にゆとりの時間を作ってほしい。

(天草市)小・中学校の連携を図り、6年間を見通した学習プログラムの作成と職員の共通理解の下での意識化と実践化が必要。

(天草市)・自己の夢の実現と他への貢献という2つの視点を常に意識したものでなければならないと思う。

(天草市)キャリア教育の計画、学習プログラムなどはでき上がっているので指導者がキャリア教育の視点を持って指導することがまずは、第一歩であると考えます。

(浦添市) 教育課程上に位置づけ、指導時数を確保することと指導内容の充実を図ることが重要。コーディネーターも、多忙な学校現場からの連絡を待つのではなく、積極的に学校に足を運んでもらいたい。

(浦添市)保護者の意識の向上を図り、キャリア教育の原点は、家庭にあることを認識させ、親子で考えさせることが大切である。そのための方策や啓蒙活動を実践することが必要だと考える。

(浦添市)特別なことは極力せず、ふだんの授業や道徳に関する指導をしっかりと行っていく。マナー、しつけ、あいさつ、うけ答え、敬語、働く姿勢(そうじ指導)etc、そういうことが一番キャリア教育の柱となっていると考えているため。職場体験も今後検討していきたい。本当に必要なのか、親の願いはどうか、など。

(札幌市)地域のボランティア、行政、学校側の連携をさらに深めていく。評価と支援について教師側の意識やノウハウをさらに深めていく必要がある。

(仙台市)地域、民間、学校が連携して資源開発、プログラム開発をし、それらを生かして教師が実践していくべきであると考える。

(仙台市)・学校の中での系統的な流れを持った指導体制が整うこと・民間コーディネーターが現場をよく知ってもらい教員もうまく活用する関係を築いていくよう世の中の流れが変わっていくこと。

(仙台市)・学校の教育活動が生きた学習となるためにもキャリア教育が必要だと思う。キャリア教育の目標や有効性が他の教員にも理解が図られるべきだと思う。また、そうでなくても教育現場は忙しいので、キャリア教育を推進させるための担当教諭の負担軽減と、気軽に取り組める実践作りが必要だと感じる。

(仙台市)・キャリア教育は、小学校において仙台市の「自分作り教育」とどう関わってくるか。カリキュラムの自行校化を考えながら、新しい単元を作り出す必要がある。

(東京都世田谷区)第一には、週1時間でもよいのでキャリア教育としての時数を特に小学5・6年生の授業時数として位置づけること。二つ目は、キャリア教育コーディネーターとしての人的配置を進めること。この2点をしっかりおさえな

いと合科的（ある教科の中で教えていくという内容）に指導するのでは実効性に乏しいと考える。

(東京都杉並区)・小学校ではさまざまな活動をキャリア教育の視点で見えていくことで、ねらいは達成されていくと考えます。

(堺市)キャリア教育を通して、子ども達につけたい力をつけ、自分に自信をつけて、将来に役立てたい。

(松山市)これからの日本を背負っていく若者が、職業について本気で考える機会を得るということは、これから非常に重要になっていくと思われる。学校は、児童・生徒に本当になりたい職業というものを見つけさせるために、より多くの職業の紹介ができる機会を与え、自分の人生というものをしっかり考えさせなければならない。

(松山市)将来の夢について考える場を早期にもたせ、目標をもって生活することは大切である。だから1年に1回はそういう時間をもつべき。

(天草市)キャリア教育に関する研修を充実させることでキャリア教育に対する意識を高めることから始めたい。

(天草市)キャリア教育の必要性は、強く感じているが、全体計画、指導計画等は出来たが、時数の確保がうまくいかない。中学校と連携し、集団で具体的な取組ができるようにしたい。

(天草市)子どもの指導でまず取り組むべきは、保護者の仕事に対する理解を図ることが先決と考えている。それから発展して、地域の自然、文化、産業の特色や保護者を含め、それらに関わる人々の働く様子や無い様について理解を図れるようにしたい。その際、どの職業にも軽重はなく尊く、人の役に立っていることの理解につながるように留意する。ゲストティーチャーの来校の際には、働くことの責任や楽しさ、つらさのあることを意識して語っていただくことや、方々の仕事に対する価値観をもお伝え願うことを依頼したい。

(天草市)子どもが将来の夢を持たせ、実現に向けての方向性を学ぶなど、今後ますます重要になっていくと思う。

キャリア教育調査 自由記述...(中学校)

【 Q2 貴校の教育活動の中で、特に力を入れていること 】...(中学校)

(札幌市)1.基礎学力の定着を目的とした、モジュール学習。2.情報モラル教育の推進。3.ボランティア活動。

(札幌市)・リーダー(生徒会、学年協)の育成・行事への積極的なとりくみ。

(札幌市)明るい挨拶の励行、歌声の響く美しい学校づくり。

(札幌市)基礎、基本の定着。

(札幌市)・学習のための生活環境の整備及び学力の定着。

(札幌市)・「総合的な学習」のスキル習得学習(読み取り、分析、要旨のまとめ、感想や考え、主張等の表現)として平日朝10分間のショートセミナーを行っている。・全教職員が必ず部活動の顧問となり、(サブ含めて)部活動に関わっている。

(札幌市)あたりまえですが、学習指導と部活動指導。

(札幌市)仲間や社会の人々とのかかわりから、社会における課題について考え、判断していく学習活動を通して、課題の解決に向けて、社会に主体的にかかわろうとする態度や、情報を収集・分析して表現する力、自己の理想の姿について考える力を身に付けること。

(札幌市)常に生徒を見守る予防的生徒指導。

(札幌市)・基礎的・基本的な知識や技能の定着。・合唱指導。

(札幌市)・旅行的行事においてまとめ学習を行い、その後発表させる形をとっている。

(札幌市)・朝読書・総合的な学習の時間・合唱コンクール・学校寮。

(札幌市)表現活動特に学校祭や合唱などの行事、道徳、総合的な学習など、日常活動にも情報を発信したり、表現することを大切にしています。

(札幌市)日常の授業を充実させること。

(札幌市)・部活動・道徳教育の実施・合唱コンクール。

(札幌市)キャリア教育・芸術鑑賞などの情操教育。

(札幌市)総合の学習で、早くから職場体験活動を行っている。

(札幌市)あいさつ。朝の読書。

(札幌市)・基礎的・基本的知識・技能の確実な定着・時と守り、場を清潔に、挨拶をかわす。

(札幌市)地域の方々との交流として、学校際や子育て支援センターと協力して運営している。

(札幌市)・T.T.を多く取り入れ、落ち着いた学習環境づくりを心がけている。

(仙台市)心理的開放や情緒の安定を図るための教育課程や放課後活動の実施。リクレーションや制作等の活動。(本校は病院内の分校です)。

(仙台市)キャリア教育。基礎学力向上のためのプログラム。

(仙台市)道徳教育。少人数指導。

(仙台市)比較的素直だが、たくましさに欠けるので、教育活動の中で、ねばり強く取り組めるよう工夫して指導し、体験的な学習を重視している。また、情操教育(音楽活動等)にも力を入れている。

(仙台市)福祉体験学習、職場訪問、第1次産業体験、企業、官公庁訪問を学年の柱として取り組んでいる。また、基礎学力向上にむけて全学年で総合的な学習の時間を利用して取り組んでいる。

(仙台市)3年間を見通した、キャリア教育。17年度にキャリア教育に取り組み、今年で4年目の5日間の職場体験活動

を2年生でやっているが、3年間を見通してどんな力をつけていかなければならないかを総合的に考える指導。

(仙台市)・家庭や地域社会との連携。

(仙台市)『生き方学習』1年、SYD青年部による「幸せの種まきキャンペーン」地球のステージ。2年、校外体験学習（農業体験学習を含む）職場体験。3年、首都圏での職場体験学習。

(仙台市)学力向上。朝勉強、土曜寺子屋（希望者を募り、学生ボランティア・保護者が講師として学習をサポート）。出前授業（高校の先生に来てもらったの3年対象の授業）。地域連携。地域防災訓練。

(仙台市)特別支援学校との交流活動。

(仙台市)・地域と連携した教育活動の展開。朝会や集会、各教科や総合的な学習の時間等に地域の方を招き、指導を仰いだし交流したりする機会を多くもっている。・学習意欲の向上と基礎・基本の定着。指導法の工夫・改善のため、校内研修の充実を図っている。

(仙台市)あまり特にはないですがボランティア活動でしょう。長期休業中に施設訪問、生物調査協力をしています。

(仙台市)学力向上。福祉活動の理解と実施。合唱教育。

(仙台市)・学力向上のため、授業時数の確保・温もりある生徒指導の推進。

(仙台市)全部に力を入れている。

(仙台市)ピア・サポート。校外学習や、道徳、学活の場で実施している。

(仙台市)自分づくり教育（キャリア教育）における「かかわる力」の育成に重点を置いている。

(仙台市)学校行事を通じての地域との連携。円滑な人間関係を築くための学級集団づくり。

(仙台市)地域との交流（保育・幼稚園・小学校・老人クラブ等）

(仙台市)・地域との協力、連携・かかわる力の育成・基礎学力の定着。

(東京都北区)英語・宗教教育・生活指導の三本柱を軸としており、特に英語教育に力を入れている。

(東京都北区)学力の充実。

(東京都北区)・基礎、基本の定着 - 実力アップ土曜教室。・朝清掃・オアシス運動。

(東京都北区)スポーツと文化に力を入れている。

(東京都北区)・授業規律の確立・体育祭、文化祭における生徒の活動。

(東京都北区)生徒の言語力を高める。

(東京都北区)・ノーチャイム制で生徒の自主性の育成を図っている・生徒会を中心とした、ボランティア活動の実施。

(東京都世田谷区) 生徒それぞれの将来計画を実現する上で必要とされる高度な学力の養成。 組織のリーダーとして必要とされる人格・能力・体力等の形成。 に関しては本校独自のきめ細やかな学習プログラムの実施。 に関しては部活・生徒会活動・学校行事への積極的な取り組みを奨励。

(東京都世田谷区)武道教育を通して、将来「ひとりの人」として十分に通用する礼儀作法や倫理観・道徳感。

(東京都世田谷区)・俳句学習・体験活動・授業規律の指導・部活動の充実。

(東京都世田谷区)・学校行事（体育祭、学芸発表会、3年生を送る会）といった行事を通し、生徒集団の一体感を育てること。

(東京都世田谷区)・福祉事業所等への体験学習（1年）・職業講話。

(東京都世田谷区)会育。

(東京都世田谷区)・成績下位層の支援と上位層をさらに伸ばす。・日頃の授業の充実。

(東京都世田谷区)ボランティア活動。

(東京都杉並区) 「学力の向上」 「健全育成」 体力向上。

(東京都杉並区)授業の充実。

(東京都杉並区) 朝読書活動のまとめとして、2月に生徒全員がそれぞれ読書新聞づくり、へ（評価対象） 45分授業

の7校時設定(週3コマ授業) 英・数・国が中心のカリキュラム作成週4コマ。(普通の学校週3コマ) 火曜日の7校時に、漢字・作文の時間を設定。漢検・英検・上級資格取得(準2級を目指す) よのなかNEXT授業実践(3年毎週2コマずつ、1~2年、年に10コマ) 地域本部による土曜日寺子屋等11の事業を実施している。

(東京都杉並区)学習習慣が身につくような指導。

(東京都杉並区)・基礎学力の向上(特に数学、国語)・互いに高め合う姿勢の育成(特別活動を通じて)。

(東京都杉並区)心の教育。

(東京都杉並区)図書館教育、図書館運営(学校支援本部)、読書活動(学校)、土曜日学校(学校支援本部)。

(東京都杉並区)職場体験活動。

(静岡市)・キャリア教育(職場体験学習等)・総合的な学習(1人1研究的学習)・太鼓活動・授業・祭り等。

(静岡市)「響く歌声」を目指し、合唱に力を入れている。

(静岡市)職業体験活動。

(静岡市)地域を生かした体験学習。(中山周地の小規模校です)

(静岡市)ボランティア活動・・・老人病院への訪問(山の上病院・七夕、クリスマス訪問)地域の清掃活動(庵原川清掃) PTA活動への協力(バザー、資源回収、奉仕作業他)

(静岡市)資格取得。オンラインショッピングモール学美舎への取り組み。

(静岡市)福祉、ボランティア活動。長期休暇、休日、土曜日等を利用し、生徒会、ボランティア委員会が福祉・ボランティアを募集、福祉施設の訪問や協力を行なっている。

(静岡市)日頃の礼儀やマナー。

(静岡市)・他と関わり合い、自分を素直に表現し高め合う生徒の育成・自尊感情と自浄作用の育成。

(静岡市)・防災意識の向上・自然林の活用。

(静岡市)・社会で生きていくための基礎基本を身につけさせる。・よりよい人間関係づくりと人間尊重の精神を育む。・協同的な学びの向上、学びの質の高まりの実現。

(静岡市)キャリア教育、3年間の見通しをもった計画を立て、地域学習・職業学習・職場体験学習、古都の伝統学習企業プロジェクトなどを行い、勤労観・職業観を育て将来に向けて夢や希望をもてる生徒を育成している。

(静岡市)・大学の附属中学として、大学の教育施設を利用したり、理科スタッフに協力をしてもらったの体験学習の実施。

(洋上教室、理科実験)・委員会活動や部活動を通しての福祉活動の実施。

(大津市)「BIWAKO TIME」「Human TIME」などの総合学習。「情報」の授業。「BIWAKO TIME」では異学年合同で、3つの大きなテーマの中から選択し共通する研究対象をもつもの同志が環境について研究調査している。「Human TIME」では国際理解教育を柱に、1年校外学習、2年修学旅行、3年職業体験について、学んでいる。「情報」はコンピュータに限らず、全てに関して学ぶ教育。考え方、モラル、総合学習、各教科につながること。

(大津市)・生徒の基礎学力の定着・向上。・豊かな心の育成。

(大津市)社会性を育てるための教育活動。・講演会の実施(各学年の実態に応じて)・体験活動(1年生の保有体験、2年私の仕事館など)・本物の芸術鑑賞等。

(大津市)生き方を学ぶ体験学習。1年、福祉交流-養護学校で共に学ぶ。2年、キャリア教育-職場体験。3年、社会の先輩に学ぶ-社会人から話を聞く。

(大津市)職場体験学習を含めた進路指導やポート体験などの総合的な学習。

(大津市)ボランティア活動。一年生~三年生までの一貫した生き方指導(進路指導)自主・自律の精神の育成。

(堺市)部活動。

(堺市)生徒指導。基礎学力の定着。

(堺市)読書活動。

(堺市)・3年生がクラブ活動引退後に、10月から始めた「勉強クラブ」。自主的に始め、自分たちで名前を付けて、教師・外部支援(本校卒業の大学生)のバックアップで運営されている。・「朝学」。堺スタンダードの取り組みの一つ、「朝の読書」に合わせ、新聞の切り抜き記事を読み、自身の意見を書く。NIEの支援を受けて、毎朝実施。

(堺市)「ほんもの」との出逢いとをとおした、人権学習を基盤とする教育活動、みて、ふれて、聴いて、感じる。

(堺市)授業への身構え、気構え。

(堺市)読書活動の推進。

(堺市)学びの共同体の実施。

(堺市)「確かな学力の向上」に向けて、少人数指導を推進し、個人応じた指導の充実をはかっている。

(堺市)あいさつ、美化、基礎学力の定着。

(堺市)地域学習。

(堺市)生徒が感動できる、主体的にとりくめる学校行事。

(堺市)英語活動、キャリア教育、小中一貫。

(京都市)部活動のさらなる活性化による協調性・仲間力の育成。

(京都市)1. 学力水準の向上と学力格差の解消をめざす取組。 授業時数の確保 授業改善 宿題(家庭との連携) 異校種連携(小中・中高) 地域との連携(学校運営協議会・学校支援地域本部など) 土曜学習・放課後学習。

(京都市)・学習・部活動・総合的な学習・基本的生活習慣の徹底。

(京都市) 3年前から国際交流(ホームステイによる短期留学)を行ない、一昨年「姉妹校提携」を行ない、英語を中心として、学習やコミュニケーションについての関心が高まってきた。 社会人講座の実施を行なっている。

(京都市)・基本的な学力が定着していない生徒への学力保障。課外学習や補習授業など。・部活動の活性化。全員顧問性、休日部指導の推進など、

(京都市)自分の夢(なりたい自分)に近づくためのキャリア教育、規範意識の醸成。

(京都市)学力の向上。部活動。

(京都市)特別支援教育 - 個々の生徒が学級での生活になじめないとき、あるいは学級で友だちとトラブルごとの多い生徒への支援として別言でのソーシャルスキルを学ぶ。

(京都市)・生きる力(知・徳・体)バランスのとれた人格形成・学力向上・学習意欲の向上・人間関係力。

(京都市)基本的生活習慣の定着。

(京都市)人権教育。部活動指導。

(京都市)地域との連携を強め、「地域のために何ができるのか」と考え、学校から地域に働きかける。単に協力をしてもらう姿勢ではない。

(京都市)学力向上。

(京都市)地域のコミュニティの中で子どもを育てる。

(京都市)小中連携、部活動指導。

(京都市)保幼小中連携、地域連携の行事の企画参加交流の実施。

(京都市)環境教育の充実。

(京都市)・教員が生徒と関わる時間をできるだけ多くもつようにしている。・学力向上のすそ野を拡げることを行ないとして読書活動と学校図書館の利用促進に力を入れている。

(京都市)ICT教育に力を入れている。

(京都市)現在は、朝読書・終学習等のことをしている状況です。来年度から、「読解力」養成の取組みを全体的に進めていく予定です。

(京都市)・国語科を中心としたコミュニケーションスキルの向上・基礎学力のボトムアップ。

(京都市)地域と協力し、地域主催、地域との共催による休日の行事を実施し、生徒に運営、手伝い等、ボランティアとして参加、活動する機会を多く設けている。

(京都市)・学力向上のための授業時数確保・生徒の活動重視。生徒会、部活動、その他体験活動。

(京都市) 体験型の学習を重視している。・職場体験、企業体験(伝統文化産業に触れる)・人格学習(車椅子、手話、点字体験など)。

(京都市)人権学習と総合的な学習。

(京都市)進学指導。(高校生)。

(京都市)福祉体験。

(松山市)人権教育。国際理解教育。情報教育。

(松山市)基礎学力の定着と向上。部活動(文化部・運動部)の充実。人権・同和教育の充実。

(松山市)・礼節を重んじ、温もりと思いやりのある心の教育・基本的生活習慣の確立と規律ある生活態度の育成・分かる授業を創造し、基礎・基本の定着と活用能力の育成・心身を鍛え、躍動感や感動のある部活動の推進・育てたい生徒像「歩むべき道を探り向上する生徒」。

(松山市)部活動の指導。

(松山市)・学校行事を生徒たちの手でつくりあげること。(運動会、文化祭、合唱コンクール等の行事は生徒の実行委員会の企画運営で実施している。)・日々の学校での学習習慣の定着と学力の向上(授業開始、聞く態度など基本的な学習習慣を身に付ける)。

(松山市)地域へ出かけての体験活動の推進。

(松山市)学習面においては、各教科で「発表力、表現力の向上」にテーマを統一して研究実践を勧めている。生活面(生徒指導面)においては、「けじめのある落ち着いた生活」が送れることを第一に指導に努めている。

(松山市)生徒の自主性を伸ばす。

(熊本市)・学力向上。

(熊本市)行事精選の風潮の中、本校では逆に充実した行事の推進を図っている。量、質的にも、充実を図り、様々な大変を子どもたちに経験させている。

(熊本市)NPO法人ライフ&キャリア教育サポートという外部団体との「よのなかプログラム」のキャリア教育の授業を実践している。

(熊本市)挨拶ができる生徒(コミュニケーション能力の育成)、掃除ができる生徒(環境の整備)、遅刻ゼロを目指す生徒(時間の管理)を基本的な取り組みとして、創立40数年来のチャイムのない学校として、自主自律への取り組みを行っている。

(熊本市)・礼拝などを通しての人格形成。・学力の保障(朝のグループ学習、放課後の勉強会など)。

(熊本市)ここで(この学校で)学んでよかったと言える学校作り(教師と生徒と保護者とが一体になって・・・)。

(熊本市)朝のあいさつ運動(全クラス)立ち止まってあいさつ運動。

(熊本市)「自ら学び心豊かで心身共にたくましく、郷土愛に満ちた生徒を育成する」という学校経営目標を掲げて、地域人材を活用した体験活動の充実に力を入れて取り組んでいます。

(熊本市)少人数指導による学力向上と和の心の教育。

(熊本市)あいさつ等基本的生活習慣の育成に力を入れている。それが、授業態度につながり、学力の充実へと発展していく。

(熊本市)小中一貫教育。

(熊本市)・あいさつの励行・ボランティア清掃・縦割り活動。

(天草市)・心の教育(道徳・人学学習を中心に)・話し合い活動(授業の中に場を設定する)。

(天草市) あいさつ そうじ。

(天草市)基礎学力の向上。

(天草市)1. 生徒会活動。2. 地域と連携した活動・朝の読書(読み聞かせボランティアの活用)・海水浴場の清掃ボランティア(老人会等との合同事業)・職場訪問(1年生)・職場体験(2年生)・ゴミ分別ボランティア、アルミ缶回収(生徒会)・地域行事への協力、参加。

(天草市)「学VIVA」放課後、全校生徒を対象に国・数・英の補充学習を実施している。(週2回)「Enjoy Talk王」放課後、全校生徒を対象に与えられたテーマに沿って、スピーチをする取組を実施している(月2回)「月末テスト」全校生徒を対象に毎月1回、国・理・英・社・数の5教科の基本事項について、10問出題し、基礎・基本の定着を図っている。また、5教科満点者は「オールパーフェクト」3、4教科満点者は「ミニパーフェクト」とし、表彰を行い、意欲の向上を図っている。「全校音読」朝自習の時間は、読書をさせており、月に1回全校生徒で音読を実施している。「ボランティア活動」地域の清掃活動や独居老人宅を訪問し、様々な手伝いをしながら交流を深めている。(月1回)「家庭学習ビルディング」家庭学習時間に応じて、シールを貼らせ、一目で分かるようにしている。定期テスト2週間前から、合計学習時間の目標を立てさせ、机に向かう時間を少しでも長くしようとする取組を行っている。

(天草市)社会体験学習。1年、地域の人に学ぶ。2年、職場体験。3年、ボランティア体験学習。

(浦添市)・読書活動の充実。・家庭学習の充実。・各教科の指導工夫改善。

(浦添市) あたりまえのことがあたりまえにできる子どもを育てるために規範意識を育てる取組(集団行動の徹底、あいさつ、清掃、時間を守るなど) わかる授業に向けての指導方法の工夫・改善、それを通して生徒の学力を向上を図る。

(札幌市)大学進学のための学習指導です。

(札幌市)社会福祉教育。

(札幌市)朝読書。総合的学習の研究活動。

(仙台市)キャリア教育(仙台では、自分づくり教育)学区の小学校と連携をとり進めている。

(東京都世田谷区)モチベーションアップのための取り組み。学習面と社会性の2面から具体的に研究・実践を行っている。

(堺市)部活動の活性化。小中交流、連携。

(京都市)・国際理解教育(海外研修etc含む)・国語教育(作文力)・自然体験学習(サマーキャンプetc)。

(京都市)生徒会活動や各種の行事に積極的に取組む生徒の育成。

(松山市)行事。ボランティア。

(松山市)・キャリア教育(・職場体験・高大連携) 総合学習として、6年間系統的に実施。

(熊本市) 生徒が部活単位で主体的に朝からボランティア掃除を行っている。 学習は基礎的事項の徹底。 部活動の振興。

(熊本市)・生徒(委員会)と、地域ボランティア(地域 学校)と協力して行う、校内緑化活動と、地域へのボランティア(生徒 地域)・職場体験の4日実施、実施後、実施企業の紹介新聞の作成と配布。

(天草市)あいさつ、掃除、家庭学習。特に家庭学習については、これからの大きな取組。

【 Q6 キャリア教育を推進していくうえで重要だと思われることの選択とその理由 】...(中学校)

(札幌市) a) キャリア教育に対する考え方が、研究団体等において異なっている。その意識の統一、共有化がスタートになる。 b) c) これから推進を強化していくためには、校内の人的面もそうだが、外部の協力は不可欠である。また外部の人材が極めて有効である。

(札幌市) キャリア教育について行政(文科省)の考えを各事業者(所)が理解していない。

(札幌市) 具体的に実践を行っていくうえで、職場の開拓など教員だけの動きでは難しいことも多く地域や委員会の支援は欠かせない。

(札幌市) 現状は1日実施(今年は3学年)の職場体験が緒についたばかりであり、手探りの状態である。

(札幌市) 地域企業の理解を得られなければ、実施できない。

(札幌市) 校内で中心となって動く組織や人がいなければ動きだせない。

(札幌市) 本校は教育大学の付属校であり、市区町村教育委員会の通学区分による指定校とは異なり、生徒の居住地域と学校所在地という2つの地域の考え方がある。学校教育と密接に関わる所在地域とのかかりがやや薄いのが実態であるため、上記の理由を選択した。

(札幌市) 現在の実践において、重視している点です。

(札幌市) 職業体験の受け入れ先を確保するのが、毎年たいへんである。

(札幌市) まず受け入れてくれる事業所を開拓していくことが最も重要と考えているから。

(札幌市) 準備段階で、具体的ではありませんが、体制をつくる段階で必要を感じました。

(札幌市) b・・・新学習指導要領により、ますます時数確保が肝になる。 d・・・受け皿がないと、実施のしようがない。 f・・・総合的学習の活動とのかねあい等を整理する必要がある。

(札幌市) キャリア教育は総合や特活だけでなく、すべての教科において取り組むべきである。就業とかというレベルではなく、生き方教育としてとらえるべきである。

(札幌市) キャリアスタートウィークの実施。現在1日のみです。授業時間との関係でもっと日数を増やしたいが、難しいところである。訪問を受け入れていただかないとこの事業はなりたちません。また、在籍数も多いので受け入れ先の確保がこれまた大変である。学校と事業所ということでなく市・教育委員会がもっとPRを含め、支援していただきたい。

(札幌市) 活動受け入れ先の確保が、毎年一番大きな課題であるため。

(札幌市) ・3ヶ年(中学)を見通したキャリア教育の実践が大切である・地域に貢献できるという意識を育てたい・ノウハウの共有化は負担の軽減にもつながる。

(札幌市) ・何をしても、学級数・生徒数で人員を機械的に決められているため、時間も人も足りない(i)・もう少し3年間を系統だてて、カリキュラムを立てる方が(本校では)よいと思われるので。(a)・(i)の理由でも述べたのですが、時間的にかなり厳しいので、行事や活動の見直しが必要かと思われるので(f)。

(札幌市) 義務教育修了の段階で、社会人としての基礎、社会の一員となる意志、意欲を定着させるため、中学3年間を通しての、カリキュラムと地元の協力が大切と考える。

(札幌市) 単発で終わることなく、生徒一人一人のキャリア意識を育むためには、体系的なプログラムが必要であると考え。また、それを実現するためには、地域の協力は不可欠であると考えから。

(札幌市) まず、学校の教育課程にキャリア教育が職員の共通理解の上、適切に位置付けられていること。そして、市教委の支援(予算面)そして実施までの事務作業と生徒への指導の流れが体系化されていて、年度が変わってもその理念がしっかり受け継がれるのが望ましい。

(仙台市) 病院内の学校という特殊な環境にあり、入院している生徒の教育を行う観点からは、生徒が出向く活動は考えにくい。

(仙台市)職場を確保することが、最重要。

(仙台市) 学校運営の中にしっかり位置づけて年間計画を立て、全教職員で取り組んでゆかなければいけないし、地域・PTA（保護者）の協力も不可欠だと思われる。

(仙台市)学校だけでは実施は不可能であるため。

(仙台市)・学校側では、3年間を見通したカリキュラムの構築が不可欠であり、地域社会との連携という意味では行政や地元の支援が必要である。

(仙台市)・事業所、開拓の必要性。・人的支援の必要性。

(仙台市)小学校においては、直接的な就業体験活動よりも、日常の学習の中で、いかに体系的に取り組んでいくかということが重要なと考えるため。

(仙台市)他の学校行事等との兼合い、それを踏まえた事前の準備や指導時間の確保は調整が必要である。近隣校と実施時期が重なると学区内だけで事業所を確保するのは難しく、遠くの事業所になると帰宅するまで心配である。また、野外活動とは、関連させられるが、修学旅行と関連させるのは難しい。

(仙台市)現実に通常の時間に教師が企業を回ることは不可能です。それまでの受け入れ企業を毎年お願いするのでは、負担も多い。コーディネーターをしてくれる人が必要です。「教師が自ら歩いて」という話もありますが、気持ちは分かりますが、授業や生徒指導をよそにして出て歩けるわけではありません。進める上での一番のネックはその点です。

(仙台市)中学校における教育活動を考えた場合、創造的な行事企画のみならず質の向上も重要な要素になりうる。二学期制への移行学習指導要領の改訂等めまぐるしく変化が生じるなかでキャリア教育に向けられるエネルギーは決して大きいものではなく個人的温度差が大きいように思われる。5日間の職場体験のような大きなプロジェクトにはそれなりの準備支援を周到に行なう必要を感じる。

(仙台市) 生徒200名以上を同じ日に受け入れていただく職場を確保するのが大変である。職場によっては定休日もあり同一に扱うのが大変だった。まだ始まったばかりなので全体計画のみなおしも必要である。また、単一学年だけでなく全体で取り組んでいく必要性を感じている。

(仙台市)h・・・本校では2学年で5日間職場体験を行っている。そのための、事前学習用の資料があればより有効と考える。d・・・2年生全員5日間受け入れ可能な職場を探すのは毎年、大変な労力となっているため。a・・・初めて2年目なので全職員共通理解しやすいものがあればより有効。

(仙台市)キャリア教育が教員の負担増の要因の1つになっており、担当教員が苦勞するというのが現状だと思います。そのため、キャリア教育を理解している教員チーム作り、そして学校全体でのキャリア教育の体系化が必要だと考えます。更に、体験先のデータベース化を全市的に行ったり、予算を確保するなどの教育委員会の支援も不可欠となります。

(仙台市)キャリア教育の共通理解（スタンスの整理）は実践する上での大前提となるべきものである。そして個々の学年が独立してキャリア支援を行うのではなく、各学年の発達段階に応じた指導と三年間を見通した指導が必要と思われる。学校行事にも意識して位置づけ、取り組ませた上で、変容を見取る必要があると思われる。キャリア教育（仙台市では自分づくり教育と言っているが、）は、すべての教育活動の中で行うべきものであるという認識の上に立って取り組まなければならない。

(仙台市)・現在の学校は極めて繁忙な状況にあり、校内は人手不足が続いている。・3学年の授業時数確保のために連日の時間割変更で対応しているが、キャリア教育のために集中した時期に指導時数を確保すると、その歪みの調整のために更なる変更をしなければならず、かなりの労力を使っている。新教育課程で更に35時間増となり、どう対応していけばよいか苦慮している。

(仙台市)学校単独でのキャリア教育の推進は限界がある。地域、市全体での支援とともに学校に対して、人的加配が必要。

(仙台市)始まったばかりなので、まだ具体的な問題点が明確になりきっていないので。

(東京都北区)キャリア教育・進路指導の中学校生活3年間を見通した時数、地域との連携、学校としての指導計画、見通

しをもった上で、組織的に取り組みたい。

(東京都北区)校内外を含めた組織的な対応が必要と考えるため。

(東京都北区)特に、職場体験5日間については、夏季休業中に実践できると良い。

(東京都北区)職員のキャリア教育への理解を深め、その結果として、キャリア教育の計画を見直す必要があると考える。

(東京都北区)多くの仕事の中で、キャリア教育だけを行うわけにいかず、事前、事後の指導を含めると多くの時数が必要となる。また、職場体験が5日間になることで職場にも負担が増えるので、全学年での職場訪問は行いにくくなった。それらのことも含めて、3年間のキャリア教育の計画をもう一度見直す必要があると考える。

(東京都北区)・食育等、社会的・今日的な教育課題への学校の実践的な取り組みが、様々な方面から降るが如く提起され、授業時数も増える中、教育を具現する為の時間の確保は厳しい。・啓発的体験活動(職場体験等)は極めて重要と考えるがその企画、民間人との交渉等々、学校の教員に時間的ゆとりがなく取組が難しい。・教育課程内に位置付けることは、実施上、上記のような課題が多い。幅広い視点に立ち、長期休業中を活用した、保護者や生徒の選択学習として職場体験等が出来るが良いのではないかと考える。

(東京都世田谷区)既に中高6年一貫を通して進路指導としてキャリア教育を行っている。社会に出る前に大学・大学院で専門的な高度な教育を受ける必要がある。しかし現在高校の教科・科目の設定と大学の学部・学科の設定との間には大きなズレがあり、特に理系の学科は非常に細かく分かれ高校段階でどの学科が適切かを判断することが難しい。大学・大学院で身につけた知識を将来の職業に有効につなげていくためには、そのつながりをカバーする情報提供が極めて重要である。

(東京都世田谷区)学校全体としてのシステムがまだ構築されておらず、外からの支援体制の確立が必要であるから。

(東京都世田谷区)職員が高齢化(平均年令51才)し、旧態たる教育活動がおこなわれているのが現状である。新しい社会の流れに応じ、再度、活動の再構築が必要と考えている。

(東京都世田谷区)・総合的な学習の時間の確保が困難になる状況下で授業時間数の確保。・授業時数の増や行事の精選を行ってはいるが、地域への人的協力はむずかしい。

(東京都世田谷区)授業時数の中にどのようにキャリア教育を位置づけていくかは大きな課題。まだ教師のガイドなどもできていないので、とにかくまずは意識を高めるツールがほしい。

(東京都世田谷区)b、教科や様々な行事があるので、これまでもそうだったが今後も課題となるように思う。d・k、校内だけで実践することは不可能。地域の方からの支援が必要であるため。

(東京都杉並区)・中学校3年間を通したキャリア教育の一貫性。・地域と連携したキャリア教育。・何よりも時数の確保。

(東京都杉並区)現在、総合的な学習の時間を中心にのなか科等で、キャリア教育を実践しているが、授業(総合)が新学習指導要領により減っていくことで、推進する時間等をどう工夫していくか。

(東京都杉並区)教育委員会の取組み(サポート)が不十分。

(東京都杉並区)新しい指導要領に向けての対応。

(東京都杉並区)(b)時数の確保が先ず困難であり、1年生で5日間の職場体験が精いっぱいのところである。ある程度、時数確保の目途が立つならば、(a)(g)が必要になる。

(静岡市)・本校はキャリア教育をして行っている。地域産業体験学習、職場体験学習が単発的なので、できれば3年間を見直し系統立てて行っていきたいと考えているため。

(静岡市)・総合の時間を中心に実施してきているが、今後の時間数の確保が難しいから。・学年にまかされて実施しているので、他学年とのつながりが弱いから。

(静岡市)中山周地で事業所や体験企業も少なく地域の協力及びPTAの理解は不可欠。

(静岡市)小さい学校なので、協力企業への要請のため職員がたいへんな思いをしている。また生徒が実習している期間、その学年の職員が、他の学年の授業がやれない等。

(静岡市)・大学進学を目指す生徒たちに大学卒業後の行き方を含め、キャリア教育の全体設計は不可欠。また学年進行に伴ってどのような指導を必要とするか今後の研究が課題となっている。

(静岡市)現在、私たちの地域では、それぞれの学校が独自に職場体験などを行っていて、担当学年の負担が毎年大変大きくなっています。教育委員会等で、もっと支援してくれるとありがたいと思います。

(静岡市)総合的な学習の時間が削減されていくなかで、計画や時数の確保が重要。

(静岡市)一貫した目標を明確にし、生徒にそれを意識させていくためには現在、行っている進路指導、職業学習を整理し、系統立てることが必要であると考え。また、本物の職業人に接することや体験を通し実感を伴った学習にする必要があると考える。

(静岡市)3年間の見通しをもった計画・実践が必要であり、地域との連携がかかせない。

(静岡市)・総合学習の時数削減もあり、今後の総合学習では、キャリア教育を柱として全体計画を作成する必要がある。・文科省だけでなく、経済産業省の管轄機関との連携も委員会を通して必要である。

(静岡市)現場の教職員の理解がまだ充分でない。キャリア教育以外にも多くのやるべき事があるので、学校の全教育活動のデザインを整えることがまず必要であると考え。また、教職員だけでは十分でないので、各種団体の協力と共に、地域社会の理解が必要であると考え。

(静岡市)私立中学であるため、通学区域が広範囲である。それぞれの生徒が居住している地域への働きかけが難しいから。また、職場(職業)体験を中学3年生で実施しているが、その時期が適切であるかどうか。

(大津市)授業時間の確保が至上命令のごとくいわれている中で、5日間の体験学習と事前、事後の学習時間を確保するのは相当きびしい。

(大津市)多忙であり、キャリア教育を推進していくことに疲労感を感じている。教師は多い、成果はあるだけに、今のところ、組織的に取り組んでいる。

(大津市)地元で職場が少なく、交通費の補助が十分ではない。また、1週間授業が抜け、部活の大会やテスト前に重ならず他校との重なりのない時期をどのようにして見つけるかなど多くの問題がありながら5日間絶対に実施しなくてはいけないので、日数の選択ができるように全体設計を見直すべき。

(大津市)職場体験の事業所の確保に苦労している。行政や地域の協力が不可欠である。

(大津市)現在の活動が3年経過し整理をする意味で。

(堺市)人的な確保、物的な確保、時間の確保が実践のためには絶対に必要な条件と考える。

(堺市)職業体験などを実施するとき、受け入れ先の団体の確保が、むずかしくなっていると思います。全市的なレベルでの啓蒙活動の必要性を感じます。専門の分掌が決まっていない事、受け入れ先の確保がその年度の担当となったものの負担となっている。

(堺市) 新学習指導要領になって、総合的な学習の時間数が減った。キャリア教育実施のための準備期間が必要であり、学校行事との兼ね合いが難しい。 職業の具体的な資料がほしい。(本、DVDなど)。

(堺市)人的、支援が必要。

(堺市)職場体験や、卒業生を招いての「職業・就業観に関する講演」を実施するに当たっては、地域・保護者との連携がとても必要であると認識している。また、その事が、いわゆる「タテにつながる教育」「ヨコにつながる教育」の実践にもなり、卒業生が本校に帰ってきて、教師になってくれれば理想的である。

(堺市)ある程度のヒト・モノ・(カネ)は必要ではないか。特に協力していただける”地域のおとな”が必要。

(堺市)学校現場では大切なことだと認識しているが、人的な配置がなく、あれもこれも手がいっぱいである。

(堺市)3年間を見通したキャリア教育の推進のため、教育計画、地域・保護者の支援等専門分掌が必要である。

(堺市)3年間を見通したプラン作りが第1。子供は地域で育ち、地域で学ぶので、地域との連携が大切である。

(堺市)大事なことばかりで、理由も説明しなくても明らかである。特に3つという内容ではない。

(堺市)計画を新学習指導要領にあわせて時数を組みなおさなければならない。教職員の入れかわりも考え、計画をしっかりと作り、学年ごとのつながりを強化しなければならない。人材(地域)の確保もすすめたい。

(京都市)キャリア教育の重要性は大いに認識。本校も1年生で、15hのプログラムを組んで実施中だが、今後総合数の時間数削減等、逆風大きく、矛盾を感じる。

(京都市)1)総合的な学習の時間におけるキャリア教育の位置づけ。キャリア教育の小中一貫したカリキュラムの編成が大事。2)教員以外の地域人材の支援があって成立する取組であると考えている。

(京都市)しっかりとやりはじめるには、まず必要だと思われるため。

(京都市)広い視野に立って、生徒に夢、希望、ロマンを持たせることが大切。そのために本物に触れ、その感動が夢の実現に向けてのパワーとなる。その使命がキャリア教育にはある。

(京都市)教育活動としての効果を高めるためには系統的でなければならない。(単発イベントになりがちだから)

(京都市)見直しをもった年次計画の作成と推進委員の組織化。

(京都市)小学校との連携したキャリア教育に取り組んでいるが、新学習指導要領における小中のキャリア教育のあり方について検討する必要がある。

(京都市)学校行事、学年の取組等とキャリア教育の関係性をあきらかに、あるいは体系化して、時間の確保等をしていく。

(京都市)2年生で職業体験を行っているものの学校全体の教育活動として全学年の中で系統的な位置づけが図られていない。家庭地域教育学級など保護者や地域の方々への講演などについての費用はでるが生徒対象の講演料は準備されていない。今は校長のポケットマネーで補っている。

(京都市)大切なことは理解しているが、教員の余裕がないこともあり、(h)は必要だと感じる。進路・進学の補助教材は本市でもあるが、キャリアのガイドブックはない。各校とも独自のものはあるが、体系的なものはない。

(京都市)良いものとわかっていても、教師がその必要性をどれだけ認識し、全体像をつかんでいるかによって、実践する度合いが違うから。

(京都市)・3年間を通じての取り組みが大切であること(現在、2年生の5日間の職場体験が中心なので)と、地元の事業所の協力が不可欠なこと、その他専門性をもつ方からの協力が大切。PTAの協力がないと、教師だけではこれ以上の仕事量増は大変であること。

(京都市)地域の連合会長や種々の団体長との交流を深め昔からの仕事、地場産業の大切さとともに、働くことの意義について深めていくことから、将来の自分を見定めていくことが第一歩と考える。

(京都市)現在、地元地域と共に取り組んでいる実践とどう融合させていくか、が課題。

(京都市)授業時間数の調整(キャリア教育の時間の確保)

(京都市)キャリア教育だけでなく、他の分野よりもあれもこれも実施してほしいとの要望があり、時間の確保はどこの学校でも苦慮しているところではないか。

(京都市)6ヶ年、3ヶ年の就学期間を通した教育のあり方を見直す必要がある。

(松山市)まだ本格的に実施されていないので、実施するためのテキストや全体像などが必要であるから。

(松山市)・総合的な学習の時間への位置づけと時数の確保・3ヶ年継続した取り組みが必要・職場体験学習は地域の教育力向上のためにも校区内の企業等で行うことが望ましい。

(松山市)学年ごとに、自己理解、自己啓発、自己実現と発達段階を踏まえた学習を実施しているが、さらに系統的・計画的な体系づくりが重要である。「ニート」が大きな社会問題になっている現状から、各校での独自の取組によるキャリア教育の推進では、格差が開いてしまうように思われる。指導書的なガイドにより指導する中で、学校の特色を生かせるようにしたらよいと思う。学校教育だけで、キャリア教育を推進しても、不十分であり、家庭や地域社会、関係機関との連携は必要である。

(松山市)キャリア教育として実施している内容は学校の授業では多くある。体系的にとらえられていない面があり、個々

の教職員の努力で成果を上げている。就労をめざし、中学校の発達段階で身につけさせたい力を明確にし、指導する体制づくりが必要である。

(松山市)体験的な学習の重要性(生徒の充実感、手ごたえ)を痛感しております。

(松山市)現段階では、キャリア教育を推進するために必要な体制づくりが必要です。そのためには、計画を担当する教員の時間的なゆとりが必要だと思います。

(熊本市)環境教育など 教育と呼ばれるものは、教科の壁にはばまれて、なかなか充実できない。もちろんキャリア教育もそうだと思う。やはり、時間と人と物がそろわないとむずかしいのではないかな。

(熊本市)校内での行事とキャリア教育の関連性が確立できつつあるが、地域の力が弱い。職員の意識の向上。

(熊本市)キャリア教育は、様々な教育活動の積み重ねによるものであり、中学校生活を通して計画的、体系的に、地域からの協力を得ながら実践する必要がある。

(熊本市)私立中なので「地元」の感覚が生徒間で異なり、職業に対する意識の相違も大きい。地域に密接した取り組み(体験学習)は困難のため、制度の検討・理解から現場は始めなければならない。

(熊本市)学校運営、組織マネジメントの考えを重視するならば、 教育と名のつくものは、まず全体の計画・設計が確立していなければ効果のある教育実践を行うことはできない。教職員が超多忙感を感じている現状では、キャリア教育を推進していく上での授業時数の確保は、大変に難しく頭の痛い問題ではある。

(熊本市)キャリア教育の意義と重要性を教師自ら知らない実感がある。そのためにも、教育カリキュラム全体にキャリア教育の考えを織り込む研究討議が必要だし学校だけでなく、地域やPTAの方たちをまきこんだ活動が必要である。

(熊本市)一人一人のキャリア教育を図るためには学校の教育活動にキャリア教育を適切に位置づけ、教育委員会の支援をうけてすべての生徒に一定内容の教育を保障する必要がある。

(熊本市)時数を確保することがまず大切。それを系統だてて、推進していくことが必要。

(熊本市)まず具体的に動き出さないことには。

(天草市)学校内だけで取り組んでも限界がある。

(天草市)支援体制をしっかりとつくりたいため。

(天草市)キャリア教育はクロスカリキュラムとして、本校の実態に即して行う必要がある。

(天草市)(c)体系化が十分でない。(d)職場体験学習で協力していただける事業所が少ない。(h)生徒向けの副教材があれば、キャリア教育を進めていく上で助かる。

(天草市)田舎なので施設が少なく、生徒の移動が大変である。

(浦添市)(d)体験場所の確保が課題のため。

(浦添市)教育活動全体の中でのキャリア教育について整理する必要がある。

(札幌市)将来の職業を見据えた進学指導が大切だと考えています。

(札幌市)(a)目的・意義をしっかりと理解し、実施するため。(c)3年間を通しての職業観の習得、進路へのつながりを重視するため。(d)実際に少人数で職場体験をさせてもらうための事業所の確保。

(札幌市)年間計画の中で位置づけをしっかりと行うため。

(札幌市)現在進めている最中なので。

(堺市)全体計画の位置づけがあり、校内、外の努力、支援があってこそ実質的なキャリア教育となっていくものだから。

(京都市)中学・高校6年一貫教育及び大学とも連携をとって独自のプログラムを検討中である。

(松山市)バランス(授業と、総合的学習)が大事。

(熊本市)とにかく全体的な体系の整理。

(熊本市)時間の確保や人的な協力が必要であると考え。学校内は、キャリア教育以外にも、~教育が多数あり、それすら満足に行えないのに難しいと想う。

(熊本市)キャリア教育全体の整理、改善は、不可欠。また、職場体験学習など、地域の協力がなければ、やっていけない。
また、体系づけての資料は、ほしい。

(天草市)複数の小学校から入学してくるため、幼保・小・中を見直した計画が必要だと思われ、現在、取り組もうとしている。

【 Q12 民間コーディネーターを使って、自校でキャリア教育を推進できない理由 】...(中学校)

(札幌市)具体的な連携方法がわからないので、キャリア教育の推進にどのように関わられるかもよくわからない。

(札幌市)よくわからない。

(札幌市)コーディネーターの役割、実際の活動が不明のため。

(札幌市)予算・時間。

(仙台市)入院期間中の生徒の教育を扱うため、継続的な活動は困難である。

(仙台市)現在行っているものを、少しずつ改善を図りながら、進めたいので。

(仙台市)民間のコーディネーターがどこまでやってくれるかが不明。教師側の分刻みのスケジュールの中で、アクシデントによる突然の予定変更が日常的である中、打合せや共同作業がスムーズに行かないおそれがある。

(仙台市)全体の意志統一にもう少し時間が必要と感ずるため。

(仙台市)人員が、かなり足りない。

(東京都北区)学校の年間の指導計画との関連を図る必要があると思われる。実際に指導いただくコーディネーターにお会いした上で、計画を作成することが必要である。

(東京都北区)キャリア教育以前に、保護者や教員が何でも先回りをして、子どもに対してやってしまうことにより、子どもは考え方を深くせず、段々と軽々しくなり、考える力をうばってしまっている。それをなくさない限り、何をやってもムダである。

(東京都世田谷区)併設大学の事務方に来ていただき、レクチャーを受けている。

(東京都杉並区)既にコーディネーターがいるから。

(東京都杉並区)コーディネーターなくしての実行は不可能と考える。

(東京都杉並区)学校支援本部やPTAの組織がしっかりしていれば、十分キャリア教育をコーディネーターで推進できる。

(静岡市)学校の現状をみると、できる範囲が限られている。余裕がない。

(静岡市)こちらの教育的目的を理解していただくのが時間的にも厳しい。

(静岡市)地域は学校に協力的であるが、学校だけでは地域の力を発掘できないので。

(大津市)学校教育への理解が多分できていると思われるのでそこから始めなければならないだろうから。

(大津市)京都の「私の仕事館」?の二の舞いになるだけ。

(堺市)調整方法などいろいろな検討課題がありそうである。

(堺市)実際にオリックスの方に来ていただいた。

(京都市)時間の確保、まずプランニングの必要性あり。

(京都市)時間の余裕が充分にないように思う。

(京都市)教職員にキャリア教育そのものの意義が共通理解がされておらず、今後の課題である。

(京都市)・本校の取組に果たす役割が不明。・コーディネーターの力量に格差がある。

(京都市)現状では時間的余裕がない。また、様々な民間の公的なコーディネーターがいるが、まだまだ学校、生徒実態とかけはなれていると考える。(法教育、福祉・・・)・・・などあまりにも縦わりの機関からの要請が多く、現実には難しい。

(京都市)コーディネーターに質の差や、その時だけ(前後もふくめて)の参画では効果はうすい。

(京都市)[11]c.による。

(松山市)学校側の状況が、対応できる状況にないと思います。

(熊本市)学校の多忙感が問題になっている現在、必要だとは思いますが本校に今、その余力はないのではないかと考えるから。

(熊本市)昨年度から2年間NPOとの連携ができたから。

(熊本市)しかし、コーディネーターとのコーディネートにエネルギーがかなりいる段階があるんだろう。

(熊本市)よくわからない。

(札幌市)昨年度講演のみだったが、とても良い刺激を受けたので。

(仙台市)11のcの理由による。

(堺市)理解がすすんでいない。

(京都市)担当者多忙なためそこまで時間がさけない。

(京都市)3．学校や生徒のや地域の実態を把握している教員が行うべきである。

【 Q15 今後キャリア教育は、どのように行っていくべきだとお考えですか 】...(中学校)

(札幌市)これからますます重要になってくると思う。人格の完成及び国家の形成者という教育の目的の二本柱にかかわる極めて重要な領域であると考えます。

(札幌市)現実問題として働き場所がない若者の状況を国レベルで解決することが必要であり、そうでなければ形ばかりのキャリア教育を行っても、子ども達の夢は育たないと思います。

(札幌市)キャリア教育の重要性はわかるが、その他のもろもろのことも重要だと言われ、学校現場はそれらの対応に追われているのが現状である。人手、時間、予算などもう少し、手当てをして現場が余裕をもって取りくめることがまず大事だと思う。

(札幌市)・企画推進する人材(教員)の確保が必要(片手間には出来ない)・学校でのキャリア教育の明確な位置づけ。

(札幌市)社会の中で、子どもを育てていくという意識が、ますます、大切になると考える。

(札幌市)進路の学習との関連をはかり、1年生から段階的に体系的に学習をすすめるべきである。

(札幌市)中学校段階では、職場体験学習よりは、保護者を含め、より多くの社会人と対話できる場を設定し、職業だけに限定せず、大人としての価値観にふれさせたい。その価値観を生徒自身が自己内に取り込み各々が取捨選択できるようにさせたい。

(札幌市)地域や民間企業の支援態勢をあてにするのではなく、コーディネーターと教職員が協力して、一軒一軒協力を取りつけるよりないと思います。

(札幌市)これから学習しようと思います。

(札幌市)この教育は学校だけでは成立しません。社会の認知必要ですが、まだまだ理解されていないところがあります。行政の支援、PRをもっともっと強めて行ってほしいものです。とくに、都市においては、学数、生徒の多く難しいところがたくさんある。また、キャリアウィークといいつつも、現実授業時間の確保が優先され、1~2日ぐらい(ほとんどの学校は1日)しか日数がとれないのであればただのイベントになってしまう。

(札幌市)キャリア教育での職場体験は、たいへんよい経験と思いますが、訪問先の確保に、非常に苦しんでいるのが現状です。まず、これを解消しないことには、よりよい活動に進化しないと思います。

(札幌市)体験としてのキャリア教育は、重要であるが、あくまで、生徒の将来の夢づくりの手伝いと、直接的、短絡的な効果を期待するべきでない。公立学校は学問を学ぶ所であって、職業人養成専門学校ではないのだから。

(札幌市)学校と地域の事業所が協力して進めていくのが理想であるがその連携への橋わたしとしてのコーディネーターの役割が重要である。また学校で実施する上でコーディネーターの豊富なノウハウを生かして欲しいと考える。

(札幌市)学校とは別組織で、長期休暇に職業体験をつむシステムがのぞましい。それに、学校の進路指導を有機的に結びつける。

(札幌市)各学校が独自に考え行っていくには、難しい面が多い。特に体験学習を引き受けてくれる企業のリストを行政、教育委員会、商工会などで作っていただけると助かる。

(札幌市)・親の背中から仕事が全くわからない現在、色々な仕事があり、その仕事も真面目に努力しなくてはいけないことが感じられる指導でありたい。・コツコツ真面目にはたらく人々がこの社会をつくって来たことを、そして将来自分達にはたらいてこの社会を続け発展させる意欲を持たせることができればベストと思う。

(札幌市)職場実習(体験)を柱とするキャリア教育は、その準備や外部渉外が大変であるが、実施による生徒の意識の変化には、特筆すべき変容が見られる。よって、現場の実体験は非常に有意義であると考え。(本校の実施前後のデータ同封)

(仙台市)目的をしっかり把握して、それをどう具現化するかという原点を常に忘れずに実施するべき。

(仙台市)中学校でできることは、何かと考えることが第一。生徒ひとりひとりが生きて行くために必要な事をキャリア教

育を通して指導したい。そのためには、地域、教育行政等と連携が大切であると考えます。

(仙台市)地域や保護者の協力を得て、三者一体となって子どもたちの支援体制を築き、生徒一人ひとりの将来の生き方を考えさせ、社会に貢献できる人間を育成する。

(仙台市)・キャリア教育の意義はわかります。・何でもかんでも教育のために(事業の増加)学校への負担が大きい。(方向性はまちがっていないと思うが。)

(仙台市)・時数の確保。・学年が上がるにつれてグレードアップする。・現実場面に結びつけること。

(仙台市)必要性は、わかるのですが、事業所さんも受入れが大変で、学校としても、長くなれば長くなるほど、他の教育活動に影響を与えてしまう。

(仙台市)仙台市ではキャリア教育のねらいも含め、自分づくり教育という形で取り組んでおり、その趣旨について、教職員で共通理解を図り、実践していくべきだと考える。

(仙台市)今年度受け入れの事業所で、5日間受け入れが来年度可能な事業所が少ない。このことを考えると、来年度5日間は厳しい。

(仙台市)現実に金銭を伴った職業体験を加えてもよいのではないかと。日本の学校は金銭を一段低いものに見て、職業を神聖視しすぎはしないか。しかし現実には違う。そのギャップが生徒の受け取り、真剣さを阻害する。欧米のマネをしてバイトをさせるとは言わないが、労働へ向かう心性は、金銭と個性の複合から成る。またはその大小、バランスであることを共通に理解させた上で、指導を進めるべきではなからうか。もう一点。就学=キャリア教育でないことを教えるのは難しい。転職・離職を人生の中にどう取り込んでいくのか、またそのような人を教材にできるようなプログラムも必要ではないだろうか。

(仙台市)方向性は正しいと思われるので上に記した教員の意識そのための教育課程への位置づけそして地域や企業も子どもを育てる一員という意識の育成を図ればよいと考える。

(仙台市)長期休業中に実施できるように計画を立てて実践すること、授業時数も確保できるし、職場もまわりやすい。

(仙台市)キャリア教育専任の職員の加配。(今まで通りの職員配置では無理)

(仙台市)・職場体験=キャリア教育と考えている方が多いので、まず、キャリア教育の位置づけを教員・地域が共有するようにしていくように思います。・次に、時間(授業時数と準備時数)が確保できるように、教育委員会レベルで調整すること(ex.基本45分授業を認め放課後との指導時間を確保するなど)・予算の確保。

(仙台市)総合の時間が減っていく中での推進だとすれば、その運営指導のあり方、時間の生み出し方、教師の労力の軽減が課題だと感じるので、その課題の解消が先決だと思います。

(仙台市)学校などの公的機関や事業所に頼った形のキャリア教育ではなく、保護者が我が子の指導を進んで行うような形も考えるべきと思う。例えば、大人に対する話し方や対応の仕方などは、本来、親が子を指導する中で身に付けさせるものと思うが、それも学校などの公的機関や事業所に期待しようとする保護者もいるからである。

(仙台市)地域や生徒の実態に促して、5日間という日数も無理のない期間で推進していく。(各企業や外部機関の協力は不可欠)

(仙台市)学力向上のための時間と総合的な学習時間の確保は？。

(仙台市)中学校三ヶ年の中でキャリア教育を進めていくと、職場への体験型学習は効果的であるが、他の学校と、時期が重なり易い。(カリキュラム上、中2の中間期に・・・)。全ての学校が、5日間を目指すことは、受け入れ側を考えても不可能に近いので、2日コース、3日コースなど、各学校に選択させる形でよい。(現在、この形で進んでいる)

(仙台市)授業時数確保、指導の充実が問題となっている現在、教員は常に忙しい毎日を送っています。通常の教育に過度な負担にならない程度に、生徒と教師、地域の人々が将来について考えていける時間をつくっていきたいと思います。

(東京都北区)保護者への支援がまず第一であると考えます。次に地域と一緒に進んでいくべきです。学校の実態、生徒の実態の上に計画とよりよい手立てを考え、実施していけたらと考えます。

(東京都北区)一部の教員が中心となって進めるのではなく、学校全体で組織的に取り組むことが大事だと思う。また学校だけで取り組むのではなく、PTAや地域を含めて、校内外の連携も大切だと思う。

(東京都北区)現在の子どもたちは、自ら考え行動できることが苦手となってきている状況にある。それは、何故かというところ、大人、教師がすべて、子どもの立場を考えすぎて子どもが考える力をうばってしまった傾向がある。そこで、子ども達が、自立させるためには、多少きびしい状況に立たせることが重要となる。小中学校時代に、しっかりと基礎・基本を学ばせ、何度もくり返し実践させ、高校の段階で、キャリア教育を重要視することである。中学校の段階では、職場訪問や職場体験等でよいと思われる。何でもかんでも小中学校へ入れることによって、また、他の課題が生まれてしまう。授業時をしっかりと確保をする必要がある。

(東京都北区)・教科、領域を通して、年間計画を立てる必要あり。・外部人材や視聴覚を活用した授業の確立。・体験型重視の進め方。

(東京都北区)・キャリア教育の重要性は学校関係者の多くが共有できる認識である。しかし、現実的には、中学生レベルで職業意識をどの程度育むか育むべきか不明。実践的には、高校進学に向けた指導に傾かざるを得ず、そのことは、保護者にとっても中学校への大きな期待となっている。・ニート・中途退職等の課題解決には、教育のみでなく、まずは政治・社会のしくみ等現実的な日本の課題を積極的に解決して行く大人社会、政治の関与が重要ではないか。夢のもてる社会を実現せずしてキャリア教育では、今日の子ども達はシラケルのではないかと心配する。

(東京都世田谷区)高校によってその内容は大きく異なる。一律的なキャリア教育はほとんど意味をなさない。学習のモチベーションを高めるためのキャリア教育であるならば、大学(院)及び各事業所ごとの情報提供が有効と思われる。どのような学問・研究がどのような職業に実際につながっているのか、又専門性よりも個々の性格、基礎能力で採用するところも多いであろうからどのような資質を涵養しておく必要があるか。そのような情報も提供されれば有難い。それらの情報をどう利用するかはそれぞれの学校ごとの取り組みに任せるべきであろう。

(東京都世田谷区)キャリア教育の必要性は十分認識しているが、何しろ十分な時間を確保するのが難しい。2年生対象の職場体験(3日間)は非常に有意義である。継続したい。

(東京都世田谷区)まずは体系作り。教育課程内での位置づけ。

(東京都世田谷区)校内はもとより、校外(地域、家庭など)の教育力の活用と連携を深めていくこと。

(東京都杉並区)・キャリア教育は中学校の教育場面だけで充分とは言えず、小学校時のキャリア教育 ステップアップした中学校でのキャリア教育へと、継続されるべきと考える。小中一貫したキャリア教育の計画性が必要と考える。

(東京都杉並区)3年間で一週間のみの体験ではなく、少なくとも各学年で体験又は学習できるように一層の努力が必要。

(東京都杉並区)教育課程上の位置づけの明確化と、指導時数の確保が最も大切。

(静岡市)・職場体験学習が中心となっていくことは仕方ないことだけれども、自分はこの職場体験学習が中学生のバイトとしか思えない。コンビニで3日~5日働いて、果たしてキャリア教育と言えるのか疑問が残る。生き方学習をメインにし、様々な分野で活躍する人との交流活動を基本にしていくことで中学生としては十分だと考えている。職場に無理に行かせて、中学生の純粋な心を大人の歪んだ社会にふれさせて乱したくないというのが本音。

(静岡市)・学校現場にあれこれと仕事を増やすのなら、それにみあった職員増を行うべきである。

(静岡市)小、中、高が連携し、カリキュラムを作成し学校の授業や諸活動の中から体験的に推進していく必要がある。

(静岡市)たった3日ほどの体験ですので、あまり大きな期待を持つことは危険だと思います。社会に目を向ける第一歩くらいの位置づけでよいのではないのでしょうか。

(静岡市)より一層の教育現場の多忙化につながらないよう、教員の確保等、まず行ってほしいです。

(静岡市)現在職場体験学習や生徒による出店を行っているが、やはり、実際に経験する時間を確保したい。

(静岡市)小中高の一貫教育として扱っていくことが望ましい。各校に任せるのではなく、市等で統一した体制が必要であると考える。

(静岡市)すべてを学校でというのは無理で、地域との連携が必要。

(静岡市)・文科省のキャリア教育について、委員会を通して説明されているが、経済産業省のキャリア教育については、ほとんど情報が入ってこない。(12要素の評価基準など)個人的には、イエス・プログラムなど中学校教育の中に民間と協力して取り入れていきたいと考えている。(以前、キャリア・コミュニケーション研究所と協力して、ユニバーサルデザインを取り入れて行き、トライポンド社長、コクヨ開発部長、タクシー会社社長(UD車の専任)などの講演や、合同授業を行った。今後、経済産業省管轄機関(職安など?)との協力がスムーズにできるかどうか。)

(静岡市)特別な事を増やすというより、現在実施している事、例えば教科の授業や特活、行事などをキャリア教育という視点での位置付けにおける目標や活動を確認して、より多様な意味付けで実施していく。

(静岡市)本校としては地域・大学との連携をさらに強めていきたいと考えている。体験的学習が、進路実現のための学習目的・学習意欲の向上につながるものにしていきたい。

(大津市)学校内部への上手な立入。また、学校側が受けるスタンスの確立。更に、現場の状況に合った進め方、など。

(大津市)・保護者教育 - 子どもががんばっている姿、キャリア教育の大切さを、家庭で気軽に話しができるような、社会的、価値の高い教育であることを認識させること。TV、マスメディアを通して、人間性を高めていく取り組みを放映していくこと。学力中心の新聞記事ばかりで、子どもは育っていない。

(大津市)学校の実態に合わせて行う。

(大津市)ニートや転職をくり返す若者の増加は、中等教育のせいではなく、産業社会構造の変化によるものです。この問題を社会でなく、学校教育に向けるのは、原因のすり替えです。家庭教育に参加したくても出来ない残業につぐ残業や、深夜労働を平気で許可するこの国の労働者からは、益々荒れた若者が生まれて育ちます。キャリア教育など本来アルバイトを重ねる内に自然に身につくものであり、中等教育が担うべきものではありません。話は変わりますが、キャリア教育は、一部の団体の食い物にされています。去年自主的に入った保険では料金が4万円程ですんだのに、文化省の勤める保険では11万円余りもかかりました。今年は強制的にその保険に加入されました。[12]でも書きましたが「私の仕事館」以前から、たびたび案内の文章をもらいました。結局破綻です。1回1万5千円もする民間のコーディネーターからの案内状も頂いています。それによると、けっこう色々講演されているようですが、私達としてはそんな高額な謝金は出せません。また、職場体験を店舗のPRにしようと考えての受け入れ事業所も数多くあります。中等教育にこれ以上政治的な戦略をおしつけないで下さい。

(堺市)キャリア教育が先か、基礎基本になるものが先かどちらから取り組んでいくにも人的、時間の保障がまず必要ではないか。

(堺市)カリキュラムの中に、キャリア教育を明確に位置づけし、指導時数を確保し、評価しやすい方法を考えていくべきである。

(堺市)ヒトが絶対的に不足している。学校現場には長年培ったノウハウはしっかりとあるので、あとは、地域とどうつなげていくか、ネットワークが課題である。

(堺市)人的確保を行い、こうない校内での担当制度を確立させる。

(堺市)カリキュラムへの位置づけ。学力との関係の明確化。

(堺市)生徒が自分の進路を選択したうえで、将来の職業観というものは、大変大切になってくる。今後、系統だったキャリア教育が最も必要な教育になると思う。

(堺市)必要だとは思いますが、日々生徒指導などに追われ学校で体制をととのえてとりくむ余裕がないのが実情です。言い訳になるとも思いますが、これが多くの中学校教育現場の状況だと思います。

(京都市)プログラム化したキャリア教育・教科力 人間力 - 社会力。

(京都市)体験すること(生徒自身が)が最も重要だと思うので、充分そういう場をもうけることをすべきだと思います。

(京都市)学校現場に負担がかからないように。人、金が推進のためには不可欠と考える。

(京都市)キャリア発達の視点に立って教科学習にもキャリア教育を活用することで、実感できる学習がつけられる。具体的には、指導案などにどのキャリア発達とつながる学習活動なのかを意識し、授業を実践すべきだと考える。

(京都市)・学校教育への様々な機関等の要請が増大するなか、現状(教職員の大量退職、採用時期、少子化、経済状況、学習内容の増加、子どもをとりまく社会の変化(ケイタイなど))では、じっくりと、取り組むことができない。国レベルでの横の連携をぜひ、行ってほしい。「教育の多さ」を一度見直し、学習指導要領との関連を明確にしてほしい。

(京都市)数ある教育の中で今日の中学生にとって最も大事な教育課題であることはまちがいないと思う。学校知と生活知をつなぐ意味でも、生徒に将来に向けての学習意欲を喚起させる意味でも推進を図ることが必要である。

(京都市)職場体験からスタートし、最終的には、社会のしくみが生き方に何らかのヒントを生徒に与えられるようなものにしたい。そして、この分野が、社会と学校をつなげるチャンネルの一つに発展していくことを期する。

(京都市)市教委レベルでキャリア教育に関する研修会を深め、教職員の意識向上とノウハウをより身近なものにしていく必要性がある。

(京都市)先進的な企業などの先駆的なノウハウ、最先端技術の紹介や仕組、構成、経済などの説明により、生徒自らの関心、意欲が高まるものと考ええる。

(京都市)単純労働の尊さをもっとアピールすべきである。額に汗してお金を稼ぐことの大切さ、又職種を越えて、その中の生き方が問われることを理解させたい。自分を生かす道のために自分を深く知る機会を与えたい。

(京都市)[14]の(g)「キャリア教育を企画推進する担当制度の確立」、(h)「教育課程上の位置付けの明確化」を確保し、進めなければいけないと考える。

(松山市)生徒一人ひとりの適正な進路選択に、充実したキャリア教育は不可欠である。

(松山市)「生きる力」を身に付け、様々な課題に主体的かつ柔軟に対応できる子どもを育てる教育を推進する上で、「キャリア教育」は、中核をなすと思われ、学校においても、今以上に推進すべきと考える。しかし、金融危機による景気の低迷により雇用状況が悪化し、日々の生活に不安を感じる人が多い現状で、はたして子どもたちに、自分の将来に夢を持たせることができるのか。こちらを改善する方がさきのように思う。

(松山市)学校の学びそのものがすべてキャリア教育であることを根本にすえ学校教育に取り組むべきであると考えている。教育課程の教科指導、道徳、特活では位置づけられない体験活動を活用し、働くことへの具体的な像を認識させながらキャリア教育を進めていかななくてはならない。今の生徒の実態をみるとその課題は大きい。

(松山市)小学校からの9年間で計画的に生徒の成長をうながしていく必要がある。

(松山市)体験活動の充実を第一とすべきだと思います。

(熊本市)時間と人と物(予算)もなしに、学校の先生にその役目を押しつけても、成功するはずがない。先生方のキャパシティは飽和、いや過飽和の状態。そこをきちんと踏まえたうえでの取組であるべきである。無理な取組は長続きしない。

(熊本市)行政の教育施策としての重点化と地域の学校教育への支援と改善の意識。

(熊本市)卒業生によるキャリア教育(主として講演)は実施できているが、先に述べたように私学という環境上、すべての生徒に体験学習を取り入れる場面設定が困難である。したがって、公立中とはまた異なったプログラムの紹介などを通して、負担にならないところから理解をえながら実施していくべきだと考えている。

(熊本市)キャリア教育を日々の教育活動にしっかりと根づかせるためには小中一貫したカリキュラムをつくり、教材やテキスト等の整備を図る必要がある。だれでも取り組める内容から始めることが充実の第一歩であると思います。

(熊本市)さらに系統化した教育が必要。

(熊本市)現在の学校での生徒のようす、さらに日本の社会をながめるとキャリア教育の必要性を強く感じる。しかし、そのための時間、教師にはエネルギーが足りない状況である。

(天草市)特別なもの、新たなものと考えず、指導していくことが大切。

(天草市)きちんとした授業として、やっていくことが大事。

(天草市)教育課程上の位置づけを明確にして、時間的、人的対応をすべきである。

(天草市)事業所の協力が得られないと、職場体験が実施できない。学校側の努力は当然必要であることは承知しているが、限界を感じている。教育は、学校だけでするものではなく、家庭・地域・そして日本全体でするものだという意識が生まれる必要がある。

(浦添市)キャリア教育の視点を重視し、生徒にできるだけ、多くの体験学習を取り入れ生きる力を育むことが大切。

(札幌市)職業観を持たせ進路につなげていく。

(札幌市)体験活動後の生徒の様子はとても良いので、続けたいが、地域の支援は欠かせない。

(仙台市)「キャリア教育」というもの自体が社会的に共通に認知されていない。漠然としたイメージがあって、地域や自治体、学校がそれぞれに解釈して取り組んでいるのが実態ではないでしょうか？ねらいや目標なども国として推進するのであれば、もっとはっきりさせるべきではないでしょうか？。

(東京都杉並区)学校に任せきりではなく、行政、地域等が協力して、取り組めるシステムを確立することが必要と考える。

(松山市)〔14〕のh(教育課程上の位置付けの明確化)を検討していきたい。

(熊本市)今、フリーターやなかなか社会に出ていけない子どもたちに、キャリア教育は必要と思うが、なかなかその手だてがわからない。

(熊本市)キャリア教育として、校内分掌上設置してあっても、チームとして、推進していかないと、進んでいけないと思う。推進力と、全体の協力、をベースに、官民、学校と協力してやっていくべきだと思う。

(天草市)キャリア教育への認識を高めることが大切である。すべての教育活動の中で進めていく必要があり、先々は、キャリア教育という枠組がはずれていくことが望ましいと考えます。

キャリア教育調査 自由記述...(高等学校)

【 Q2 貴校の教育活動の中で、特に力を入れていること 】...(高等学校)

(札幌市)学力向上。大学受験対策。難関大へのアプローチ。

(札幌市)身だしなみ指導、年3回実施。遅刻指導、生徒玄関で日直の先生が2人ずつ生徒の登校時に声かけをする。

(札幌市)知的財産教育授業。

(札幌市)国際理解教育・国際交流に力を入れている。

(札幌市)生き方としての進路指導。部活動。国際交流。

(札幌市) 3つのコースのうちの総合コースで、“総合学習”の時間にキャリア教育のようなものを行っている。(特進、プログレス進学、総合)1年・職場見学、2年・インターンシップ、3年・巣立ち教育を中心にして、自分の将来や人生について、知識を身に付け、ビジョンを描くようにしている。

(札幌市)自主自律。自学自習の精神を育成する。

(札幌市)総合的な学習の時間。1年次「情報C」、2年次「総合研修」、3年次「総合論文」の系統立て。2年次は修学旅行の事前・事後学習。他者理解、世界理解を前提にした自己表現力。

(札幌市)芸術類型(音楽・美術)の充実と生徒の力量の向上。

(札幌市)朝読書、部活動。

(札幌市)生徒の希望進路を実現させること。

(札幌市)・基礎的・基本的な学力の定着・向上。・表現力の向上。

(札幌市)環境教育。

(札幌市)単位制高校の為、放課後はない(1~12時間で事業実施)総合的な学習の時間でのキャリア教育の実施。開校1年目の為あてはまらない答えもあります。(このあとの質問に対しても)。

(札幌市)・大学との間で行っている出前授業や校外における学習などの高大連携。・生物、地学で行っている野外観察(単位認定)。・1~2年で行なっている先端科学(ロボット講座、ロケット講座、電子顕微鏡体験など)に触れる先端化学特論(単位認定)。

(札幌市)姉妹校を軸とした国際交流と国際理解。

(札幌市)主に「先輩に聞く会」(OB・OGによる大学についての説明会)を通しての大学・学部・学科選択(ミスマッチを極力少なくしたい)。

(札幌市)自己肯定感を高めるキャリアカウンセリングの実施。総合的な学習の時間全てを使ったキャリア教育の実施。

(札幌市)部活。

(札幌市)・基礎学力の定着・向上。・職業体験(インターシップ)。

(札幌市)生活指導(特に基本的生活習慣)の徹底。身だしなみと喫煙防止。

(仙台市)一学年で7月~3月約週一時間で行なうゼミ学習(一般教養ゼミ)。

(仙台市)キリスト教主義の学校で、その教育目標の実践のため、ボランティア活動に力を入れている。

(仙台市)実践的工業教育の推進。・クラフト万21の実践・ものづくりコンテスト等の各種競技会への出場。

(仙台市)社会規範を高めること。授業を受ける側(生徒)の質(態度)の向上。

(仙台市)本校のあるべき姿を具現化するため、学校三像を明確に、教職員、生徒に示す。学校像、教師像、生徒像それぞれに具体的に目差すべき項目、目標をあげ、実践していく。

(仙台市)・基本的生活習慣の確立。・基本学力の向上。

(仙台市)生徒指導の数、指導に係る教育相談の数が増えている。また、保護者への対応が輻輳化してきている。そこで、生徒指導部だけ個人だけで指導するのではなく、学校全体で協力体制を持ちチームを組んで対応している。クレームのある保護者についても、学校全体で情報を共有し、教育委員会の指導を受けたり、いくつかの関係機関へリファーしたりして、組織として生徒指導に対応しようとしている。

(仙台市)1.宗教教育・・・キリスト教による人格教育・倫理感の育成。2.進路指導、学習指導。・3.生徒会活動・・・自立性と企画力・運営力の養成。リーダーシップのとれる生徒の育成。集団と個について実践的に学ばせる。

(仙台市)挨拶の励行 時間厳守 専門知識の修得と、資格取得。

(高崎市)・授業の充実、改善。・進路学習。

(高崎市)しっかりとした価値観や人生観を持たせ、日々の勉学により、主体的に生徒の夢が実現できるような指導を行い、進路希望を実現させる。

(高崎市)国際コミュニケーション能力の育成(英語教育)。

(高崎市)実践的な工業教育。

(東京都北区) 国際理解教育(国際交流、英語教育、日本の伝統・文化教育含む)。 学力向上(家庭学習時間の増加、授業力向上・補講)。

(東京都北区)・資格取得。・部活動奨励。・ボランティア、地域連携の推進。

(東京都世田谷区)奉仕活動、清掃活動。

(東京都世田谷区)侵食を伴にした共同生活を通しての協調性の養成。

(東京都杉並区)・大学の附属高校として高大一貫教育(大学との連携)。・資格取得教育。・国際理解教育。

(東京都杉並区)美術を中心にした人間形成。

(東京都杉並区)環境教育。地域貢献活動。

(東京都杉並区)部活動への参加。

(静岡市)家庭学習時間の確保に向けたしかけ。

(静岡市)人が人を思いやる気持ちを大切にできる人間づくり。

(静岡市)教えていくこと・育てていくこと・考えさせていくこと・規範意識の喚起・生命の尊重・思いやりの心などの「心の教育」。

(静岡市)ボランティア活動。長期休暇や土日を利用し、生徒会、ボランティア委員会が有志参加者を募集、ボランティア活動への積極的参加を促している。

(静岡市)生活指導。進路指導。

(静岡市)校内での進学・就職説明会。校内での専門学校による体験学習、講話。

(大津市)地域に根ざした学校づくり 新入生オリエンテーションを地域の人とPTAの協力を得て実施し、地域の歴史・文化・産業を実際にその場所を訪ねて学ばせる。「総合的な学習の時間」で琵琶湖周辺の水質や大気に関する調査をさせ、環境について考えさせる。家庭科では地元講師を招いて「郷土料理」の調理や地元児童館と連携して「育児実習」を行う。図書委員会は「おはなし隊」を編成し、地元子どもたちに本の読み聞かせを行う。また、地元のお年寄りなどから地元の昔話の聴き取りを行う。地元障害者のサマーキャンプなどにボランティアとして派遣するなど。

(大津市)学力の充実(特に習得型、活用法、研究型の学力のバランスのとれた育成)。

(草津市)・基礎基本の重視。・キャリア教育の充実。

(草津市)学力向上による進学実績の向上と基礎学力の底上げ。

(堺市)・生徒一人ひとりのペースに合わせた基礎・基本定着学習。・生徒の自尊感情を高めるために、カウンセリングマインドを持った教職員の指導・対応。

(堺市)生徒の夢(進路)の実現の為に、学習環境を整えている。・毎週1~2時間(学科別)にキャリアデザインの授業を

行い、外部講師による、さまざまな分野のセミナーを実施している。・授業時数の確保の為、7限授業、長期休業中の授業実施。・高大連携プログラムの実施。他。

(堺市)生活指導。特に頭髪や制服の着こなしに関しては、厳しく指導している。

(堺市)部活動。

(堺市)社会性を身につけ、社会で通用する常識、判断力を持った生徒に育てる。

(堺市)・国際文化科・・・国際理解教育の充実、外国語教育の充実(ALTとのチームティーチングなど)海外における学習機会の充実(留学、語学研修、海外修学旅行など)・総合科学科・・・実験・実習授業の充実(理科)SSH指定校としての活動、(大学との連携、課題研究など)プレゼンテーション能力の育成。

(京都市)現役での四年制大学への進学を保证するための取り組み。

(京都市)"豊かな経済センスの育成"と本校が呼んでいる。経済という窓口を通して、社会の動きを敏感にとらえ行動に移せる力の育成及び、英語運用能力、情報活用能力の育成。

(京都市)ロボット。社会人講師による職業紹介。

(京都市)基本的生活習慣の確立が、進路実現の基本です。

(京都市)礼儀マナー教育。伝統文化教育。国語教育。

(京都市)礼儀、マナー、挨拶の励行など社会人となる為の基本的生活習慣。資格取得など小さな成功体験。

(京都市)・特色教育(韓国語、韓国文化)・人権教育(参加型学習、福祉実習、フィールドワーク等) いじめをゆるさない日常的指導も ・少人数クラス(能力別分班)できめ細やかな学習指導・進学補習、特別授業(学期末、放課後等)。

(京都市)英語コミュニケーション能力の伸長。

(京都市)学業と部活動の両立させるための、活動プログラムと指導体制の確立。

(京都市)SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の取り組み。

(京都市)自習の習慣を身につける取組。

(京都市)・ビジネスマナー、あいさつ、そうじの徹底。・地域の方をお客様として迎える販売学習。・部活動の強化。

(松山市)生徒の個性を伸ばし、個々に応じた進路を保障するための教育活動。

(松山市)総合学科として13年目が経過している。学校を休まない、3か年皆勤を目指させている。「産業社会と人間」の学習を基盤に、インターンシップや各々の大学、事業所見学、社会人講師を活用して、進路実現のための「自分さがしの旅」として、3年間をとらえさせている。

(松山市)高大連携。

(松山市)1.豊かな人間性の育成(国際交流、部活動、ボランティア等)2.キャリア教育の推進(インターンシップ、地域の担い手育成事業、ものづくり、職業資格の取得等)。

(熊本市)1.人間教育の実践。1)部活動2)生徒指導。2.基礎学力の向上。確認テスト(英語・数学)の実施。朝読書の取組み、etc。

(熊本市)粘り強く取り組む。自主性。

(熊本市)インターンシップ・デュアルシステム。

(熊本市)部活動と学習の両立。特に放課後の十分な部活動時間の確保。

(熊本市)体験学習。ボランティア活動。

(熊本市)主体的学習姿勢の養成。

(熊本市)生徒指導を基本とし、行事等を通して人間性を育てること、そしてその上で基礎学力を身に付け、自分の進路目標を実現していくためのサポートをすること。

(天草市)・資格取得の推進。・ボランティア活動(地域貢献)。

(天草市)・自主的精神を高め、自らを律する態度を養い、一人一人の進路目標に応じた課外活動やガイダンスを充実させ、

学力向上を図るとともに、生徒自ら問題を解決する能力の育成に努める。・外部講師を招き、基本的な生活習慣の確立と安全教育の徹底を図り、豊かな人間性の育成に努める。・心身の健康・体力の向上を図るとともに、創造性や感性を育む体験活動の推進に努める。・地域の拠点校として、地域に開かれた学校づくりに努め、地域・保護者・生徒の信頼と期待に応える教育活動を進める。

(天草市)朝からの10分間読書。

(天草市)「キャリア教育を中心に据え、生徒一人一人の向上を目指す」と、本校指導の重点とし、キャリア教育に力を入れている。

(浦添市)資格取得・検定合格への取り組み。ものづくりへの取り組み。

(浦添市)生徒一人ひとりを尊重し、その優れた資質を伸ばさせ、学習・部活・進路などに生徒が自律して意欲的な学校生活を送られるように計画的・継続的に課題の解決を行うことに力を入れている。学習の一貫として、販売実習、校内カフェ運営・模擬挙式披露宴等に取り組んでいる。部活ではそれぞれの活動だけではなく、朝のあいさつ運動・学校周辺清掃・地域青年会スポーツ大会でのボランティアスタッフ等に参加している。外部講師による講演会や進路説明会等を実施している。

(浦添市)・文武両道。・自主・自律・自治活動の活性化。・二大行事の毎年実施(体育的・文化的行事)。

(浦添市)資格取得への啓蒙。資格取得講座の開設。

(札幌市)推薦入学枠で部活動の優れた生徒を多く合格できるシステムをとっているため、元気で、リーダーシップをとれる生徒は少し増えてきています。

(仙台市)朝の読書、地域の清掃活動、平和学習として修学旅行(原爆投下された長崎、戦場になった沖縄)、平和を想う日柿の木プロジェクト(長崎県の被爆した生き残った柿の木の株分を全世界へ植える活動)各種検定試験を通しての資格取得、美術コース、保育コースなど7つのコースを設定して、多様な価値観へ対応できる教育の実施実学を重視した教育活動を行っている。

(高崎市)個別指導。

(静岡市)進学指導、学習指導(長期休業中の補習、土曜講座、模試等)資格取得指導。キャリア教育(インターンシップ、企業研究、進路講話等)。

(京都市)宗教的情操の涵養。学行行事(宗教行事)の実施、教科「仏教」の実施など。

(京都市)基本的な生活習慣の確立。学習指導。徳育。

【 Q6 キャリア教育を推進していくうえで重要だと思われることの選択とその理由 】...(高等学校)

(札幌市) LHR等で一部取り上げてはいるが、時間的な余裕がない。教科指導の方が優先されている。

(札幌市) 取り組み活動が多いためその調整が(時間的)(日程的)大変である。

(札幌市) 学校としてのスタンスを統一させるため。

(札幌市) 教師の意識改革が必要。

(札幌市) 教員がよく理解していない。

(札幌市) 3年を通してのキャリア教育と一口で言ってもとても様々であり教師間で統一することも難しいのが現実だから。

(札幌市) ・学校としてキャリア教育の重要性を理解し、効果的に生徒に対して指導していくために体系だてた取り組みの必要性を感じるため。

(札幌市) 外部団体よりキャリアカウンセラーが週3日間来てもらっている。また、キャリア教育プランナー育成事業の協力校として、現在指定を受けている。キャリア教育に対し、積極的に動いていると考えるが、開校1年目の学校で職員数も少なく、構内での動きが、今後の課題である。

(札幌市) 主体的に学ぶ力を身に付けること。人間教育を土台に「自立した学習者」の育成を目指すとともに、グループ学習などでの「学び合い」が主体的な学習になることを期待する。

(札幌市) キャリア教育全体の流れ、アウトラインが見えない。校内的にも議論が不足している。・校外での認知度が必ずしも高くない。校外での協力体制が不可欠。

(札幌市) まずキャリア教育について教員自らが学ぶ必要があると思われる為。

(札幌市) 現況を打破するためには、新プロジェクトとしてスタートするのが好ましい。

(札幌市) (g) 全員態勢で指導に望むためには必要。(i) 予算面、外部講師の確保のため必要。(k) 行政側に予算縮小の動きがあり、理解を必要とする。

(札幌市) 総合的な学習の時間の中で取り込まれるものだがまだ、3ヶ年を見通した教育計画が確立しているとはいえない。担当学年毎に計画実施されているが、それが学校全体のものとはなっていない。研究力に、十分とは言えないのが現状である。

(札幌市) ・教職員全体で、キャリア教育に対する理解を共有することが、必要な上で生徒に対する全体設計やスタンスを持つことがむずかしい。・学年団ごとの取り組みになりがちで、学校として統一化が行われにくい。・何をやるにしても、従来の業務に加えての負担となり、時間的能力的限界がある。

(仙台市) 行事が学年度計画になってしまうと、イベント的な要素が強く、学校としてのつながりが持てない。全体計画が最も大切である。また、スペシャリストを養成し、キャリアアドバイザー(カウンセラー)の形で人的配置を行うことも、推進の上では有効と考えます。

(仙台市) ・インターンシップの受け入れ先のコーディネート。・実践的授業のための講師派遣等に係る経費の支援。

(仙台市) 教員の意識の向上。

(仙台市) a) b): 生徒と直接的に関わるのは学年、担任であるが、学校としての教育目標を十分に踏まえ、実践していくために、「キャリア教育推進委員会」等の委員会を組織し、支援して行く。d): 通学地域の社会を活用したインターンシップなど現実の社会に触れることにより自らを考え、自己改革に励む態度を身に付けさせる。

(仙台市) 「キャリア教育」の本質や共通理解が必要と考えるため。

(仙台市) どう生きて社会的自立をさせていくかということと、社会で生きていくための「確かな学力」の向上は表裏一体であるため、全体設計と授業時間数の確保とが重要になる。加えて、学校は多忙感が募っているため、特に人的な支援(民間コーディネーターとか、就職指導支援員)の増員や加配がぜひとも必要であるから。

(仙台市) 年間計画の中にキャリア教育をどのように位置づけていくかが、本校においてはまだ明確化されていないから。

(仙台市)21年度、学校統合により、従来の男子校から、男女共学校になるため、両校のこれまでの取り組みを検証し、新しい体制で、進路指導にあたる必要があるため。

(高崎市)小 - 中 - 高 - 大とそれぞれ頑張っていると思うが、各教科のような学習内容の連携が不明確で、短時間で無理無駄が多くなっている。教育とは社会全体で行うものである。今の様に学校と社会が反対方向に頑張っても無意味である。

(高崎市)教師による指導能力、内容の格差を是正するため、副教材・資料の精選した上での充実、共通の指導方針やワークシートの確保が大切である。

(高崎市)教科の指導が優先され、キャリア教育を進めるための指導時間の確保や校内での組織が確立されていない。

(高崎市)継続的・体系的・組織的に実施しないとただ行事を行っただけになりかねないから。

(高崎市)キャリア教育を系統的に実践していく上でまず校内組織体制を整える必要がある。そのためには全体設計から行うことが重要である。またキャリア教育の中では体系的な活動が重要と考え、インターンシップ等の充実には地域企業や団体等との協力が不可欠と考える。

(東京都北区)上級学校進学にむけての出口指導に偏らず、生徒が自己の将来の生き方を考えながら、進学先を選択できるようにする。そのためには、学校全体で体系的・計画的なキャリア教育を進める必要がある。

(東京都北区)三年間で意図的・計画的な指導が必要と思われる。

(東京都世田谷区)まずは、教員一人一人の教育が必要。

(東京都世田谷区)キャリア教育の重要性を全教員で共有している必要性を感じるため。

(東京都世田谷区)職場体験学習をスタートしたばかりなので軌道にのせることと、受入れ先の確保が当面の課題であるため。

(東京都杉並区)専門分掌つまり教科をこえて、まとめる分掌が必要となるが、現在でも教員の業務は厳しいのでその辺がネックになっていると思う。

(東京都杉並区)学内でのキャリア教育に対しての共通認識と取り組む意欲。

(東京都杉並区)進学実績(大学)を上げることに重点が置かれており、キャリア教育という視点が弱い。(全体的な状況)。

(静岡市)現在多くが手探りの状態。何から手をかけるのか、どのくらいの手間がかかるかわからない。

(静岡市)キャリア教育を行う上での教育課程上の位置付け、時間の確保がないと、効果が上がらないと思われる。

(静岡市)教員間の意識の共通化を図ることが大切。

(静岡市)各学年ごと、バラバラな考えで実施しても効果は出ない。3年間でどのような人をつくり、卒業後、社会に出てから自ら考えることができるようにするために、色々な行事を通して指導していくことが必要。

(静岡市)インターンシップを通じて、勤労観、職業観、社会観の養成のその為には、校内職員の意識、ノウハウの確立、又、各学年ごとに指導し、その体系化を必要とする為。

(静岡市)インターンシップなどの体験学習を啓発し、成就するために必要だと思われたから。

(静岡市)現在1年から3年までベネッセの「進路マップ」を利用しており、各学年に応じた指導が体系的におこなわれている。LHRのみならず各教科の指導でも進路に対する意識は高い。授業や学校行事の中で有効なキャリア教育の時間の確保が最大の課題である。

(静岡市)どのようなキャリア教育が本校で求められるのかを再検討するため。講演会や職場体験をさせるだけでは、単発的で生徒のためになっていないと考えられるため。

(静岡市)教員で苦労するのが体験学習を受け入れてくれる企業の開拓。校内でのキャリア教育はやれるが、企業とのつながりが少ない。教育委員会等で協力企業一覧のようなものを作って欲しい。20年度は教育委員会がNPO法人に依頼し、仲介してくれた。とても助かった。

(大津市)首尾一貫した着実なキャリア教育を推進するため。

(草津市)(a)に関して特に農業行政との目的の共通化・指導の一体化が必要。

(草津市)従来の「進路指導」との関連づけが必要である。

(堺市)まず教職員自身の意識改革・向上が必要であり、そのために体制、教材づくりがかかせないため。

(堺市)生徒の入学から卒業までの間に計画的な教育を考え、経験豊富な外部人材の活用、それに関係する教育委員会の支援(人的・経済的)が必要である。

(堺市)キャリア教育に対する知識や必要性を全教員が共有化する事が大切。そして、リーダーシップをとって教員を引っ張っていくマンパワーが必要。

(堺市)・人と物と金がいる。(委員会の支援)・意識の改革。

(堺市)・いろいろの活動がされているが、学年間および学科間につながりがとぼしく、ばらばらに行われているのが実情である。中心となるべき組織を今年度議論し、来年度より立ち上げる予定にしている。

(京都市)教員が職業のことを知らない場合が多い。

(京都市)(g)まず教師側がキャリア教育を理解する必要があるから。(k)具体的な職業についての現場からの声を生徒に届けることにより、身近なものとして促えさせることができるので。(a)どのように位置づけていくか整理させることで指導のポイントをおさえる必要があると思うので。

(京都市)キャリア教育の目的・方針を学年担任と共有しつつ学級運営の中にキャリア教育を定着させていく取り組みが重要。

(京都市)今後、キャリア教育を取り込むために必要と考えられる項目を主として、ピックアップした。

(京都市)単発に終わるのではなく継続的に実践するべきだと考える。

(京都市)(c)(f)については、単発的な、学習におわらず、より体系化が必要と思われるので。(i)については、新たな、人的配置、つまり、人員増加が必要と思われるので。

(京都市)キャリア教育に対する教職員の共通理解がまだまだと感じている。

(京都市)インターンシップ協力企業を確保する。

(松山市)本校はキャリア教育についての取り組みを開始したばかりである。そのため、教職員、保護者あわせて、共通理解協力する体制から積みあげていく必要があるから。

(松山市)家庭環境から、学校、社会教育の「谷間、ひずみ」または、積み残しを今までは、企業(事業所)が担っていた。しかし、終身雇用制の崩壊により、今、どこが担うかという問題が、キャリア教育のスタートの問題であると考え。6334制や進学中心の教育体制の変化について、考察しつつある段階と推察するため。

(松山市)キャリア教育に限らず、学校現場において、新たな取り組み、研究開発は、ごく少数の教員によって、企画、運営されることが多い。継続、発展のためには、上記3要素は、欠かすことができない。

(松山市)専門高校では、さまざまなキャリア教育の取組を実践している。(a)(b)(c)等を考慮しながら、今後もキャリア教育を発展させる必要がある。

(熊本市)・単発的になりがちなので、3年間を常に意識した、キャリア教育の実践を行なう必要性。・企業での体験実習を様々な企業参加の下に行なう必要性(毎年同じ企業になっている為)・行政側から企業が積極的に協力していただける様にサポートしてもらいたい。

(熊本市)キャリア教育における共通理解や実施する上での協力体制を確立し、生徒の進路自己実現につなげる事が大切と考える。

(熊本市)(a)大学受験対策とのバランスを考えるために軸足が、年度によってずれることがある。(f)総合的な学習を中心に実施しているため。(i)同窓会を通して、各団体との連携が本校の場合、不可欠。財政面、人材面ともに。

(熊本市)キャリア教育への教師の理解が不足している。

(熊本市)キャリア教育についての基本的な共通理解が、校内的に不足している。また、一般社会にも、まだ、その必要性や意義は浸透していない。

(熊本市)現在、体系的なキャリア教育の流れを作成しているため。

(熊本市)学年主動になっているので、流れがつかみづらい。

(熊本市)キャリア教育は、教科・科目の1つではないと考える。全ての教科・領域において、キャリア教育の視点に立って教育する必要がある。そのため、キャリア教育のスタンスの確認、校内組織作り、人員確保が重要である。

(天草市)現行の教育活動(ものづくり、インターンシップ、資格取得等)の充実がキャリア教育の充実につながると考えるから。

(天草市)キャリア教育に関しては、全教育活動を通して実施されるものである。高校3年間の生徒の発達段階に応じて、適切な推進をしていく上で、生徒教師間の個別指導から生徒の全体活動まで多岐にわたる。個別活動は、あらゆる機会に行われるのがふさわしい。全体活動の実施の際には、授業時数のカットや時間短縮等の工夫が必要となってくる。

(天草市)キャリア教育を推進するにあたり、生徒のみならず、職員も資質向上を目指すため、地域との連携も図っていきたいから。

(浦添市)学校現場が多忙であり、授業時数の確保が求められている為。

(浦添市)今までの取組をキャリア教育の視点で見直すとともに、より一層充実した内容にするためには共通理解と相互協力が必要だと感じる。

(浦添市)・キャリア教育全体構造図、学習プログラムの枠組、キャリア教育プログラムの作成段階であり、具体的実践に向けて必要である。

(浦添市)現在キャリア教育に関しては進路部のみが、行っている状態で、他の教科の関わりがほとんどない。また、具体的な体系や指導方法も確立していない。

(東京都北区)まずは基本的な校内体制の準備が必要だから。

(静岡市)既にインターンシップや社会人、先輩による進路講話、企業研究等が行われているが、対象学年や、行事予定における位置づけを考え、生徒に対する効果がよくわかる形にすべきだと考えるため。

(京都市)校内の環境整備が肝要。

(熊本市)・行事の精選と行事に取り組む事前準備を大切にする。そうすることで、コミュニケーション能力を高める。・地域企業の情報が乏しい為独自で作成する。・総合的な知識・判断力を必要とする為、専門的に従事する職員が必要と感じる。

(札幌市)必要性を感じないから。

(札幌市)授業時間数の確保等、時間的余裕がない。

(札幌市)関係性が前提であり、一方的なコーディネーターになる可能性が高い。共に創り出していく Team 形成が必要。

(札幌市)身近にコーディネータが居ない。

(仙台市)授業時間の確保が優先され、余裕がない。

(高崎市)管理職次第。

(東京都杉並区)様々な考え方の人間がいるから。(意志統一できないだろう)。

(静岡市)キャリア教育に対する職員の意識がそこまで達していない。

(静岡市)必要な時間が確保できない。

(静岡市)受験と直接結びつかない。

(静岡市)学校側に時間や人員の余裕がない。

(堺市)現在のところ、自校ではキャリア教育の体制が出来ていないから。

(堺市)実態がよく分からないため。

(京都市)キャリア教育に時間をかけることに現場の理解が得られない。

(京都市)多忙な、日々の教育活動の中で、取り組む余裕が今のところないと思われるので。

(京都市)教師がキャリア教育について一定の方針を持つことが先決で、コーディネーターと協力して一つのものをつくる
ことが必要で、コーディネーターまかせではできないと思うから。

(京都市)学校側の人材不足。

(松山市)自校の生徒の実態をよく見極め、現場の教員の手で作りに上げていくことが重要だから。

(熊本市)学校の独自性・自発性を重視したい。

(熊本市)本校では部活動を通しての人間形成を行い、3年生ではほとんど是認が大学受験を目指しているため、民間の
コーディネーターが受験校のためのスキルが現在あるとは思わない。

(京都市)まずは内部中心に推進すべきである。

(京都市)進学希望の多い学校ではキャリア教育を実践しにくい。

【 Q15 今後キャリア教育は、どのように行っていくべきだとお考えですか 】...(高等学校)

(札幌市)キャリア教育に対する必要性は感じるが、目の前の大学受験への教科指導が優先される。本当にやるのであれば、明確に教育課程上での位置づけが必要ではないか。

(札幌市)民間企業などのキャリア教育の支援体制の構築。

(札幌市)学校と、外部がTeamを作り、創り出していく時間が必要。

(札幌市)高校生が学習していることと、人生のキャリアが結びつけることを教えていくべき。センター試験と仕事のつながりを生徒だけでなく教員や保護者が伝えられるようにならないとだめだと思います。もし現在の入試が結びついていないなら入試制度も含めて考え直さなければ本当のキャリア教育を行えないのだと思います。

(札幌市)学校だけでなく、地域や企業等、多くの機関と連携しながら、それぞれの持つノウハウを最大限に取り入れたキャリア教育を推進していくべきだと考えます。

(札幌市)生徒と社会人とのコミュニケーションが出来る場を増やす事が大切。講演会、座談会等の実施、職場見学、職場体験の実施など、民間企業との連携が重要(特に地域内の事業所)。お互いにいそがしく、機会が少ない事が問題か。

(札幌市)たとえば進路相談室に定期的に常駐し、生徒の進路相談を行なうカウンセラー的性格をもたせることは可能か。ただし、教育課程上の明確な位置づけを行なうためにも、校外での議論を更に活発に行なうべきである。キャリア教育は学校-地域-教委間の連携が大切であり、基本であると思う。特に地域、社会での認知度がまだまだ低く、行政からのアプローチも更に必要と考える。

(札幌市)キャリア教育=自立への支援=生徒個々に何ができるのか、何に向いているのか、何だったら頑張れそうか、等に答えを見い出すプロセスの手伝いがキャリア教育のような気がします。多くの情報の中から、自分に合ったものを見つける時間なのではないでしょうか。

(札幌市)体験に基づく自己肯定感、他者の理解に始まり、生徒が、自分の将来を想像し、実現する能力を育成するために、校内で調整、推進するには、共通理解と人的にも資金的にも無理がある。各々の学校現場で、何が必要で、どこまでが可能かは、人的制約、資金、時間的制約から解放されないと厳しい。また人事異動で、途中で変わる可能性も高い。システムを作るまではできても、継続する信念を持った教育は『教師の資質』に依存する。すべてをクリアする方策は现阶段では思いつかない。

(仙台市)生徒の人間力の育成こそこれからの日本の課題であると強く考えます。保護者や地域が学校に求めるだけでなく、共に創って行かなければ、ますます形骸化すると感じます。

(仙台市)高齢社会が今後一層顕著になる。高齢者を「後期高齢者」などとマイナスにとらえるのではなく、その豊かな経験を社会に還元していくようなキャリア教育体制を充実させることが必要である。

(仙台市)実社会への適応能力の育成。

(仙台市)・生きて行くための必要なことを理解させ、それが現在、学んでいることが土台となり結びついて行ける学習体制が必要である。・担当者だけでなく、学校全体・広くは社会に理解、知識してもらえることが大切である。

(仙台市)進路指導は、今やどちらかと言えば出口指導になっているため、キャリア教育=生き方、自己の把握、社会との関わりなど、学校教育の中核になる必要があると思う。ただ「キャリア教育キャリア教育」と題目だけ唱えるのではなく、行政と学校と地域(民間)とが手を取り合ってキャリア教育に取り組めるよう、国や都道府県・市町村には、金銭面・人材面でのバックアップをお願いしたい。教育予算を少なくとも先進国の平均パーセンテージ位まで上げないと、「日本丸」は行く先不安である。

(仙台市)目先のこと(就職・進学等)のみにとらわれず、自分の生涯の課題としてとらえさせることが大切と考える。職業・職種を選択にとどまらず?それを通して、どのような人生を歩んでいくのかを、先人の体験等をもとに深く考えさせたい。

(高崎市)先ず大人が、正しいことをきちんとやる。(金力)(権力)体質から脱して、子供の手本となるような生活をして、それを、子供にみせる。・・・現実的には、問題の多い子は、全体指導では無理。個別指導の充実・・・指導できるような大人の研修と、時間の確保、勉強すれば、お金持ちになれる×、権力者×、楽ができる×。

(高崎市)・限られた時数の中で、いかに有効に、また体系的に指導していく。・担当する教員が変わっても、必要な指導の内容レベルを維持する。(ノウハウ、目的意識の共有化)

(高崎市)・キャリア教育に関しては、各校において取り組みの差が大きい。・何をどこまでやってたら効果的か十分に理解できない。・授業時間の確保との矛盾が見られる。以上の理由から、マニュアル化(指導書等)が必要なのは。

(高崎市)小・中・高・大と系統的にキャリア教育を進め、連携に行くことが大切。地域社会や産業界ともキャリア教育の主旨を理解し協力連携していくことが重要であるとする。

(東京都北区)・保護者、地域および外部機関と連携をしてキャリア教育を行う。・本校のキャリア教育を中学校、保護者および中学校の教員にIPRを行い、その効果を理解させる。

(東京都北区)ライフプランをベースにした、キャリアガイダンス及びキャリアプラン作りを学習活動とリンクさせていく。

(東京都世田谷区)学習意欲を向上できるよう、将来に夢が描けるようなキャリア教育が必要であろう。

(東京都世田谷区)全員が大学等に進学する本校では、大学で何を学ぶのかを考えさせる際にその先の展望をしっかりと持たせたい。単にいわゆる有名大学だから進学したいということではなく、どのような職業につき、どのような将来を目指すのかを一人一人に考えさせる機会をもたせたい。

(東京都杉並区)情報の共有化。教員向けの講演会。実践している学校の体験談。

(東京都杉並区)「キャリア教育」が必要になった原因、根本的な問題を避けているのではないか。その上にたって何をやってもという思いがする。

(静岡市)必要かもしれないが、学校現場においてはそれ以外の部分もトータルに考えていく必要を強く感じます。

(静岡市)キャリア教育はもちろん大切なことだとは思いますが、まずは基礎学力・・・授業を大切にすることを生徒に伝えなければならない。ある程度の基礎学力を身につけた上でなければキャリア教育は全く意味がなくなるかもしれない。

(静岡市)・校内で教員がしっかりとした意識、ノウハウのもと、組織的に生徒指導を行ない、その下で企業に御願ひし、現実社会(企業での生産活動)での実習を経験し、勤労観、職業観、社会観を養う事が必要と思う。

(静岡市)勤労観・職業観を育み職業を選択できるように、様々な教育活動の中で取り上げ、知識を深めさせることだと考える。

(静岡市)公的機関が民間企業に依頼し、企業体験を受け入れてくれる体制作り、援助を行って欲しい。(金銭面も含めて)。

(大津市)学力の向上を図ること。社会人として必要な素養を身につけさせること。自分の将来は自分の努力で切り拓くという気概を育てること。～の目的達成のため、日々の教育活動に取り組んでいくことが大事だと思う。

(草津市)・農業高校と農業行政とが担い手育成という共通目的のため、本来業務を重ね合わせていくことが必要。

(草津市)キャリア教育は、本校では進路指導、生活指導、学習指導、人権教育等、あらゆる教育活動の根底にあるものとする。考える。「キャリア教育」が独立してすすめられるのではなく、他の教育活動との関連づけをどうしていくか、という視点をもちつつすすめられることを望みます。

(堺市)・小中高と連携体制の確立。・校内の体制整備。・3年間や発達段階を見通した指導計画案作成。・企業等のインターンシップ制度の活用と連携。

(堺市)今後、教科指導とキャリア教育は学校教育の2本柱となってますます、重要になってくると考えています。学校の教育課程上にどうキャリア教育を編成するか考えていかなければと思います。

(堺市)総合的学習の中で強制的に実施できれば良い。その前提として、体系的な実施内容を構築することと、必要性を現場の教員が認識し、しっかりと指導すること。

(堺市)行政(文科省・社教委)の人的、金銭的な支援と教職員全体のキャリア教育への理解。の改善が必要。

(堺市)・キャリア教育の重要性について、生徒の将来を考えた上での広報活動を、教育行政側が行なっていく必要があると思う。現場サイドでとまどうような指導・助言では、なかなか、定着していかない。・ノウハウをもった教員の育成が急がれると思う。・生徒の内面にひびいていくような指導が望ましい。・担当部署を明らかにし、個人ではなく組織で行う教育でありたい。

(京都市)人的配置を中心として予算確保、増額がなければ、今の教育の現場状況ではキャリア教育は大切だと思いながら優先順位が、どんどん下ってしまう。

(京都市)キャリア教育を単独で考えるべきではないし、キャリア教育に評価は必要ない。

(京都市)教員がキャリア教育に対する意識を高め、教科活動(指導)生活指導の中で、取り入れ、生徒たちに職業観を持たせる努力をすべきである。キャリア教育推進のための組織づくりがまず必要である。

(京都市)それなりのキャリア教育をしていく為には、それなりのリソースも必要である。

(京都市)自分で情報を集め分析し考え進路選択できる力を身につけさせるため、総合の時間などを活用し体系的、継続的な取り組みをしていきたい。

(京都市)生徒の職業観の確立とともに、将来の展望と現在の生活状況を結びつけ、高校生活の充実や学習活動の質的、量的な向上に資するような筋道を構築する必要がある。そのための具体的な取組をスパイラル的に積み上げ、最終的には、自らの目標の確立と目的意識の明確化によって、学ぶことの意義を認識させ、将来展望へとつなげていく必要があると考える。

(京都市)キャリア教育の取り組みの先進校の事例をもとに、必要性について、校内で研修する必要がある。特別なキャリア教育の時間を設けるのではなく、今までの教育活動の中にとり込んで実施する。

(京都市)専門高校(職業系)の優位性を生かして職業観の育成に授業、行事、部活動で取り組んでいる。普通科高校ではもっと工夫してキャリア教育を推進する必要があると思う。

(松山市)若者が、将来に夢や希望が持てるような社会に、大人も努力して作り上げていくことが、キャリア教育の基本になければならないと思います。

(松山市)数千円のお金ほしさに、殺人をしてしまう。ゲーム代、パチンコ、スロット、競馬、競輪、ボート等。金銭感覚(お金に関する教育)について、まず、教えることが、キャリア教育のスタートじゃないかと、私自身思っている。2000年前のローマ市民は、「狩をして、ひと風呂浴びて、ゲームをして、笑うことが素晴らしい人生だよ」と遺跡に残している。物質的には、豊かになったが、サウナ、温泉にもはいれ、ゲーム(先述したような今の現在では)もできる。落語やバラエティー番組もT.Vで見れる。あとは、狩をする仕事をするという教育とその報酬としての活金(お金)について教育することが、キャリア教育の原点である。

(松山市)キャリア教育に限らず、推進者、担当者に謙虚さが欠落してしまわぬよう、気配りが必要である。教育に、万能、絶対というものが無いことを、認識しておかなければならない。また、目新しさだけに惑わされず、本質を見極めなければならぬ。

(松山市)専門高校は、専門高校のキャリア教育プログラムのあり方を、その地域の産業界や関係機関と協議し、連携・協力して専門的職業人を育成していくべきである。

(熊本市)参加してもらおう企業をより多くする、ことで生徒1人1人がより多くのものを吸収できる様にする。

(熊本市)学校により期待されていることが異なる。画一化されることが怖い。

(熊本市)生徒一人ひとりに合った教育を行ない、早く自分を見つめ進路の目標を設定し行動を起こさせる事が大切と考える。そのためには多くの情報を提供してやる事が重要である。

(熊本市)高校での学習が社会人にとってどれほど必要かということを理解させ、生徒の学習意欲を高めるというのが、一般的な学校でのキャリア教育への理解だと思う。この路線で当面は構わない。ただし、大学受験、99%が大学進学をする学校においては学びへのモチベーションが高いため、どちらかといえば、学問の専門的分野の紹介の方が向いており、

研究開発部門に特化した形が望ましいと思われる。

(熊本市)学校内の教育的資源だけでは限界があり、効果的でない部分があるので、学外の物的・人的リソースを活用できるようにしていくべき。

(天草市)教員側が意識をもって取り組む必要がある。工業高校では、ものづくりや資格取得等、現行の教育活動を充実させることでキャリア教育を推進することができると考える。

(天草市)学校の教育活動全体を通して、社会的・職業的な資質・能力を高める指導が求められている。このような学習活動を実施する際には、組織的・系統的なバックアップが必要だと考える。また、生徒自身が人間関係形成能力や情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力など、あらゆる資質・能力を身につけることが望ましい。これらの修得の基盤となるのは、高校生活への適応と学習活動を通して、学ぶことの楽しさを味わうことができるようにする教育活動が重要であると考え。

(天草市)職員のキャリア教育についての共通理解のもと、生徒へ教育活動を発信し、保護者、地域と連携しながら、取り組みを通じ、全員が成長していく。そのために、実践を重視し、工夫しながらインターンシップや総合学習を発展させていくべきと考えています。

(浦添市)地域社会（家庭・企業）との連携をより一層深めて、地域と一体となった人材育成として取り組むべきである。生徒の資質・能力を十分に伸ばし高めるために協力を仰ぎたい。

(浦添市)・校内のキャリア教育推進体制の充実。・教育委員会、教育センター等の公的機関による研修及び、校内研修の充実。

(札幌市)・生徒の一生のキャリアの中で、学ぶことの意義を知ってもらうために活用する。・目標を定めて努力していく力をつけるために使う。・私が作成した資料を添付します。普通科でもキャリア教育は重要だと本校では考えています。

(高崎市)どれだけ生徒にリアルに感じさせるか。

(東京都北区)キャリア教育に注目する余裕がない。社会の変化が速く、キャリアに関する知識がすぐに古くなる。

(静岡市)専門高校のみならず、普通高校での取り組みが増やされた方がよいと思う。

(京都市)本気で取り組むなら拘束力を持たせ、予算を確保しなければならない。

(熊本市)キャリア教育は固定化したものでなく、常に変化していくものだと考える。よって、教材化しにくい面があり、その部分を解決し、教師側、指導者側の意識の変化が必要と思われる。しかし、今後体系化を更に進め、キャリア教育を定着させていく必要がある。